官報　號外

大正四年六月四日

○第三十六回帝國議會衆議院議事速記錄第十號

大正四年六月三日（木曜日）午後一時九分開議

議事日程　第九號　大正四年六月三日

午後一時開議

第一　日本勸業銀行法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會ノ續（委員長報告）

第二　農工銀行法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會ノ續（委員長報告）

第三　北海道拓殖銀行法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會ノ續（委員長報告）

第四　決議案（原敬君外八名提出）

○議長（島田三郎君）　諸般ノ報告ヲ致シマス

（書記朗讀）

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

衆議院議員選擧法中改正法律案

提出者　岸本賀昌君　讓得久朝惟君　高木正年君

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

農事改良ニ關スル質問

提出者　多木久米次郎君

對支對米外交ニ關スル質問

提出者　清水市太郎君

責任支出ニ關スル質問

提出者　清水市太郎君

（左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス）

昨二日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

會計監査士法案

石橋茂君　大場竹次郎君　谷口武兵衞君

長尾元太郎君　池田寅治郎君　堀二太郎君

川上榮太郎君　須見千次郎君　有田溫三君

兵役稅法案

矢島八郎君　杉山東太郎君　黒須龍太郎君

村松山壽君　前川虎造君　牛田唯一君

丸山豐治郎君　三浦得一郎君　宮原幸三郎君

一委員長及理事左ノ通リ當選セラレタリ

救育費國庫支辨ニ關スル建議案委員會

委員長　黒須龍太郎君　理事　增田次郎君

○議長（島田三郎君）　是ヨリ會議ヲ開キマス、日程第一、第二、及第三ハ同一委員ニ付託シ且關聯セル議案デアリマスカラ、一括シテ議題ト致シマス、御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ」ノ聲起ル）

○議長（島田三郎君）　御異議ハナイト認メマス、依テ日程第一、日本勸業銀行法中改正法律案、日程第二、農工銀行法中改正法律案及日程第三、北海道拓殖銀行法中改正法律案、之ヲ一括議題ト致シマス、第一讀會ノ續ヲ開キマス

第一　日本勸業銀行法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會ノ續（委員長報告）

第二　農工銀行法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會ノ續（委員長報告）

第三　北海道拓殖銀行法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會ノ續（委員長報告）

○議長（島田三郎君）　委員長小山谷藏君

（小山谷藏君登壇）

○小山谷藏君　委員會ノ報告ヲ致シマス、委員會ニ於キマシテハ、此日本勸業銀行、農工銀行及北海道拓殖銀行法ノ改正、卽チ畜産ノ組合ニ向ッテ資金ノ融通ノ便利ヲ圖ルト云フコトハ畜産奬勵ノ現狀ニ鑑ミマシテ極メテ必要缺ク可カラザル法律案ト認メマシテ、滿場一致ヲ以テ可決致シタノデアリマス、委員會ニ於テハ何等ノ討議モナク、政府委員ノ說明ニ對シ二三ノ質問ガゴザイマシタガ、之ヲ以テ委員會ハ終ッタノデアリマス、御承知ノ通リ對支外交ハ今ヤ其解決ヲ告ゲマシテ、其結果畜産ト我國トノ關係ハ非常ナル變化ヲ來サントシツヽアルノデアリマス、朝鮮滿洲方面ニ於ケル牛馬ノ輸入等ハ、非常ナル畜産界ニ變化ヲ及ボサントスル場合ニ於テ、此法案ノ通過ヲ見タルコトハ——委員會ニ於テ滿場一致ヲ以テ可決致シマシタコトハ、諸君ニ於テモ之ヲ諒トセラレテ、滿場一致ヲ以テ通過アランコトヲ希望スルノデアリマス

（拍手起ル）

○議長（島田三郎君）　御發議ハアリマセヌカ

○荒川五郎君　議長

○議長（島田三郎君）　荒川君

○荒川五郎君　讀會ノ順序ヲ省略シテ二案トモ直チニ委員長報告通リ可決確定アランコトヲ望ミマス

（「贊成々々」ノ聲起ル）

○議長（島田三郎君）　日本勸業銀行法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　確定議

農工銀行法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　確定議

北海道拓殖銀行法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　確定議

確定致シマシタ、次ニ日程第四、原敬君外八名提出ノ決議案ヲ議題ト致シ、朗讀ヲ致サセマス

第四　決議案（原敬君外八名提出）

（書記朗讀）

決　議

現内閣ノ對支交渉ハ終始機宜ヲ愆リ兩國ノ親善ヲ傷ケ列國ノ疑惑ヲ招キ徒ニ帝國ノ威信ヲ失墜シテ毫モ東洋平和ノ基礎ヲ確立スルコト能ハス却テ禍根ヲ將來ニ貽スモノト認ム閣臣ノ宜ク其ノ責ヲ負ヒ速ニ處決スヘシ

右決議ス

（拍手起ル）

○議長（島田三郎君）　此際一言申上ゲマス、此問題ハ極メテ重大ナルモノデアリマスカラ、特ニ言論ノ自由ヲ尊重スルノ精神ヲ以テ、十分ニ議場ノ靜肅ヲ保タレンコトヲ望ミマス

（拍手起ル）

○議長（島田三郎君）　元田君

○元田肇君　本員ハ本問題ノ討議ニ臨ミマシテ、總理大臣ヲ初メ内閣諸公ノ御出席アランコトヲ望ミマス

（拍手起ル）

○議長（島田三郎君）　唯今照會致シマス――原敬君

（原敬君登壇）

（拍手起ル）

○原敬君　諸君、本員ハ此決議案提出者ノ一人ト致シマシテ、此案ニ關スル大體ノ説明ヲ致シタイト考ヘマス、此決議案ハ極メテ簡單ナルモノデアリマスルガ、最モ重要ナル關係ヲ有スルコトハ申スマデモアリマセヌ、サリナガラ此案ヲ提出致シマシタ理由ヲ説明スルニ先チマシテ、一言申置キタイコトハ、外交ノコトハ殊更申スマデモナク、黨派ノ感情ニ驅ラレテ論ズベキモノデモアリマセヌ（「其通リ」ト呼フ者アリ）尚更以テ之ヲ黨爭ノ具ニ供スルガ如キコトモ亦避ケタイノデアリマス、故ニ私ノ陳述セントスルトコロハ、斯樣ナル趣意ヨリハ述ブルノデハゴザイマセヌ（「本當カ」ト呼フ者アリ）是ハ豫メ諸君ノ諒承ヲ得タイノデゴザリマス（「言行一致セズ」「謹聽々々」ト呼フ者アリ）又本議會開會以來對支問題ニ對シテ、各議員ノ質問ニ對スル當局大臣ノ説明ヲ承リマスルニ、如何ニモ其辯解ニ努メテ居ラル、ノデアリマス、其苦心ノ程亦察スルノデアリマス、サリナガラ此辯解其陳述ノ裏ニハ種々ノ事情モ伏在シテ居ルノデアリマス、此裏面ノ眞相ヲ暴露致シテ此演壇ニ公表ヲ致スハ如キコトハ避ケタイノデアリマス、故ニ私ハ此辯解ヲ辯解ノ儘ニ置キマシテ、其裏面ニ伏在スルトコロノ事柄ヲ、悉ク玆ニ暴露スル考ハ毛頭有シナイノデアリマス（「國家ノ爲ニ暴露シ給ヘ」「默レ」「暴露出來マイ」「彌次ルナラ此方モ彌次ルゾ」ト呼フ者アリ）之ヲ暴露スルコトハ國家ノ爲メニ利益ナラズト本員ハ考ヘルノデアリマス、互ニ辯論ヲ致スハ自由デアリマスル、常ニ考フベキコトハ國家ノ利害體面デアリマスガ故ニ、之ヲ避ケルノデアリマス、對支問題ニ付テハ御承知ノ如ク、政府ガ支那ニ向ッテ請求致シタルコトハ、二十一箇條デアリマス、此二十一箇條ノ請求ヲ本年一月中旬ニ致シテ、爾來數箇月ノ談判ヲ重ネテ居ル、此談判中ニハ增兵モ致シマシタ、居留人ノ引揚モ内命ヲ致シテ居ルニアラズ、普通ノ交代ナリト斯樣ニ申シテ居ルガ、是ハ强イテ私ハ爭ハヌ、爭ハヌガ此出兵ノタメニ少クトモ支那竝ニ他ノ列國ガ疑惑ノ生ジ、威嚇ナリト考ヘタルコトハ事實デアル（拍手起ル）又居留民ノ引揚、是モ内命ヲ致シタトカ致サヌトカ云フコトハ强イテ爭ハナイ、併ナガラ居留人ガ其筋ノ注意ニ依リ引揚ニ從事シタルコトハ是亦事實デアル（拍手起ル）此事實ヲ沒却スルコトハ出來ナイ、故ニ此談判中ニハ增兵モアル、居留民ノ引揚モアルト云フコトハ事實デアル、斯樣ナルコトヲ致シテ而シテ如何ナル狀況ニ此談判ガ進ンダカト申セバ、屢、其提案ヲ修正シテ――元ヨリ外交ハ命令ニアラズ、提案ノ通リニ行カヌト云フコトハ先般當局大臣ノ辯明モアリマシタガ、素ヨリノコトデアル、併ナガラ和衷協同ノ精神ヲ以テ胸襟ヲ開イテ談判ヲスル際ニハ、如何ナルコトニ成ルノデアル、此談判ヲスルニ時ヲ費ヤシ、兵ヲ出シ、甚ダシキハ居留民ノ損害ヲモ顧ミズシテ其引揚ヲ内命シタト云フコトハ、卽チ日本ノ決意ヲ示シタノデアル、此決意ヲ示シナガラ修正ニ修正ヲ重ネタト云フコトハ、是ハ尋常一樣ノ外交談判ノ狀態デハナカッタ（拍手起ル）而モ其修正ニ修正ヲ重ネ、言葉ヲ換ヘテ云ハヾ、讓歩ニ讓歩ヲ重ネテ、甚ダシキハ第五項ノ如キ或有力ナル外來ノ事情ニ依ッテ撤回致シタルコトハ公然ノ祕密デアル（拍手起ル）（「ノウ〳〵」ト呼フ者アリ）是ハ國家ノ威信ヲ害セザルモノト思ヒナイ、是ハ事實デアル（「ノウ〳〵」）是デ國家ノ威信ヲ害セザルモノト斷定スルコトハ何人ニモ出來ナイ（拍手起ル）「ノウ〳〵」「餘リ手ヲ叩クト此方デモ叩クヨ」ト呼フ者アリ）又膠州灣還附聲明ノ如キモ何事デアル、此聲明ニ依ッテ喜ブベキ筈ノ支那ガ一向喜ビモ致サヌ、是モ事實デアル、又何故ニ此事ヲ此談判ノ最中ニ當リテ聲明ヲ致シタカ、殆ド其眞意ヲ解シ得ナイノデアル（拍手起ル）斯樣ナル事柄ハ事實デアル、世間ニ現ハレタルトコロノ實際ノ事實デアル、此事實ヲ事實ニアラズト云フ人ハ是ハ別段デ、何人モ見テ居ル事實デアル（ノウ〳〵）又列國ニ對スルトコロノ關係ヲ見ルノニ、支那ニ此談判ヲ開クニ先チ友邦ニ通牒ヲ致シタコトハ、是ハ元ヨリ當局者モ言明ヲ致シテ居ルノデアルカラ間違ナイ、併ナガラ其通牒ノ中ニハ支那ニ請求致シタモノ、全部デナイ、折角友邦ニ通牒ノ趣意ヲ辯明致スト云フコトハ――通牒致スト云フコトハ、意思ノ疏通ヲ圖ル交際上普通ノ手續ヲ取ッタノデアリマセウトハ思フ、然ラバ何故ニ其一部ヲ示サズニアッタノデアルカ、是モ解シ得ナイノデアルガ、ソレハ政府ノ都合ナリト致シマシテ、此一部ヲ隱蔽致シタガ故ニ、各國ハ如何ナル感情ヲ有ッタカ、通牒中ノ一部ヲ漏シタリト云ッテモ各國ハ之ヲ知ッタノデアル、最モ此通牒セザリシ部分ニ付テ大ナル異論ヲ懷キ、御承知ノ如ク今日ノ歐洲大亂ニ際シテ各國ハ東洋ニ向ッテ殆ド手ヲ出スコトガ出來ナイ、是ハ何人モ見テ明カナルコトデアル、斯樣ナル時勢ニ於テハ或ハ日本ガ野心ヲ逞ウシテ、各國ガ手ヲ束ネテ傍觀セザルヲ得ヌガ如キ形勢ニ際シテ、何カ致スデアルマイカト云フコトハ、各國皆是ハ考ニ浮ブベキコトデアル、斯樣ナル時期ニ際シテ支那ニ談判ヲ開キ、而モ其一部ガ通牒ニ漏レタリト云ヘバ、各國ハ如何ナル眼ヲ以テ日本ヲ見ルノデアルカ（拍手起ル）唯サヘ有スルトコロノ猜疑ヲシテ一層深カラシムルノ結果ヲ見ルデアラウ（拍手起ル「ノウ〳〵」ト呼フ者アリ）殊ニ況ヤ、此間ニハ增兵ヲ致シテ支那ガ威嚇セラレタリト云フ感ジヲ懷クヤウナコトモアリ、居留人引揚ヲ内命致シテ決意ヲ示シタルガ如キコトモアル、旁〻以テ各國ノ猜疑心ハ一層深キヲ見ルノハ當然ノコトデアル（拍手起ル）是レ外交宜シキヲ得タル事柄デアラウヤ否ヤ（「讀ミタマヘ」「朗讀々々」ト呼フ者アリ）又相手タル支那ニ對シテ東洋平和ノ基礎ヲ固ウスル爲メ、又ハ其鄰國ノ親善ヲ圖ル爲メナリト稱シテ居ルノデアリマスケレドモ、此事アッテ以來支那ノ上下日本ニ對シテ反感ヲ懷イテ、日貨排斥等モ起ッタト云フコトハ事實デアル、是ハ何人モ否ムコトガ出來ナイノデアル（「ノウ〳〵」「ノウニアラズ」ト呼フ者アリ）脣齒輔車ノ關係、同文ノ國ナリト常ニ稱シ、而モ此度ノ請求ハ東洋平和ノ基礎ヲ固ウシ、親善ノ道ヲ盡スデアラウト思ハスベキ筈デアルノニ、結果ハ之ニ反シテ支那上下ノ反感ヲ買ッタリト云フコトハ、果シテ外交上當ヲ得タル處置デアラウヤ否ヤ、吾ミヨリ考フレバ此度支那ノ承諾ヲ得テ將ニ發布セラレムトスル條約ニ掲グベキ事柄ノ如キハ、若シ親善ノ道ヲ努メテ、支那ト最モ交際ノ親密ナル場合デアリマシタナラバ、談笑ノ間ニ出來得ベキコトデアル（拍手起ル）「ノウ〳〵」「サウハイカナイヨ」「默レ」「議長ハ何ヲシテ居ル」ト呼フ者アリ議場騷然）

○議長（島田三郎君）　靜肅ニ……

（「外交ヲ論ズルノ資格ナシ」「前内閣ノ外交ハ如何」「ヤカマシイ默レ」ト呼フ者アリ議場騒然）

○議長（島田三郎君）　靜肅ニ――靜肅ニ

○原敬君　親善ノ道ヲ盡セバ談笑ノ間ニモ出來得ルト私ガ申スノハ、滿蒙ニ關スル日本ノ優越權ハ、支那ニ於テモ、列國ニ於テモ、認ムル所デアル、又日獨開戰ノ結果トシテ山東省ニ關スル事モ亦當然ノコトデアル、是等ノ事柄ハ斯ノ如キ騷動ヲ致シテ世界ヲ聳動致サズトモ、親善ノ道ヲ努メテ居ッタナラバ、出來得ルコトデアルト私ハ申スノデアル（「前内閣ハナゼシナカッタ」ト呼フ者アリ）出來得タコトモ多々アラウ（「謹聽々々」「前内閣ノ外交ニ鑑ミヨ」ト呼フ者アリ）斯樣ナル外交デアル、頻ニ世間デハ此外交ノ失態ニ就テ（「ノウ〳〵」ト呼フ者アリ）甚ダ遺憾ニ感ジテ居ル（「ノウ〳〵」ノ聲起ル）政府與黨ノ人々ハ之ヲ以テ滿足スルコトハ怪ムニ足ラヌ（「獨リ與黨ノ者ニ止マラズ」ト呼フ者アリ）政府與黨ノ人ハ衷心ニ於テハ如何カハ知ラヌガ、表決ニ於テハ政府ニ贊成スルデアラウ、之ヲ要スルニ此度ノ事件ハ親善ナルベキ支那ノ反感ヲ買ヒ、又親密ナルベキ列國ノ誤解ヲ招イタ、斯樣ナル狀況デアリマシテハ、將來日本ガ如何ナル位置ニ立ツデアリマセウ、日獨ノ關係モ未ダ局ヲ結バヌ、此事ニ就テモ述ブベキ事ハアリマスケレドモ、今日ハ尚時機ニアラズト思フノデアル、アルガ此日獨ノ關係モ未ダ局ヲ結バヌ時デアル、而シテ斯樣ナル事ヲ生ジテ將來日本ガ如何ナル位地ニ立ツデアラウカ、最モ親密ナルベキ支那ノ同情ヲ失ヒ、列國ノ猜疑ヲ深カラシムレバ、取モ直サズ日本ハ將來孤立ノ位地ニ立ツノデアル（拍手起ル「ノウ〳〵」ト呼フ者アリ）申スマデモナク如何ナル强國ト雖モ、列國ノ間ニ孤立スルコトハ出來ヌノデ、是ハ外交上當然努ムベキコトデアルカラ申スマデモナイ、然ラバ則チ此結果ガ親善ナルベキ支那ノ反感ヲ買ヒ、又列國ノ猜疑ヲ深カラシメ、將ニ來ラムトスルトコロノ（「針小棒大ノ論ヲ爲ス勿レ」ト呼フ者アリ）外交狀態即チ歐洲平和ニ歸シ、日獨ノ開戰局ヲ結バムトスルニ際シテハ、實ニ容易ナラヌ影響ヲ受ケシマイカト思フ（「心配ナシ」「杞憂々々」ト呼フ者アリ）斯樣ナル狀態デアルガ故ニ、日本ノ今日ノ位地ニ於テハ此狀態ヲ脫スルコトヲ考ヘナケレバナラヌ（「ヒヤ〳〵」「ノウ〳〵」ト呼フ者アリ）是ハ口舌ノ間ニハ如何樣ニ辯ジテモ、ソレハ行キマセウガ、事實此處アル以上ハ、少シク國家ヲ思フ者ハ此境遇ヲ脫スルノ考ヲ致サナケレバナラヌ（拍手笑聲起ル）此境遇ヲ脫シ將來ノ累ヲ免レムトスルニハ、如何ニスレバ宜シイカト云フニ至ッテハ、他ニ名案良策ノ有ルモノニアラズ、内閣其人ヲ更ヘテ局面ヲ改ムルノ外ニ致方ガナイ（拍手起ル「ノウ〳〵」）更ヘレバ劍呑ダ」ト呼フ者アリ議場騒然）

○議長（島田三郎君）　靜肅ニ――靜肅ニ

○原敬君　此壇上デハ如何ナル議論モ諸君モ爲サルガ宜シイ、サリナガラ此將來ノ考ヲ致シテ、是レガ安心ナリト言ヒ得ザルコトハ無論デアル、故ニ私ハ今日ノ狀況ヨリ考ヘ、國家ノ將來ノ事ヲ憂慮致ス者ハ（「政爭ノ用ニ供スル勿レ」ト呼フ者アリ）當然是ニ考ヘ及ブベキモノデアルガ故ニ、内閣諸公ニシテ若シ國家ヲ思フノ赤誠アラバ（「君ニ赤誠ガアルカ」ト呼フ者アリ）此決議ヲ待ツマデモナク、速ニ處決セラレル筈ト信ズルノデアル

○小山松壽君　原敬君ニ質問ガアル、原君ハ國家ノ體面ニ關スルガ故ニ愼ムト言ハレタノデアリマスガ、然ルニモ拘ラズ……（「議長々々」ト呼フ者アリ議場騒然聽取スル能ハス）此事實ヲ承ラント欲シテ原君ニ質問ヲ致シマス

○議長（島田三郎君）　發議ヲ許シマセヌ、小山君――小山君マダ發議ノ趣意ガ能ク分リマセヌ

（「議長々々」ト呼ビ發言ヲ求ムル者多シ）

○議長（島田三郎君）　石橋爲之助君

（「議長公平」ト呼フ者アリ）

○濱田國松君　議事ノ進行ニ就テ御尋ガアリマス

（「發言中ダ」「默レ〳〵」ト呼フ者アリ）

（石橋爲之助君登壇）

○濱田國松君　石橋君ノ前ニ議事ノ進行ニ就テ御尋ガアリマス

（「無用々々」ト呼フ者アリ）

○議長（島田三郎君）　發議ノ通告ガアリマス

○石橋爲之助君　諸君、（拍手起ル）唯今ハ政友會總裁原敬君ガ本案提出ノ理由ヲ御說明ニナリマシテ、本員ハ少ナカラズ敬意ヲ拂ッテ謹聽シタノデアリマス、此重大ナル案ニ對シテ吾ミガ贊否ヲ決スルニハ最モ愼重ナル態度ヲ執ラナケレバナリマセヌ、ソレ故ニ今此案ヲ提出セラレタ說明ヲ聽イテ滿足スル能ハザルガ故ニ、尚重要ナル事柄ニ就テ一言說明ヲ請ヒタイノデアリマス、抑ゝ外交ノ問題ニ就テイロ〳〵其經過ノ巧拙ヲ批評スルコトハ、固ヨリ自由デアリマス、其論難若クハ批評ニ依テ當局者ニ警戒ヲ與ヘ、若クハ注意ヲ與ヘルコトハ最モ望マシキコトデアリマス、併ナガラ本案ヲ提出致シマスルノハ、卽チ問責ノ決議案デアリマスルガ故ニ、之ヲ提出シ、之ヲ議決スルニ當ッテハ重大ナル責任ヲ伴フノデアリマス、其目的ハ（「要點ヲ言ヘ」「默ッテ聽イテ居レ」ト呼フ者アリ）其責任ヲ問フテ處決ヲ促スノデアリマスルガ故ニ、此目的ヲ以テ決議案ヲ出ス以上ハ、其提案者ニ於テハ必ズ其結果ニ就テ責任ヲ負ハナケレバナラヌノデアル、卽チ之ヲ提出シテ通過スル以上ハ、自カラ取ッテ代ルダケノ抱負ト準備ヲ持タナケレバナラヌノデアル、政治上ノ道德ヲ解スル者ハ――責任ヲ解スル者ハ、之ヲ通過スル以上ハ自カラ取ッテ代ルトコロノ抱負ト準備ヲ有セナケレバナラヌノデアル、然ルニ唯其處決スベシト云フダケデアッテ、唯今ノ說明ノ中ニモ終リニ至ッテ、將來ノ事ニ就テ如何ニスベキカト云フコトヲ論ゼラレタヤウデアルケレドモ、提案者自身ガソレニ對シテ如何ナル經綸ヲ有スルカト云フコトハ、一言モ言ハレナイノデアル、ソレ故ニ苟モ此案ヲ提出スル以上ハ、其提案者ガ取ッテ代ッテ、自カラ如何樣ニ其善後策ヲ執ルカト云フ事ヲ說明センケレバナラヌ義務ガクッ付イテ居ルノデアル（「ヒヤ〳〵」ト呼フ者アリ）政友會ノ從來内閣ニ於ケル外交ノ如何ナリシカヲ記憶スル者ハ、唯單ニ斯ノ如キ決議案ヲ以テ將來ヲ其提案者ニ託スル事ニ於テ、安心スルコトノ出來ナイコトハ明カデアリマス、ソレ故ニ提案者ニ質問スルコトハ此處デアル、提案者ニ說明ヲ求ムルハ此處デアル、政治家ハ單ニ批評家デナクシテ經綸家デナケレバナラヌカラ、其經綸ノ如何ナルモノヲ有スルカト云フ事ヲ、具體的ニ此處デ說明ヲ請フノデアリマス（拍手起ル）而シテ其經綸ニ於テ耳ヲ藉ス値アリト吾ミガ信ズルナラバ、敢テ此案ニ贊成スルコトニ吝ナラザル者デアリマス（拍手起ル）

（「答辯スベシ」「答辯スル必要ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（島田三郎君）　唯今ノ質問ニ就テ別ニ說明ガゴザイマセヌケレバ、他ニ通告ガアリマス

（「議長々々」ト呼フ者アリ）

○議長（島田三郎君）　暫ク

○濱田國松君　議事ノ進行ニ就テ……

（「原君ノ答辯ヲ要スル」ト呼フ者アリ）

○横田千之助君　議長ニ伺ヒタイノハ提案ノ質問ニ名ヲ藉リテ討論ノ順序ヲ亂ルト云フコトハ（「ノウ〳〵」ト呼フ者アリ）初メカラ通告ガ明カニシテアルノニ、提案ノ質問ニ名ヲ藉リテ討論ノ順序ヲ亂ルト云フコトハ……

（議場騒然）

○議長（島田三郎君）　横田君ニ御答ヲ致シマス――横田君ニ御答ヲ致シマス、ソレ故ニ議論ニ亙ラザルコトヲ度々注意致シマシタ、注意ヲ致シタ上ニ說明ヲ請フノデアリマ

スルガ、說明ガ別ニ無ケレバ――次ニ嚴格ニ小山谷藏君ノ通告ガ說明ヲ求ムルニアルナラバ許シマスル、議論ニ亙ルヤウナ事ハ切ニ禁ジマスル――小谷山藏君

○相島勘次郎君　議事ノ進行ニ就テ一言シマス

○議長（島田三郎君）　既ニ許シマシタ、議論ニ亙レバ――（議場騷然）

○相島勘次郎君　是ハ怪シカラヌ下等動物トハ何ダ

（小山谷藏君登壇）

（「議長ハ下等動物ト云フコトガアルニドウシタ」ト呼フ者アリ）

（「下等動物引込ムベシ」ト呼フ者アリ）

○議長（島田三郎君）　議論ニ亙ルト云フ……

○加藤卯之吉君　唯今ノ言葉ニ下等動物ト云フ言葉ガアリマシタガ何デアリマスカ――議長、下等動物トハ何デアリマスカ

○小山谷藏君　議長ノ忠告ヲ尊敬致シマシテ、私ハ本案ノ提出者ニ向ッテ疑義ト思フ要領ダケヲ質問スルノデアリマス、決シテ私ノ意見ヲ、名ヲ質問ニ藉リテ此壇上ニ述ベルト云フコトハ致シマセヌ積リデアリマスルカラ、暫時御靜肅ニ且ツ提案者ニ向ッテ希望ヲ致シマスルノハ、此事實ニ亙ル質問ニ對シテハ、願クハ親切ナル說明ヲ與ヘラレンコトヲ希望スルノデアリマス、唯今同僚石橋君ニ依ッテ爲サレタルトコロノ質問ノ如キハ、責任アル立憲政治家トシテハ當然之ニ向ッテ答辯ヲ與ヘナケレバナラヌ、重大ナルモノデアルト云フコトヲ信ズルノデアリマス、而シテ反對黨ノ首領デアル吾ニノ最モ傾聽スルトコロノ此重大ナル案ニ對シテ（「質問ニアラズ」ト呼フ者アリ）何等ノ答辯ナイト云フコトハ、其彈劾案ソレ自身ガ既ニ無責任デアルト云フコトヲ信ズルノデアリマス（「ノウ〳〵」）「退場ヲ命ズベシ」ト呼フ者アリ拍手起リ又發言ヲ求ムルモノ多ク議場騷然）是レカラ本題ニ入ルノデス、靜肅ニ靜肅ニ（議場騷然）

○議長（島田三郎君）　靜肅ニ……

（此時發言スル者多シ）

○小山谷藏君　尊敬スルトコロノ反對黨ノ領袖ニ向ッテ（議場騷然）領袖ニ向ッテ（「質問ニアラズ」ト呼フ者アリ議場騷然）唯二言――唯二言、唯二ツ（議場騷然）議長不公平」ト呼フ者アリ）唯今原君ノ御演說中ニ此對支外交裏面ノ祕密ニ云フコトヲ承ハッタノデアリマス、裏面ノ祕密トハ果シテ何事デアルカ、（「議長々々」ト呼フ者アリ）議場騷然）吾ミ此議場ノ神聖ノ爲メニ（議場騷然）「議場ヲ整理シロ」ト呼フ者アリ）此議場デ答辯スル能ハザル（議場騷然聽取シ難シ）之ニ對シテ何等ノ說明ヲ與ヘラレナイト云フコトハ、甚ダ不都合ト思フノデアリマス（議場騷然）

○議長（島田三郎君）　小山君――小山君議論ハ止メマス

○小山谷藏君　故ニ……

○議長（島田三郎君）　議論ハ止メマス

（「恥ヲ知レ」「降壇々々」ト呼フ者アリ議場騷然）

○議長（島田三郎君）　議論ハ止メマス、何分ニモ喧嘩デアルガ故ニ孰レカ區別ガ付キマセヌ、議論ニ亙レバ直チニ止メマス

（議場騷然）

○小山谷藏君　私ハ唯二言ダケデ澤山デアリマスカラ御淸聽ヲ願ヒマス、私ハ（「駄目ダ駄目ダ」ト呼フ者アリ發言ヲ求ムル者多シ議場騷然）若シ諸君ガ斯ノ如ク喧噪ヲスルナラバ、私ハ此演壇ニ立テル權利ヲ有ッテ居ルカラ、何時マデモ此處ニ立ッテ居リマス、唯二言ダケデ澤山デアリマス（「無用々々」ノ聲起リ議場騷然）私ハ原敬君ニ向ッテ（「無用無用」ト呼フ者アリ）所謂此對支外交ノ裏面ノ祕密トハ何事デアルカ、又日貨排斥ト云フ現在ノ事實ヲ以テ、之ヲ對支外交ノ失敗トハ何ゾヤ（「無用々々」ノ聲起ル）此二點ダケヲ質問致シテ置クノデアリマス（拍手起リ議場騷然）

○議長（島田三郎君）　片岡直溫君

（片岡直溫君登壇）

（拍手起ル）

○片岡直溫君　諸君、本員ハ此決議案ニ反對ノ意見ヲ陳述致シタイト考ヘマス（「謹聽々々」ト呼フ者アリ）唯今提出者ヨリ決議案ノ說明ヲ承リマシタガ、遺憾ナガラ不信任ヲ證ムベキ事由ヲ十分ニ御述ベニナラナカッタヤウニ思フノデアリマス（「ノウ〳〵」「ヒヤ〳〵」「分ルマイ」ト呼フ者アリ）或ハ本員ノ聽取ガ不十分カモ知レマセヌ（「其通リ」ト呼フ者アリ）然ラバ本員ノ聽取ノ不十分カ、將タ陳述者ノ足ラザル所カハ是ヨリ具體的ニ申シテ見ヤウト思フノデアリマス（「理由貧弱ナルガ故ニアリ」ト呼フ者アリ）提出者ハ外交ニ關スルガ故ニ、言辭ノ上ニ注意ヲ加ヘンナラヌコトデアリ、且ツ今日マデノ間ニ問答ノ裏ニ伏在シテ居ルガ如キコトヲモ、此處デ述ブルコトヲ憚ルノデアル（「君モ知ッテ居ルダラウ其事實ハ」ト呼フ者アリ）斯ウ申サレタノデアル、或ハ事柄ニ依ッテハ陳述ヲ憚ルコトモアル筈デアリマス、併ナガラ政府當局者ヲ不信任ト斷定スル以上ハ、其事實ハ玆ニ供ヘラレナケレバナラヌ（拍手）唯不信任デアルト何等ノ事由ヲ示サズニ斷定スルニ至ッテハ、殆ド不信任ノ體ヲ成サヌモノト私ハ信ズル（拍手起リ「問違ッテ居ル」「國家ハ內閣ヨリ重シ」ト呼フ者アリ）唯今述ベラレタトコロノ要點ヲ强テ捕捉シテ見マスルナラバ（「强テハ要ラヌナ」「默ッテ居レ」ト呼フ者アリ）增兵ヲ致シテ、ソレカラ人民ニ引揚ヲサセテ損害ヲ被ラセテ、支那國民ヲシテ不穩ノ狀況ニ陷ラシメタ、外國人ヲシテ猜疑ノ念ヲ生ゼシメタ、故ニ閣臣ハ處決スベキモノデアル（「其通リ」ト呼フ者アリ）斯ウ云フコトノヤウデアル、此今述ベラレタ事柄ヲ一々具體的ニ辯駁スル前ニ、日支交涉ニ關スル條約其物ノ實體ヲ明ニシテ見タイト思フ、原敬君ハ一月以來提出シテ後三箇月間餘ノ日ヲ費シ、其間屢〻修正ヲ試ミタ「屢〻」ト云フ言葉ハドウ云フコトデアル（「每々ト云フコトダ」ト呼フ者アリ）度々ト云フコトデアル（「靜肅ニスベシ」ト呼フ者アリ）然ルニ此日支交涉ニ對シテハ一月十八日ニ提出ヲ致シテ、二月二日第一回ノ交涉會ヲ開イタト云フコトハ、當局者ノ辯明セラレタトコロデアル、此點ニハ提出者ト雖モ疑ハナイノデアル、而シテ數回交涉ノ後支那側ノ意志ヲ參酌シテ四月二十六日ニ修正案ヲ出シタ（「第一回ノ讓步ガソレダ」ト呼フ者アリ）即チ四月二十六日ニ修正案ヲ出シタモノガ今日ノキマリ成シテ居ルデハナイカ（「ノウ〳〵」ト呼フ者アリ）其後ニ至ッテ多少ノ修正ハアリマスガ、所謂「屢〻」ト云フコトニ、相當ラヌノデアル（「違ッテ居ル」ト呼フ者アリ）或ハ諸君ハ一度以上ノコトハ「屢〻」ト言ハレルカ知ラヌ（「第五項ハドウシタ」「默ッテ聽ケ」ト呼フ者アリ）提出者ノ述ベラル、トコロニ依ッテハ、甚ダ言簡ニシテ殆ド捕捉スルトコロハ無カッタヤウデアリマスルガ、先日來當議會ニ於テ質問應答ヲ累ネラル、間ニ、諸君ノ意思ノ存スルトコロ、竝ニ諸君ガ當議場ヲ離レテ、東京若クハ大阪邊マデ出向カレテ論難サレテ居ルトコロノモノヲ綜合シテ、此處デ本決議案ニ反對ノ事實ヲ述ベル外ハナイ（「衆議院ノ壇上ヲ忘レルナ」ト呼フ者アリ）之ヲ最初提出セラレテ以來ノ經歷竝ニ提出セラレタ條項ヲ今玆ニ悉ク申上ゲ、サウシテ次ニ四月二十六日ニ修正ヲ致シタト云フ事柄ヲモ亦玆ニ具體的ニ申上ゲ、而シテ五月六日最後通牒ヲ發シタルトコロノ事柄ヲモ申上ゲルコトガ、事ノ順序竝ニ明瞭ヲ致ス事柄デアルト思フノデアル（「分ッテ居ル」ト呼フ者アリ）而シテ之ヲ悉ク述ベ終リマスニハ、此說明ダケデ約二時間以上ノ時間ヲ費ヤスト思フ、是ハ諸君ノ定メシ苦痛ト感セラル、トコロデアリマセウカラ、大要ハ速記錄ニ載セテ置イテ、其事柄ノ中重要ナル事柄ノミヲ玆ニ提ゲテ陳辯シテ見ヤウト思フノデアル（「二時間ヤッテ困ルトハ何ンダ」ト呼フ者アリ）最初ヨリ山東省ニ關シテ提出ヲ致シタ箇條ハ諸君モ知ラル、通リ四箇條デアル、未ダ條約ノ御批准モ濟マズ、正式ニ發表ニナラザルモノデアリマスガ故ニ、或ハ一字一句違ヒナシトハ申上ゲ兼ネマスガ、支那ニ於テ御承知ノ通リ既ニ發表致シテ居ルモノト、其發表シタルモノニ依テ日本ノ新聞紙ノ明ニ致シタモノト綜合致シテ見ルト、恐ラク本員ガ玆ニ調ベテ

居ルモノニ違ヒハナイト信ズル、此物ニ依ルト山東省ニ關スル提出ノ四箇條ハ、條約文ニ依ルモノ、或ハ公文ニ依ッタト云フガ如キ形式ノ相違ハ多少ゴザイマスルガ、事實ハ最初提案ノ通リニ濟ンデ居ルノデアル（「嘘デアル」ト呼フ者アリ）之ヲ諸君ガ成ルダケ濟マナイヤウニ、或ハ出來上ラナイヤウニ、失策ノアルヤウニト云フ御希望ノアルカノ如ク聽エマスケレドモ、事實ハ提出ノ通リニ濟ンデ居ルノデアル（「何ンダ捻ヘロ」「外交ニ關シテソンナ考ヲ持ッテ居ル者ガ何處ニ在ルカ」「隨分失敬ダ」ト呼フ者アリ）南滿洲ニ關シテ七箇條ノ提出ヲ致シ、此七箇條ニ關シテハ內蒙古ニ關スルモノヲ取離ストモ云フコトガ其後ニアッタノデアリマス（「ソレガ大讓歩ダ」「ソレヲ讓歩ト思ハヌカ」ト呼フ者アリ）其箇條ハ結局九箇條ニ殖エテ居ル（「條項ハドウデモイヽヨウレデ駄目ナンダヨ」ト呼フ者アリ）內蒙古ノ事柄ヲ取離シタカラ失敗デアルト言ハレル（「當リ前ダ」ト呼フ者アリ）一緒ニシタモノヲ二ツニ分ケテ目的ノ通リニ約束ガ出來タトスレバ、何ガ失敗デアル、當初我帝國ノ目的ヲ達シサヘスレバ形ハ何レニ變ハラウガ、何ニモ差支ハナイ（「君ノ議論ハナマヌルダヨ」ト呼フ者アリ）或ハ諸君ハ今日マデ唱ヘラレテ居ルトコロノモノト、本員ガ事實ヲ表白スルトハ多少違ヒマセウカラ、或ハ諸君ノ滿足セヌトコロカ知ラヌガ、事實ヲ奈何セム（「事實ガ失敗ダ」ト呼フ者アリ）事實ハ事實トシテ變更ハ出來ナイノデアル（「默ッテ聽ケサウ騒ゲト君等ノ演說ノトキニ妨害シテヤルゾ」「ヤッテ見イト言フナラヤルゾ」「犬養君ニ叱ラレテルデヤナイカ」ト呼フ者アリ）（笑聲起ル）

○議長（島田三郎君）　靜肅ニ願ヒマス

○片岡直溫君　漢冶萍公司ニ關スルコトハ——本員ハ念ノタメニ一言シテ置キマスガ、既ニ此演壇ニ立ツコトヲ許サレタ以上ハ、自己ノ言ハムトスルコトヲ遮ベ盡ス間ハ、如何ヤウニ妨害サレテモ降リハシナイ、サウスレバ徒ラニ時間ヲ引ッ張ルノミ（「降リロトハ言ハヌ」ト呼フ者アリ）漢冶萍公司ニ關スル事柄ノ最初二項デアル、其二項デアッタモノヽ、一項ヲ撤回シタコトニナッテ居リマスカラ、或ハ之ヲ以テ失策ナリト言ハルヽノデアルカ（「勿論デアル」ト呼フ者アリ）併ナガラ是亦豫定ノ目的ハ一項ノ中ニ達シテ居ルノデアル、若シ強テ諸君ガ私ノ言フトコロノモノニ違フト言フナラバ、茲ニ速記錄ニ遺シテ置クカラ、其速記錄ヲアトカラ讀ンデ御覽ナサイ（「ソンナ暇ハナイヨ」ト呼フ者アリ）始メ提案シタモノト其後ニ修正シタモノト最後ニ於テ纏リタルモノトガ明カニナルノデアル、其次ニ諸君ノ最モ遺憾トセラル、所ノ所謂第五項、此第五項ナルモノヲ後日ノ談判ニシタト云フコトガ、諸君ノ念頭ニ城鐵壁トシテ存ハル、所デアル、又其精神ニ至ッテハ私モ同感デアル、他日時機ヲ見テ此交涉ハ圓滿ニ纏メネバナラヌモノト思フ、併ナガラ交涉ヲ開イテ以來數次ノ意思ノ交換ノ結果（「半年カヽッタ」ト呼フ者アリ）半年掛ラウガ、二箇月カヽラウガ、其要旨ヲ——意思ノ交換シタルモノヲ記錄ニ留置クト云フ事柄ト、後日ノ話ニスルト云フコトト、ドレ程違フノ、之ガ爲メニ大失敗デアルト言ハル、ニ至ッテハ、諸君ハ事ヲ誣ユルノ甚シキモノト思フ、其五項ノ中ノ七項ニ關スルガ如キハ、却テ最初提出シタモノヨリハ、其後ノ意思交換ノ結果、遙ニ有利ナル所ノモノトナリ優ッテ居ルノデアル（拍手起ル）是ヨリ多少原君ノ言ハレタ所ノモノト、相交叉シテ申上ゲテ見ヤウト思ヒマスガ、此談判ヲ爲スニ當ッテ、決議案ノ文面デハ「機宜ヲ愆リ」トアル、今此處デ說明ヲセラレタ所デハ機宜ヲ愆タ事實ハ何モ言ハレナイ、其中ノ言葉ニ增兵ヲ致シタト斯ウ云フコトガ挾マレテアル、サウシテ見ルト、此「機宜ヲ愆リ」ト云フコトハ、世間デ言ッテ居ル所ノ、何故此談判ヲスルナラバ膠州灣ノ兵ヲ引揚ゲザル前ニ於テシナカッタト云フ論ガアルガ、其事ヲ云フノデアラウ、若シ果シテサウデアルナラバ、假リニ增兵ヲ致シタト假定シテ、其兵ノ居ル中ニ何故シナカッタト云フナラバ、其增兵ヲシタイト云フコトノ非難トハ事柄ハ相矛盾スルノデアル、併ナガラ「機宜ヲ愆リ」ト云フコトハソレデハナイカモ知レナイ、滿洲ノ守備兵、之ヲ交代スルト云フコトハ陸軍大臣ノ權能ニ在ッテ、之ヲシテ強テ諸君ガ增兵ト認ムルノハ是非ニハ及バヌガ、當局者ハ增兵ニ非ズシテ交代兵ヲ出シタノデアル、又不穩ノ狀況等ノ爲メニ交代シタルモノヲ、直グ引揚ゲルコトヲ多少ハ猶豫シタ、是ハ治安ヲ維持スルニ於テ當然爲スベキ事デアル、之ヲ以テ支那側竝ニ歐米各國ノ猜疑心ヲ喚起シタト云フコトハ、ソレハ恐ラク提出者自身ノ觀察デアル、世界ハ何等之ニ對シテ疑念モ危惧心モ懷イテ居ナイノデアル、或ハ支那側ニ於テハ多少危惧心ヲ懷イタカモ知レナイ、今一ツハ原敬君ハ膠州灣ヲ還ス、而シテ支那側ハ一向澤バヌノデアル、日本ノ國民モ亦澤バヌノデアル、其澤バヌコトヲ何ガ故ニシタカ、甚ダ失態デアルト斯ウ言フ、成程之ヲ能ク吟味シテ見タナラバ、支那側ニ於テ澤バヌコトモ強チ絕對ニ無理トハ云ヘヌ箇條ガアルト思フ、何故ナラバ無條件デ其儘今還スト言ッタラ澤ブカ知レナイガ、サウデハナイ、今度ノ還スト云フ事柄ハ……（發言スル者多シ議場騒然）マア靜ニ御聽キナサイ、支那政府ニ於テ帝國政府ノ要求ヲ容ルヽニ於テハ、日本國政府ハ現下ノ戰役終結後、膠州灣租借地ニシテ、全然日本國ノ自由處分ニ委セラル、場合ニ於テハ、而シテ山東省ノ契約ノ中ニ獨逸ト日本トノ交涉ニ關シテハ、支那ハ更ニ異議ヲ挾マズ、之ニ同意スルト云フ箇條ガ前ニ極ッテ居ル、此極ッタ範圍內ニ於テ日本ガ自由ニ處分ヲ委セラル、場合ニ於テ、其場合ニ於テドウスルカト云フト、日本國ガ指定スル地區ニ日本專管居留地ヲ設置スル、其居留地ノ如キモ此居留地ノミ……（喧囂甚シク發言スル者多シ）

○議長（島田三郎君）　伊東知也君ニ注意シマス、度々發議ヲナサルト云フコトハ不規則デアリマス、再々御聞入ナケレバ已ムヲ得ズ規則ヲ勵行致シマス

○片岡直溫君　專管居留地ヲ置ク場合ニ於テ、例ヘバ鐵道ニ接近シタ所、若クハ港灣ニ接近シタ所、將來日本ニ有利ナル已レノ欲スル所ニ居留地ヲ設ケラル、ノデアル、サウシテ獨逸施設物ノ處分、其他ノ條件手續等ニ付テ、還附實行ニ先ダチ、日支兩國間ニ協定ヲ爲ベキコトノ條件ヲ付シアリ、此獨逸施設物ハ諸君ハドレダケノ物ガアルト知ッテ居ルカ、現ニ是ニハ埠頭モアル、學校モアル、病院モアル、造船所モアル、水道モアル、電燈モアル、港灣モアル、屠牛場モアル、森林モアル、斯ノ如キ獨逸ノ施設シタ物ニ對シテ日本ト支那ト相談ヲシタ上デ、日本ノ欲スル所ノ物ガ纏マラナケレバ還スト云フコトハ成立タヌノデアル、又鐵道ノ如キハ獨逸民ノ設立スル所トハッテ居ルガ、戰局其終局ノ如何ニ依テ、或ハ他國ニ於テモ例ガアルコトデアル、其國ガ之ヲ買ッテコチラヘ渡スト云フガ如キコトモ絕無トハ云ヘナイ、斯ル事柄ハ總テ將來ニ係ル、其將來ニ係ル事柄ヲ解決シタ後ニ非サレバ還附ト云フコトハ無イ、然ラバ還附其モノハ非常ニ難有ク思ハヌト云フコトモ是モ是非ナイコトデアルマイカ、之ヲ斯樣ナ條件無シニ其儘全部ヲ還スト云フコトデアッタラ澤ブダラウ、斯樣ナ條件付デ還サル、ト云フコトニナッタトキニハ其國民ガ甚ダ澤バヌト云ッテ原敬君ハ兎ヤ角言ハレルガ、是ハソノ國民ノ解釋如何ニ存シ是非ニ及バヌ事デアル、又我國民モ之ヲ還附スル、還附ノ二字ニ於テ國民ハ痛ク失望致ス、其還附ト云フノハ總テ全然其土地ヲ還附スルト云フ意味ト、今申上ゲタヤウナ獨逸ノ施設ニ關スル事柄ヲ解決シテ、サウシテ土地ノ主權ヲ還スト云フコトニ依テハ是ハ大ニ趣ガ違フノデアル、兎角我國民ハ其結果ノミヲ見テ其經歷事由等ニ對シテ穿鑿ヲ用非ナイ國民デアル（「ソウ〳〵」ト呼フ者アリ）ソレ故ニ還附ト云フ言葉ニ依ッテ取タモノヲ返スト云フノハ還憾デアルト斯ウ云フノダガ、返シテモ實體其物ヲ返スノト、其處ノ地上ニ施設シテアルモノヽ處分ヲ致シタ上ニ返ストニ依ッテ、其結果ハ非常ニ違フノデアル、即チ此點ニ於テ床次君ハ、膠州灣還附ニ對シ大體ニ於テ異論ガナイノデアル、又支那政府ニ向ッテ持出サレタトコロノ條件モ、大體ニ於テ同意ヲ表スルノデアル、斯ウ云フコトヲ此演壇デ明カニ言ハレノデアル（「二百的ヲ言フナ」ト呼フ者アリ）ソレハ當然サウアルベキコト、信ジテ居ル（「速記錄ヲ朗讀スベシ」ト呼フ者アリ）朗讀スレバスル程今本員ガ言フタコトガ確カニナル、既ニ政友會領袖ノ床次君ノ此演壇ニ於テ明ニセラレタトコロノモノヲ以テスレバ、總裁タル原敬君ニ於テ全然御同意——即チ政友會全體ノ是ハ輿論ト斷定シテ當然デアラウト思フ（「眞面目ニヤッテ貰ヒタイ」ト呼フ者アリ）此ニ於テ政友會總裁——重要ノ事柄デアリマスガ故ニ、其同意ヲ表スル事由ヲ明カニ茲ニ述ベラレルコト、信ジテ居リマシタトコロガ、決議案其物ノ實質ヲモ說明ハ不十分デアル、一言膠州灣還附ニ說キ及ボサナカッタコトハ甚ダ遺憾デアリマスガ、併ナガラ是ハ床次君ガ言

ハレル通リ、全然我意ヲ得タルモノデアル、卽チ今回ノ支那ニ關スル交涉ノ順序經歷ニ於テハ、諸君ニ於テ異議ガアルカモ知レマセヌガ、其結果ニ至ッテハ大體ノ豫定、物ニ依ッテハ豫定以上ノ好成績ヲ得テ居ル(拍手起ル)本員ノ如キ之ニ對シテ大成功大滿足ヲ表シテ居ル(拍手起ル)何故ニ大滿足ヲ表スルカト云フコトニ付テ少シク此處デ御話ヲシナケレバナラヌ、抑々我國ノ今日ノ境遇、我國ノ產業並ニ發展ノ上ニ於テ、歐羅巴ノ國ミヨリ多少遲レテ居ル原因ハ何處ニアル、卽チ彼ノ國ニアッテハ資本家、事業家、勞働者階級ソレ〴〵ガ備ッテ、以テ機宜ヲ愆ラザルトコロノ計畫ガ進ンデ行クガ故ニ、今日マデノ富强ヲ存シタモノデアル、我國ハ不幸ニシテ維新以來總テノ政治ニ關シ、經濟界ニ關シ、財政上ニ關シ、爲スベキ事柄ハ多々アル上ニ於テ、資本家ノ階級、事業家ノ階級、勞働者其モノ、階級モ純然トハ立タズ來ッタモノデアル、而シテ今ヤ歐羅巴ノ此大戰亂ニ際シテ、資本家ノ階級モ、勞働者ノ階級モ、將又事業家ノ階級モ、殆ド壞ハサレテ居ル、加之此戰爭落着ノ後ニ於テ戰費ノ始末トシテ少ナカラザルトコロノ公債ノ發行、及ビ增稅ハ其國ノ始末トシテ避クベカラザルコトニ至ルニ相違ナイ、其公債ノ發行、增稅ノ避クベカラザル結果ハ生產ノ上ニ於テ非常ナ影響ヲ來シ、物價ノ騰貴ヲ促スト云フコトモ亦當然來ルベキ順序デアル、斯ノ如キ彼ノ國ニ於ケル(脫線ト呼フ者アリ)之ヲ脫線ト言ハレルガ如キハ殆ド外交ヲ知ラナイノデアル、斯ノ如キ秩序ノ亂レタ時ニ當ッテ、幸ニ我國ハ今日事業家ノ階級モ、資本家ノ階級モ、勞働者ノ各階級モ、略々整ウテ來タノデアル、此整ウタトキニ當ッテ彼ノ國ノ秩序ノ亂レテ居ル間ニ、我產業ノ發展國利民福ノ增進ヲ圖ルト云フコトハ、逸スベカラザル時機デアルノデアリマス(拍手起ル)此時機ニ於キマシテ年來ノ懸案トナリシトコロノ支那ニ對スル問題ガ解決セラレタト云フコトハ、苟クモ實業界ニ身ヲ置ク者ニアッテハ非常ナ滿足ヲ表スルモノデアル(拍手起ル)或ハ政治界ニ於テ、徒ラニ言論ヲ樂ミトセラル、階級ニアッテハイザ知ラズ、苟モ國ノ產業ニ從事シ發展ヲ眞ニ圖ルベキ地位ニ在ル人々ニ於テハ、今日ノ此懸案ヲ解決シテ安心シテ、以テ彼ノ國ニ向ッテ事業ノ經營ヲ爲スコトノ出來ルノハ、非常ニ滿足ヲ以テ迎ヘテ居ルノデアル(拍手起ル「涙ハ共ニハ分ルマイ」「ソンナ外交ガアルモノカ」ト呼フ者アリ)諸君ハ外交ト云フモノハ如何ニ解釋サレテ居リマスカ、本員等ハ外交ノコトモ經濟的外交デナケレバナラヌト考ヘテ居ル(「ヒヤ〳〵」)此經濟的外交ヲシテ唯形式ダケノ空辭空文ヲ羅列スルコトヲ以テ貴シト思ウテ居ラヌノデアル(「日貨排斥ハ如何」「國辱ハ如何」ト呼フ者アリ)先刻折角忘レテ居ッタモノヲ喚起サレテ思出シマシタ、喚起サレタ好意ヲ謝シマス、日貨排斥ト云フコトガ原敬君ノ口ヨリ出タノデアリマス、如何ニモ其通リ、併シ支那ノ國ニ於テハ其國ノ稍々不利ナリト云フ事柄ヲ交涉スルニ當ッテハ、例ノ「ボイコット」的ノ動作ニ出ルト云フコトハ其國ノ習慣デアル、卽チ政友會內閣ノ當時、彼ノ辰丸ト云フ小サナ船ガ、廣東ノ一方ニ抑留サレタトキニ於テ、殆ド最後ノ通牒マデ發セラル、ニ至ッタニ拘ラズ、彼ノ「ボイコット」ヲ起シテ以テ非常ナ困難ヲナサレタト云フコトハ、政友會諸君モ現ニ實驗サレタコトデアル、是ハ支那國民ノ一時ニ起ルトコロノ現象デアリマス、今日マデニ於テモソレコソ屢々シテ居ル、一度ナラバ卽チ屢々デアリマス、此修正ノ如キモノハ本員ハ屢々トハ言ハヌ、併ナガラ今回ノ日本ヨリ支那ニ向ッテ要求シテ遂ニ圓滿ニ局ヲ結ンダ事柄ハ、既ニ日露戰爭、次ニ今回ノ戰爭ニ於テ少ナカラザルトコロノ人命ヲ損シ、費用ヲ投ジタル結果デアリマシテ、世界モ認ムルトコロ、支那國民モ靜カニ考ヘレバ、是ハ已ムヲ得ザル運命ニ遭遇シタルモノナリト云フコトヲ覺リ得ルノデアル、而シテ支那人ハ最モ尊崇スルトコロノ主權其モノハ、大體形ノ上ニ於テ害シテナイノデアリマス、然ラバ冷靜ニ此事實ヲ知ルニ至ッテハ、今日ノ紛擾騷擾ヲ來シテ居ルガ如キ形跡ハ遠カラズシテ沈靜ニ歸スルト云フコトモ、是モ既往ノ「ボイコット」ヲ起シタ迹ニ付テ諸君ノ斷定シテ差支ナイコトデアル、而シテ殘ル所ハ歐米各國ノ猜疑心ヲ起シタト云フコト、何處ニアル、猜疑心ヲ起シテ今ヤ日本ト他ノ列强トノ間ニ於テ頗ル憂フベキ事ノ如クニ述ベラレタノデアリマスガ、不幸ニシテ事實ヲ少シモ述ベラレナイカラ、少シモ捉ヘ所ハナイノデアルガ何處ニアル、或ハ左樣ナ事ガ起ルカモ知レナイト云フコトノ御心配デアルカ、ソレハ物ハサウ御心配ニナルト却ッテ事實ガ生ズルカ知レマセヌガ、安心シテ御掛リニナッタラバ、當然ノ事柄ハヤハリ當然トシテ解決スルモノデアル(拍手起ル)今一ツハ人民ノ引揚、人民ノ引揚ヲ命ジタ、是ハ當局者ハ命ジタノデハナイ注意シタト云フ、併ナガラ敢テソレモ追窮ハ致サヌガ事實ハ相違ナイト云フ、ソレハ其通リノ解釋デス、併ナガラソレハ最後ノ通牒ヲ發シタ時デアル、最後ノ通牒ノ裏面ハ是ガ解決セザレバ、卽チ兵ヲ動カスコトノ止ムヲ得ザルコトニ遭遇スルコトハ當然ノコトデアル、其時ニ當ッテ其處ノ邊ニ居ルトコロノ我同胞ガ、機宜ヲ愆ッテハ相成ラヌカラ、斯ノ如キ狀況ニ進ミツ、アルト云フコトヲ知ラシメルト云フコトハ、爲政者ノ當然是ハ爲スベキコトデアリマス(拍手起ル)若シソレヲ政友會諸君ガ內閣ノ地位ニアッタ時ニ、之ヲ爲サレヌト云フコトデアッタナラバ、我海外ニ居ル同胞ハ其政府ニ安ンジテ居ルコトハ出來ナイノデアル(拍手起ル)其結果トシテ此最後ノ通牒ガ幸ニ支那ノ反省ヲ來シテ、穩便ニ事ガ濟ンダタメニ、急イデ用意ヲシタモノガ多少ノ迷惑ヲ感ジタト云フコトハ、如何ニモソレハ氣ノ毒千萬、同情ニ堪ヘヌコトデハアルガ、海外ニ於テ仕事ヲシテ居ルモノハ、常ニ斯ノ如キ危險ハ偶々來ルベキモノ位ノコトハ當然注意シテ居ルベキ筈ノモノデアラウト思フ(拍手起ル)併ナガラ是亦其情狀ニ依ッテ、救ハレルダケノモノハ救フト云フコトノ途ヲ取ルノモ當然デアリマセウガ、今度ノ談判ノ結果トシテ、彼等ハ常ニ支那人ヲ相手ニシテ支那人ノ名前ニ依ッテ不安ナガラ仕事ヲシテ居ッタモノガ、當然我利權ノ下ニ於テ安心シテ仕事ガ出來ルト云フコトハ、其一時ノ不幸ヲ埋メ合シテ餘リアルモノト私ハ信ジテ居ル(拍手起ル)ソレカラ五項ヲ隱蔽シタ、ソレ故ニ猜疑ノ念ヲ起シタ、隱蔽ト云フコトハドウダ、隱蔽ト云フコトハ殊更ニ隱スト云フコトデアル、初メカラ言ハレナカッタモノヲ隱蔽デアルト云フコトハ、是ハ餘程妙デアル(笑聲起ル)諸君ハ常ニ物ヲ曲解スルコトニ努メテ事ニ當ッテ居ルヤウデアル、併ナガラ向フカラ質問ガアレバ之ヲ答ヘヌト云フコトニ至ッテ隱蔽ト云フコトデハナイカ、向フカラ問フテ來ルコトヲ之ニ答ヘルノハ隱蔽デハナイデハナイカ(「明瞭」ト呼フ者アリ)是ハ外務當局者ガ、第五項ヲ殊更ニ初メカラ言ハレナカッタト云フコトハ、其以外ノコトハ、我邦ノ今日マデノ運命トシテ當然要求ノ仕遂クベキモノ、其他ハ希望條件デアルガ故ニ、初メカラ一緒ニシテハ言ハナカッタト云フコトヲ明カニ言ッテ居ルデハナイカ、之ニ對シテ言フタガ宜カッタカ、言ハナカッタガ宜カッタカト云フ如キハ、ソレハ人々ノ解釋ニ委ス外ナイ、本員等之ニ對シテドッチガ宜カラウカ惡カラウカ、其問題ガ他日時機ヲ得テ解決スレバ宜シイト思ッテ居ルノデアル(拍手起ル)最後ニ今回ノ條約ノ整ッタ事柄ハ、談笑ノ間ニ是ハ出來ベキモノデアッタト信ズルト云フ、是ハ原敬君ノ立場トシテハ私カラ見レバ大膽至極ノ言分、或ハ原君ハ尊敬スベキ經歷ノアラセラレル方デアルカラ、原敬君自身ニ當ラレタナラバ談笑ノ間ニヤラレタカモ知ラヌ(「ノウ〳〵」ト呼フ者アリ)自分ハ信ジナイガサウ云フ確信ハアルカモ知レヌ(「何ンデアルモノカ」ト呼フ者アリ)是レハ有ルカ無イカハ姑ク措キマシテ、サウ容易イコトデハナイト考ヘル、何トナレバ例ヘバ南滿洲及安奉兩鐵道ノ二ツダケニ關シテ見テモ、サウ容易ニ私ハ行クベキモノデナイト思フ、何トナレバ此南滿鐵道ハ運轉開始ノ時ヨリ三十六年ヲ經レバ買戾シヲサル、コトニナッテ居ル、今日マデハ最早十二三年濟ンデ居ル、其時期ガ來タレバ彼ハ外ノ第三國ヨリ金ヲ借リテモ何ニシテモ、金ヲ整ヘレバ買戾ス權利ヲ有ッテ居ル、ソレカラ八十年ヲ經レバ無償デ之ヲ還サレルコトニナッテ居ル、然ルニ今回之ヲ買戾ノ條件モ、無償條件モ一切引外ボテシマッテ、九十九箇年マデ租借スルコトニシタト云フガ如キコトハ、サウ談笑ノ間ニナンシ支那人ガ金持デモ、サウ容易ク行キマスマイト思フ(拍手起ル)安奉線ニ至ッテハ改築工事落成後十五年ヲ經レバ、第三者ヲシテ之ヲ評價セシメ、其評價ニ依ッテ買戾ヲ得ルト云フコトニナッテ居ルモノデアル、第三者ニ評價セシメテ何ンボニ評價スルモ仕方ガナイ、ソレニ依ッテ金サヘ拵ヘレバ取戾スニ相違ナイ、ソレヲ九十九箇年マデ――此買戾ノ條件ヲスッカリ打潰シテ以テ九十九箇年租借シタ、左樣ナコトハ如何ニ金持デモ、サウ談笑ノ間ニ出來ベキコトデナイト私ハ信ズル、其他內蒙古ニ關スルコト、南滿洲ノ內地ニ關スルコト、之ヲ分ケテ此處デ御話スルト頗ル長イ時間ヲ要シマスガ、談笑ノ間ニ是ガ

解決セラレタト云フ御言葉ノ大膽ト同時ニ、サウハ參ラザルモノト云フコトハ恐ラク天下公衆ノ判斷上、サウ容易イ事業デハナカツタト此一點ダケデモ見ラレルト私ハ信ズル（拍手起ル「原敬顏色ナシ」ト呼フ者アリ）斯ノ如ク論ジテ見マスルト、此決議案ナルモノハ政府當局者ノ不信任ヲ斷定スル處ノ事由ハ毫モ存シテ居ラヌ（拍手起ル）毫末モ存シテ居ラヌ、或ハ諸君ニ於テハ是以上ノ御希望ハアルデアラウ、又我國民トシテモ是以上ノ希望ヲ持ツ者ハアルデアラウト思フ、併ナガラ相手モ國ヲ成シテ居ル以上ハ、サウ已レノ欲スル通リニ出來ベキモノデモナシ、又サウヤルベキモノデモナイノデアル（「ヒヤ〱」ト呼フ者アリ）先ヅ今日ノ得タル權利ノ下ニ、彼我ノ利益ヲ增進スルト云フコトノ道ヲ計ルコトコソ當然デアル（拍手起ル）今ヤ歐羅巴ノ戰ノ場合ニ於テ、此得ラレタ所ノ利權ヲ利用シテ、我將來ノ發展ヲ計リ、支那國民ヲシテ又益々親密ナラシムルノ法ヲ講ズルニハ、所謂擧國一致（拍手起ル）政黨ノ如何ニ拘ラズ共ニ俱ニ進マナケレバナラヌ事柄デアラウト私ハ信ズル（拍手起ル「ヒヤ〱」ト呼フ者アリ）此一日モ忽セニスベカラザル好機會ノ時ニ當ツテ、徒ニ政爭ヲ喚起シ、無キモノヲ有ルガ如クニ言ヒ爲シ、猜疑ノ念ノナイモノヲ猜疑ノ念アルト稱シ、平靜ニシテ居ル人民ヲシテ煽動スル、斯ノ如キ形績ニ出ルト云フガ如キコトガ、果シテ國家ノ前途ヲ憂慮スル所ノ士ノ爲スベキ動作ト云フベキデアリマセウカ、恐ラクハ我國民ノ多數ハ、斯ノ如キ徒ニ紛擾ヲ釀スガ如キコトハ欲セザルノミナラズ、極メテ之ヲ嫌フモノデアリマス（拍手起ル）私ハ政友會諸君ノタメニ希望ヲ致スノハ、諸君ガ今日マデ斯ノ如キ動作ヲ屢々繼續サレテ、卽チ立憲擁護藩閥打破ナドト云フコトヲ唱ヘテ國民ヲ騷ガセ、其結果ハ直ニ手ノ掌ヲ覆スガ如キ動作ヲ執ラレ、今又總選擧ニ際シテ少數ノ境遇ニナラレタトシテ、徒ニ騷イデ平靜ナル所ノ國民ヲ煽動シ、我國ノ前途ニ對シテ障碍ヲ釀スト云フガ如キ動作ニ出ラレルコトハ、常ニ愛黨ノ念ニ驅ラレル所ノ政友會諸君ノ將來ノタメニモ、決シテ利アラザルコトト信ズルノデアリマス（拍手起ル）此場合ニ於テハ此決議案ノ如キハ斷然撤回サレテ、擧國一致ノ動作ニ出デラレンコトヲ偏ニ希望スルノデアリマス（拍手起ル「參ツタカ參ツタカ」ト呼フ者アリ）

〔參照〕

原案修正案確定案比較概要

支那政府ニ提出シタル我原案	支那政府ニ提出シタル我修正案（四月二十六日）	兩國間ニ協議纏リタル確定案
山東省ニ關スル件	山東省ニ關スル件	山東省ニ關スル件
第一、支那政府ハ獨逸カ山東省ニ關シ條約其他ニヨリ支那ヨリ獲得シタル權利利益讓與等ノ處分ニツキ將來日獨兩國間ニ協定スヘキ一切ノ事項ヲ承認スヘキ旨ヲ約スルコト	第一、（大體原案ニ同シ）	第一、（大體原案ニ同シ）
第二、支那政府ハ山東省內若ハ其沿岸島嶼ヲ他國ニ讓與又ハ貸與セサルヘキコトヲ保證スルコト	第二、（公文交換）（大體原案ニ同シ）	第二、（公文交換）（大體原案ニ同シ）
第三、支那政府ハ芝罘又ハ龍口ト膠濟鐵道トヲ聯絡スヘキ鐵道ノ敷設權ヲ日本國ニ許與スルコト	第三、支那政府ハ芝罘又ハ龍口ト膠濟鐵道トヲ聯絡スヘキ鐵道ヲ敷設セムトスルトキハ日本側ニ借款ノ商議ヲナスヘキコト	第三、（大體四月二十六日ノ修正案ニ同シ）
第四、支那政府ハ自ラ外國人ノ居住貿易ノ爲ニ山東省ニ於ケル主要都市ヲ開放スヘキ旨ヲ約スルコト又其地點ハ別ニ協定スルコト	第四、（大體ニ於テ原案ニ同シ）	第四、（大體四月二十六日ノ修正案ニ同シ）
南滿洲及東部內蒙古ニ關スル件	同件	同件
第一、旅順大連租借期限竝ニ南滿洲及安奉兩鐵道ニ關スル各期限ヲ更ニ九十九箇年延長スルコト	第一、旅順大連租借期限竝ニ南滿洲及安奉兩鐵道ニ關スル各期限ヲ何レモ九十九年宛延長スルコト	第一、（大體ニ於テ四月二十六日ノ修正案ニ同シ）
第二、日本人ニ對シ南滿洲及東部內蒙古ニ於テ各種商工業上ノ建物ノ建設又ハ耕作ノ爲必要ナル土地ノ賃借權又ハ所有權ヲ許與スルコト	第二、日本國臣民ハ南滿洲ニ於テ各種商工業上ノ建物ヲ建設スル爲又ハ農業經營ノ爲必要ナル土地ヲ賃借又ハ購買（暫租又ハ永租或ハ永キ期限附ニテ且ツ無條件ニテ更新シ得ヘキ租借ヲ含ム了解ノ下ニ商租トスルモ差支ナシ）スルコトヲ得	第二、（大體ニ於テ四月二十六日ノ修正案ニ同シ）但シ上記了解ノ下ニ商租ノ字句ヲ用フルコトニ決定セリ）
第三、日本人カ南滿洲及東部內蒙古ニ於テ居住往來竝ニ各種商工業及其他ノ業務ニ從事スルコトヲ許スコト	第三、日本國臣民カ南滿洲ニ於テ居住往來竝ニ各種ノ商工業及其他ノ業務ニ從事スルヲ許スコト 前二項ニ關シ日本國臣民ハ例規ニ依リ下付セラレタル旅券ヲ地方官ニ提出シ登錄ヲ受ケ且ツ日本國領事官ニ於テ承認シタル警察法令ニ服從シ同ジク其承認シタル課稅ニ服スヘシ民刑訴訟ハ日本人被告タル場合ニハ日本國領事官ニ於テ又支那人被告タル場合ハ支那國官吏ニ於テ之ヲ審判シ互ニ員ヲ派シ臨席傍聽セシムルコトヲ得但シ土地ニ關スル日支人間ノ民事訴訟ハ支那國ノ法律慣習ニヨリ日本國領事官及支那國官吏ニ於テ共同審判スヘシ又將來同地方ノ司法制度完全ニ改良セラルルトキハ日本國臣民ニ關スル一切ノ民刑訴訟ハ完全ニ支那國法廷ニ於テ審理スヘシ（商前記日本領事官承認ノ件ハ本條ヨリ削除シ別約ヲ以テ規定スルモ差支ナシ）	第三、（大體ニ於テ四月二十六日ノ修正案ニ同シ）（此點ニ付テハ第八參照）（尙日本領事館承認ノ件ハ別約ヲ以テ其趣意ヲ明ニスルコトトシ條約中ヨリ之ヲ削除スルコトノ案ニヨレリ）
第四、支那政府ハ南滿洲及東部內蒙古ニ於テ特ニ指定セル鑛山採掘權ヲ日本人ニ許與スルコト	第四、（公文交換）支那政府ハ日本臣民カ南滿洲ニ於テ別ニ指定セラレタル鑛山ヲ（已ニ採掘又ハ試掘セラレタルモノヲ除ク）速ニ調査選定シタルトキハ其採掘試掘ヲ許可スルコト但シ鑛業條例確定ニ至ル迄ハ現行辦法ニヨルコト	第四、（大體四月二十六日ノ修正案ニ同シ）
第五、支那政府ハ南滿洲及東部內蒙古ニ於テ他國人ニ鐵道敷設權ヲ與ヘ又ハ鐵道敷設ノ爲他國ヨリ資金ノ供給ヲ仰クトキ竝ニ諸稅ヲ擔保トシテ借款ヲ起ストキハ豫メ帝國政府ノ同意ヲ經ヘキコトヲ約スルコト	第五、（多少ノ修正ヲ加ヘ原案通リ但公文交換ノ形式トスルコト）	第五、（大體四月二十六日ノ修正案ニ同シ）
第六、支那政府ノ南滿洲及東部內蒙古ニ於テ政治財政軍事ニ關スル顧問ヲ要スル場合ニハ帝國政府ニ協議スル旨ヲ約スルコト	第六、（公文交換）支那政府ハ南滿洲ニ於テ政治財政軍事警察等ノ外國顧問敎官ヲ傭聘セムトスルトキハ最先ニ日本人ヲ傭聘スヘキコト	第六、（大體ニ於テ四月二十六日ノ修正案ニ同シ）
第七、吉長鐵道ノ管理經營ヲ九十九箇年日本國ニ委任スルコト	第七、吉長鐵道ニ關スル協約竝ニ契約ヲ我方ニトリ最有利ナラシムル樣根本的改訂ヲ加フルコト尙將來支那政府ガ外國資本家ニ對シ現在ノ鐵道借款契約ニ比シ更ニ有利ナル	第七、（大體ニ於テ四月二十六日ノ修正案ニ同シ）

漢冶萍公司ニ關スル件

日本國資本家ト漢冶萍公司トノ密接ナル關係ニ顧ミ本公司ヲ適當ノ機會ニ日支合辨ト爲スコト並ニ支那政府ハ日本國ノ同意ヲ經スシテ公司ニ屬スル一切ノ權利財產ヲ處分シ又ハ公司ヲシテ處分セシメサルヘキ旨ヲ約スルコト

日本資本家側債權保護ノ必要上支那政府ハ本公司ニ屬スル諸鑛山附近ノ鑛山ニ付公司ノ承諾ヲ經スシテ之カ採掘ヲ公司以外ノモノニ許可セサルヘキ旨並ニ其他直接間接公司ニ影響ヲ及ホス處アル處置ヲ執ラムトスル場合ニハ先ツ公司ノ同意ヲ經ヘキ旨ヲ約スルコト

一般沿岸島嶼不割讓ニ關スル件

支那政府ハ沿岸ノ港灣及島嶼ヲ他國ニ讓與又ハ貸與セサルヘキ旨ヲ約スルコト

懸案其他解決ニ關スル件（所謂第五項）

一、中央政府ニ政治財政及軍事顧問トシテ有力ナル日本人ヲ傭聘スルコト

二、支那內地ニ於ケル日本ノ病院寺院及學校ニ對シ土地所有權ヲ認ムルコト

三、必要ノ地方ニ於ケル警察ヲ日支合同トスルカ又ハ是等ノ地方ニ於テハ警察官廳ニ日本人ヲ傭聘スルコト

四、日本ヨリ一定數量ノ兵器ノ供給ヲ仰クカ又ハ支那ニ日支合辨ノ兵器廠ヲ設立シ日本ヨリ技師及材料ノ保給ヲ仰クコト

條件ヲ與ヘタルトキハ右吉長鐵道ニ關スル契約ヲ更ニ改訂スルコトヲ得ルコト

第八、支那政府ハ東部內蒙古ニ於テ日支兩國臣民合辨ニ依リ農業及附隨工業ノ經營ヲ爲スヲ允許スルコト

第九、支那政府ハ外國人ノ居住貿易ノ爲東部內蒙古ニ於ケル適當ナル諸都市ヲ開クコトヲ約スルコト

開放スヘキ諸都市等ハ支那側ヨリ我方ニ協議ノ上決定スヘキ旨公文ニテ約束スルコト

同　件

支那政府ハ他日同公司ト日本資本家トノ間ニ合辨ノ議成リタル時ハ之ヲ承認スヘク同公司ヲ汲收セサルヘク關係日本資本家ノ同意ナクシテ同公司ヲ國有ト爲スコトナカルヘク日本國以外ヨリ外資ヲ公司ニ入レシムルコトナカルヘキコトヲ何等カノ形式ニヨリ約束スルコト

同　件

（原案ノ趣旨ヲ支那國政府自ラ宣言スルコト）

同　件

以下ノ事項ヲ記錄ニ留メ置クコト

一、支那政府ハ將來必要ノ場合ニ日本人ヲ顧問ニ傭聘スヘキコト

二、日本人支那內地ニ於テ學校病院ヲ建設スル爲土地ヲ租借又ハ購買セムト欲スルトキハ中央政府之ヲ允許スヘキコト

三、（本項ハ之ヲ撤回ス）

四、支那政府ハ他日其陸軍武官ヲ日本ニ派シ日本軍事當局者ト直接兵器購入又ハ支那ニ於テハ日支合辨兵器廠設立ノコトヲ協議セシムヘキコト

第八、（大體ニ於テ四月二十六日ノ修正案ニ同シ但シ本條ノ日本人ニハ四月二十六日修正案第二ノ二ノ裁判警察（課稅等ニ關スル規定ヲ適用スルコト

第九、（大體ニ於テ四月二十六日ノ修正案ニ同シ）

同　件

（大體ニ於テ四月二十六日ノ修正案ニ同シ但シ公文交換ノ形式ニヨル）

同　件

（四月二十六日ノ修正案ニ同ジ）

同　件

一、（本件ハ他日更メテ商議スルコト）

二、（本件ハ他日更メテ商議スルコト）

三、（本項ハ他日更メテ商議スルコト）

五、武昌ト九江南昌線トヲ聯絡スル鐵道及南昌杭州間南昌潮州間鐵道敷設權ヲ帝國ニ許與スルコト

六、支那ニ於ケル日本人ノ布教權ヲ認ムルコト

七、臺灣ト福建不割讓約定ノ關係ニ顧ミ福建省ニ於ケル鐵道、鑛山、港灣ノ設備（造船所ヲ含ム）ニ關シ外資ヲ要スル場合ニハ先ツ日本國ニ協議スヘキコト

五、本鐵道借款權ハ他國ニ於テ故障ナキコト明ナルニ至リタル場合ニハ必ズ之ヲ日本國ニ許與スヘク又ハ別ニ日本國政府ヨリ支那政府ニ於テ本件ニ關係アリト認ムル他國トノ間ニ直接協議スヘキニ付其間本鐵道ハ何レノ國ヘモ許與セザルヘキコト

六、支那ニ於ケル日本人ノ布教權ノコトハ追テ更メテ我方ヨリ交涉ヲ開始スヘキコト

七、何等カノ形式ニ於テ左ノ趣旨ヲ約スルコト

支那政府ハ福建省ノ沿岸ニ於テ造船所軍用貯炭所若ハ海軍根據地ヲ設ケ又ハ其他ノ軍事上ノ施設ヲ爲スコトヲ何レノ國ニモ許サザルコトヲ及外國ノ資金ニ依リ該省沿岸ニ同樣ノ施設ヲ爲サヽルコト

膠州灣ノ還付ニ關スル件

支那政府ニ於テ帝國政府ノ要求ヲ容ルヽニ於テハ日本國政府ハ現下ノ戰役終結後膠州灣租借地ニシテ全然日本國ノ自由處分ニ委セラルル場合ニ於テハ(1)全部商港トシテ開放スルコト(2)日本國カ指定スル地區ニ日本專管居留地ヲ設置スルコト(3)列國ニシテ希望スルニ於テハ共同居留地ヲモ設置スルコト(4)獨逸施設物ノ處分其他ノ條件手續等ニ付テハ還付實行ニ先チ日支兩國間ニ協定ヲ遂クヘキコトノ條件ノ下ニ同地ヲ支那ニ還付スヘキ旨ヲ支那政府ニ對シ約束スルコト

六、（本件ハ更メテ他日商議スルコト）

七、（大體ニ於テ四月二十六日ノ修正案ニ同ジ）

同　件

（大體ニ於テ四月二十六日ノ修正案ニ同ジ）

○議長（島田三郎君）　犬養毅君

（犬養毅君登壇）

（拍手起ル）

○犬養毅君　諸君、私ハ決議案ノ提出者ノ一人トシテ卑見ヲ述ベマス（「脫線スルナ」「今日ハ名論ダヨ」ト呼フ者アリ）此決議案ノ趣意ヲ述ベマスガ極ク簡單ニ述ベマス、此度ノ對支外交ノ結果ハ一言ニシテ之ヲ言ヘバ甚ダ遺憾デアリマス、此問題ヲ提起セラレテ以來約百日、種々ナ苦心努力ヲ經ラレタト云フコトニ對シテハ、內閣ニ謝意ヲ表スルノデアリマス（「聞エマセヌ」ト呼フ者アリ）併ナガラ內閣諸公ガ非常ナ御盡力ニナッタニモ拘ラズ、其結果ニ付テハ甚ダ不滿足デアル（「ノウ〳〵」ト呼フ者アリ）御聽キナサイ、不滿足ナ理由ヲ私ガ述ベルノデアル、其交涉ガ無論困難ナモノハ含レテ居ルノデアリマス、併ナガラ大困難ニ之ヲ段々導キ込ンデ行ッタ、此大困難ノ一番原因ニナッタモノハ何ガ一番原因ニナッタカト云フト、第五項デアリマス、卽チ最後ニ撤回致サレタル所ノ第五項ガ一番困難ノ原因ヲ成シタノデアリマス（拍手起ル）ソレカラ支那官民——國民全體ノ反抗反感ヲ喚起シタト云フモ第五項ガ一番力ガアルノデアリマス（拍手起ル）原君ノ申サレル列國ガ疑惑ヲ懷イテ猜疑ノ心ヲ生ゼシメタト云フモ第五項デアリマス、此五項ハ斯ウマデ困難ナ問題デアルガ、又ナカ〳〵有力ナ問題デアル、五項ニハ如何ナルコトガアッタカ、種々ナ問題ハ揭ゲラレテアリマスガ、第一ニ警察ノ合同、簡單ニ申セバ警察權ヲ

渡セ、武器ノ同盟――一切我帝國ノ武器ヲ用ユルカ、否ラザレバ合同ノ武器製造所ヲ起セ、政治財政軍事ノ有力ナル顧問ヲ日本カラ雇ヘ、是デアリマス、ソレデ勿論重大ナル問題ハ此五項ニ含マレテ居ル、從ッテ此五項ハ最モ彼ノ反抗ヲ生ジ、列國ガ猜疑心ヲ生ズル一番ノ本ニナッタノデアリマス、而シテ此最モ反感ヲ起シマシタ最モムヅカシイ問題ニナッタト云フモノガ、最後通牒ニハ全ク撤回致サレタノデアリマス(拍手起ル)斯ウ云フ結果ニナッタ、此困難ガ談判中ニ段々續イテ參ル間ニ、其行動ガ列國竝ニ支那國民ノ間ニ最モ憎惡ノ念慮ヲ起サシタト云フノハ何デアルカト云フト、軍隊ノ派出デアリマス、所謂交代デアリマス、是ガ起シタノデアリマス、此位面倒ニナッタ問題ヲシマセマデ貫通サレタト云フナラバ理由ガアリマス、シマセニ撤回致サレント云フナラバ或時機デ徹回ノ時機ハ澤山アッタノデアリマス、結果ヲ一言ニシテ言ヘバ最後ニ撤回シタ所ノ――棄テタ所ノ問題ノタメニ種々ナ反感、種々ナ猜疑心、種々ナ惡キ結果ヲ遺シタト云フコトニナッタノデアリマス(拍手起ル)ソレヲ此處デ多少事柄ヲ述ベナケレバナラヌ、丁度此最後通牒ヲ發シナケレバナラヌト云フ、即チ二十六日案ノ愈々行ハレヌト極マリマシタ以來、私共ノ信ズベキ報道竝ニ新聞ニ出テ、其中信ズベキト認メルモノ、總テヲ綜合致シマスト五月二日以來我帝國ノ執ラレタ態度ハドウナッテ居ルカト云フト、餘程此支那ニハ種々ナ點カラ恐怖心ヲ生ジテ、如何ニモシテ讓歩スルト云フ意志ハ餘程生ジカ、ッタノデアリマス、所ガ此五月二日以來ハ如何ナル態度ヲ執ラレタト云ヘバ、何ヲ持ッテ來テモ全部承認スベシ、少シモ此間ニハ變更ヲ許サズ、全部ヲ承認シテ、談判ハ命令ニ非ラズト云フ賢明ナル加藤外相ノ主義ハ、此時ニハ餘リ行ハレテ居ナイ、(「ヒヤ〳〵」ト呼フ者アリ)全部ヲ承認シロ、此全部ヲ承認シロト云フ是ガ談判ノ有樣デアリマス、最後ノ通牒前デアリマスヨ、左樣ニシテ殆ド取付ク島ハナカッタノデアリマス、是ガ五月二日以來最後通牒ヲ出サレル間ノ有樣デアリマス、ソコデ外務次長曹汝霖是カラ會見ヲ申込ンデ參ッタノデアリマス、第一ニ會見ヲ申込ンデ來タノハ私人一個人デアル、一個トシテハ無論コンナ大切ナ問題ノ時ハ受付ケラレヌノハ尤モデアル、第二ニ申込ンデ來タ時ニハ、外務次長トシテノ資格ヲ以テ申込ンデ來タノデアリマス、是モ拒絶シタノデアリマス、如何ナル理由デ拒絶サレタカト云フノデ峻拒セラレタノデアリマス、最後ニ彼ガ讓ッテ來タノハ如何ナルモノヲ讓ッテ來タカト云フト、最後通牒ヲ發セラレタモノヨリハ餘程有利ナモノヲ讓ッテ來タノデアリマス、其箇條ヲ讀ミマセウ(「強ユベカラズ」ト呼フ者アリ)其箇條ヲ讀マウ最後ニ彼ガ申込ンデ來タノヲ(發言スル者多シ)マア御聽キナサイ、間違ガアレバ攻擊セラレルガ宜シイ、最後ニ申込ンデ來タノハ、第五項ノ軍器及顧問ト云フ此二箇條ヲ別ニシテ、即チ第五項ノ「イ」ト印ノアルノト「ハ」ト印ノアル此二箇條、之ヲ別ニシテ其他ノ鐵道問題ヲ承認スル即チ「ニ」ノ印ノアル鐵道問題ヲ承認スル、南昌ヲ中心トシタ即チ南部支那ノ鐵道デアリマス、之ヲ承諾スル、大切ナ問題ヲ承諾スル、ソレカラ二十六日案ニ掲ゲラレタル布教ノ權ヲ承認スル、是ハ「ホ」デアリマス、ソレカラ二十六日案ニ掲ゲラレタル病院、學校ノ箇條ヲ承認スル(「是ガヘデアル」ト呼フ者アリ)斯ウ云フコトヲ申込ンデ來タ、是ガ「ロ」デアリマス、ソレカラ軍器顧問、軍器ノ問題、顧問ノ問題ニ於テハ追テ協議スルト云フコトヲ聲明スル、ソレカラ第七項後ニ掲ゲラレタ福建問題ハ承諾スルノデアリマス、斯ク承諾シ來ッタナラバ、最後通牒ヲ發スル必要ナキノミナラズ、最後通牒ヨリカ有利ニ有益ナ問題承諾シテ來タノデアリマス(拍手起ル)「顏色アルカ」「顏色ナイ」「強ユベカラズ」ト呼フ者出テ來ルデアラウ、然ラバ支那獨力デヲヲ防ガナイデモ、列強ニ依賴スレバドウカナルト云フ感覺ヲ持タセタノデアリマス、是ハ感覺デアリマス、是ハ所謂第二國ト賢明ナル外務大臣ノ言ハル、意思ノ交換ト云フモノガ、ドウカナリハシナイカト云フ依賴心ハ確カニ此二十一箇條ニ亙ッテ居カラ、多少ノ面倒ハ無論アルノデアリマス、併ナガラ彼ノ四十年來ノ歷史ニ於テ、諸君ノ御承知ノ通リ、最モ名望ヲ重ンズル國ニ於テ、最後通牒ノ形ヲ以テ高壓手段ヲ加ヘラレタト云フコトハ、一番ノ反感ヲ招キ日貨排斥等種々ノ運動ノ原因トナッテ居ル(拍手起ル)ソコデ五月二日以來ノ有樣ハ吾ミノ得タル所ノ情報、報告、總テノモノヲ綜合致シマスレバ、最後通牒ヲ發シタクモソレ以上ノモノハ確カニ得ラレタノデアルガ、何故斯樣ナ迂遠ナコトヲ致サレタカ、此迂遠ナコトヲ致サレテ得ベキモノヲ失ッタト云フコトハ、確カニ當局者ノ責任デアリマス(拍手起リ「ノウ〳〵」「默レ」「靜肅ニ」其他發言者多シ)ソレカラモウ一ツ、一番惡感ヲ買ッタト云フコトハ威壓洞喝デアリマス、即チ出兵デアリマス(「ノウ〳〵」)陸軍大臣ハ之ニ對シテ何ト辯解致サレルカト云ヘバ、無論交代――交代ノ名義デ初メカラ出スコトニナッテ居ッタノダカラ無論交代ト言ヘル、又今日ニナッテ國際關係カラシテ軍隊ヲ出動セシメタト云フヨリモ、交代ト申サレル方ガ宜イ、吾ミモ交代ト認メタイノデアリマス、併ナガラ如何セン、此軍隊ノ出動ト云フコトガ彼ニ向ッテハ最モ惡シキ感情ヲ持タシ、反抗ハ是カラ起ッタノデアリマス(拍手起ル)所デ當軍隊ヲ出動セシメタルノミナラズ、彼ノ外務省ノ報告即チ外務部ガ中日交涉始末情節、即チ日支談判ノ始末書ヲ官文書デ公ニ致シタモノ、中ニハ、斯ウ云フコトガアル、是ハ三月二十二日ノ會議ニ先方ヨリ質問ガ出タノデアリマス、唯今日本ハ山東竝ニ南滿洲ニ以テ行ッテ多クノ軍隊ヲ出サレルガ、如何ナル理由デアルカト問フタ時ニ、交代デアル、交代ト云フナラバ前々駐屯致シテ居ッタトコロノ軍隊ハ何時引カレルノデアルカ、斯フ尋ネタ、之ニ對シタ日本公使ノ答ガ餘程此陸軍大臣ノ答ヲ說明シテ餘リアル立派ナ答デアル、何ト答ヘタ、日使曰ク――向フノ文章デ讀ミマス、日使曰ク、必ズ交涉圓滿解決アルヲ待ッテ、方ニ能ク撤退セン、ソコデ何時交代兵ハ歸ルノデアルカト問フタラバ、日本公使之ニ答ヘテ曰ク、此處ニ持チ出シテアル要求シテ居ル此問題ヲ總テオ前ノ方デ承諾ヲシタナラバ、其日ヲ以テ撤退スルノデアル、ソレマデ歸サヌノデアル(拍手起ル)交代兵ノ――所謂交代兵ノ働キハ斯樣ナモノデアル(「支那ヲ辯護スベカラズ」其他發言者多シ)辯護デハアリマセヌ、兩國ノ關係ニ於テ如何ナル惡感ヲ與ヘタカト云フコトヲ說明スル必要ガアル(「支那通ダヨ」「支那辯ダヨ」ト呼フ者アリ)斯カルモノヲ以テ臨ンダガ、是ガ洞喝デナイ、威壓デナイト云フコトガ言ヘルカ、併ナガラ外務大臣ハ斯樣ニ言ハレルデアラウ、是ハ支那政府ノ發表シタモノデアルカラ知ラヌ、又多少兩國衝突ノ間ニハ雙方トモ多少ノ戀値ハアル、何時モアル、雙方兩國トモ斯樣ナ時ニハ自分ノ都合ノ好イヤウ書クト云フ傾ハアルノデアリマスルカラ、私ト雖モ全部悉ク之ヲ承認ハ致サヌ、併ナガラ出兵ト云フコトハタヾノ交代デアルト云フコトハ言語ノ上ダケデハ答辯ハ出來ルカ知ラヌガ、事實ノ上デ諸君、吾ミガ立派ニ言ヒ開クコトハ出來ナイノデアリマス(「袁世凱ノ代理ダ」「支那ノタメノ不信任ダ」「支那新聞ヲ信ズルカ」其他發言者多シ)是ハ支那新聞デハナイノデアリマス、支那外務省ノ報告デアルノデアリマス、即チ日本ノ報ニ掲ゲラレタト同ジモノデアリマス、通常ノ新聞デハアリマセヌ、ソコデ斯樣ナ威壓手段、洞喝手段ヲ用ヰテ之ヲ以テ彼ノ四億ノ人衆ガ恐怖ヲ致シ、恐レテ居ッタカト云ヘバマダ幾ラカノ效果ガアル、確カニ恐レテハ居ナイノデアル、惡感ヲ確カニ生ジタ、即チ惡感ト同時ニ侮蔑ノ念慮ヲ生ゼシメタ(拍手起ル)侮蔑ノミデハナイ事大思想、即チ列強ニ向ッテ恐ル、考ヲ持チ、日本ニ向ッテ侮蔑ノ念慮ヲ生ジタノデアル(「事大思想ハ昔カラダ」ト呼フ者アリ)何故事大思想ヲ生ゼシメタカト言ヘバ、列強ヨリ第五項ニ付テハ必ズ是ハ何カ申出テ來ルデアラウ、然ラバ支那獨力デヲヲ防ガナイデモ、列強ニ依賴スレバドウカナルト云フ感覺ヲ持タセタノデアリマス、是ハ感覺デアリマス、是ハ所謂第二國ト賢明ナル外務大臣ノ言ハル、意思ノ交換ト云フモノガ、ドウカナリハシナイカト云フ依賴心ハ確カニ此

間ニ生ジテ居ルノデアリマス、ソレハ日本ノ新聞ヲ合ハセテモ彼ガ左樣ニ考ヘハセヌカト思フ、出兵ハ愈カ三月十日ノヤウニ新聞デハ見マシタ所ガ、三月十二日ノ新聞ニ、某々三箇國ノ大使ガ外務省ニ參ラレタト云フ新聞ガ出テ居ル、サウスルト又其後ノ新聞ニ岡山師團ハ出兵シタガ、廣島師團ハ豫定ノ如ク出兵セズシテ中止シタト、斯ウ云フ事ガ出テ居ッタ無論是ハ事實デハアリマスマイガ、新聞ニ書ク所ハ然リ、中外共ニ新聞ニ書ク所ハ斯ノ如ク書イテアル、ソコデ唯新聞ダケナラバ斯クハ信ジナイガ、高壓手段ヲ以テ臨ンデ全部承諾スルヤ否ヤ、全部承諾シナケレバ直チニ武力ニ訴ヘルト恫喝手段ニ出ラレタモノガ、龍頭蛇尾、到頭撤回スルマデニ至ッタト云フコトヲ繋キ合スト、確ニ彼ハ日本ヲ恐レズ、侮蔑視スルト云フ考ヘヲ生ズルノガ當リ前ダ（拍手起ル）ソレデ其他ニ多少參考ニナル事ヲ玆ニ述ベマス、六月十一日東京朝日ニ某元老ノ談話ト云フモノガ出テ居ル、是ハ當時ノ狀況ヲ玆ニ述ベルト尙明瞭ニナリマスルガ、當時如何ナル——六月デハアリマセヌ（「元老ヨリアナタノ方ガ能ク分ッテ居ル」ト呼フ者アリ）五月十一日ノ新聞デアル、ソレハ當時ノ狀況ヲ申スト、此最後通牒發スル前後ニ處々ニ演說會ナルモノガ起ラレテ、政府ノ側ニ立タレルトコロノ各團體ノ諸君ニアッテハ、其論鋒ハ元老ガ政府ヲ軟化サセル、ソコデ政府ヲ鞭韃シ竝ニ元老ノ干涉ヲ防禦スルト云フ議論ガ頻ニ行ハレタ、之ニ付テノ辯解ノヤウナモノガ出タノガ某元老ノ談、其某元老ノ談ハ如何ナル事ガ書イテアルカト云フト、前ハ長イカラ略シマス、ソレハ四日ノ首相官邸ニ寄ラレタ時ノ某元老ノ述ベラレタ言葉ニ斯ウアル「首相官邸ヲ出去リタリ是ト同時ニ重大事件ノ起ルアリ——重大事件ノ起ルアリ翌五日早朝大浦內相來ッテ余ヲ訪ヒ大ニ憂色アリ吾ニ告ゲテ曰ク第五項ノミニ關シテ戰端ヲ開クハ如何ニヤト思ハル殊ニ列强ノ疑惑——殊ニ列强ノ疑惑ヲ招クハ第五項ニアレバ福建問題ハ別トシテ第五項ノ問題ノミヲ他日ニ讓ルコトニ決セリ」ト斯ウ書イテアル、サウ言ッテ來タカラソレヲ聞イタダケデアルト云フ元老ノ辯解ガ新聞ニハ出テ居ルノデアル、ソレヲ此新聞ヲ以テ直チニ……（「新聞ガ信ジラレルカ」ト呼フ者アリ）宜シイ、先キヲ御聽キナサイ、此新聞ニ出タモノヲ以テ直チニ內閣ノ中ニ行ハレタ議論ト私ハ認メヌノデアル、併ナガラ斯樣ナ新聞ガ出テ居ルノミナラズ、斯樣ナ新聞ガ出テ居ッテ是ト此度ノ龍頭蛇尾カラ來タトコロノ日本ノ行動ニ付テ、卽チ前後ヲ對照致シタナラバ、必ズ外務ノ所謂意見交換、第二國意見ノ交換ノ結果デハナイカト思フ感ジヲ起スノハ當前デアル、斯樣ナ顚末ニナッテ居ル、斯ウ云フ有樣デ事實ノ有無ハ姑ク論ゼヌ（「事實ヲ想像シタニ過ギヌ」ト呼フ者アリ）宜シイ、事實ノ有無ハ論ジナイト云フノハ事實有リトスレバ、日本ガ侮辱サレタ、日本ノ國辱デアル、ソレ故ニ斯樣ナモノガ生ジテ居ルノ、ソコデ第二國ト意見ノ交換ノ上ニハ或働キ、或動作ハ必ズ生ジテ來テ居ルト云フコトハ認メナケレバナラヌ、是ハ私ハ各項ニ付テ御話ヲ致ス（「謹聽々々」ト呼ビ拍手スル者アリ）斯ウ云フ結果ニナッテ居ルノデアル、ソコデ是カラ各項ニ付テ私ガ愚見ヲ述ベマス（「謹聽々々」）同志會諸君ハ滿足致サレルト云フノハ御尤デアル、片岡君ノ演說ヲ承リマシテ、サウ解釋サレバ餘程御滿足デアラウト考ヘル、夫故ニモウ少シ事實ヲ述ベタナラバ御滿足ガ變ッテ不滿足ニナラレルデアラウト考ヘル（拍手スル者アリ）順ヲ追ッテ山東ノ問題カラ順々ニ參リマスガ、山東ノ問題ニ關シテハ少シ遡ッテ申セバ、第一對獨交涉、卽チ獨逸ニ對シテ最後通牒ヲ送ッタ時、既ニ此失敗ヲヤッテ居ルノデアル、此失敗ヲシテ居ルト云フノハ此際ニ還附ノ問題、ソレハ何デアル——還附ノ問題、ソレハ何デアル（「領土保全」ト呼フ者アリ）吾ニハ領土保全ノ爲メ山東ノ一角ヲ獨逸カラ讓受ケテ押ヘテ居ルガ、保全ニナルカ、捨ルガ保全ニナルカト言ヘバ、我レ自ラノヲ擇ブノデアル、初メヨリ第三國ニ向ッテ（「支那横領論」）「默ッテ聽ケ」ト呼フ者アリ）總テ山東ハ還附スル——還附ト云フコトノ聲明ヲスル必要ハナイ、此聲明ヲシタノニ付テハ恩惠ハ誰ガ賣ッテ居ル、誰ニ向ッテ恩ヲ感ジテ居ルカ、現在ノ狀況カラ見テレルナラバ、確ニ斯ウ云フコトヲシテ居ル、支那ノ一體ノ國民ノ感ジト云フモノニ現レル所ハ、此處デ山東ヲ日本ガ還スト云フガ、日本ガ還シテ呉レル、日本ノ御蔭デハナイ、或國ガ好意ヲ以テ働イテ是ノ爲ニ還サレタト（「强辯々々」ト呼フ者アリ）强辯デハナイ、私ガ辯ズルノデハアリマセヌ、宜イカ——私ガ辯ズルノデハナイ、支那國民ガ左樣ナ感情ヲ現ハシテ居ル、實際ノ上ニ感情ガ現レテ居ルト云フ事實ヲ述ベル、其事實ヲ述ベル、事實ト議論ハ違フ、斯ウ云フモノガ現レテソコデ支那人ハ日本ニ向テ恩惠ヲ感ズルカ、或有力ナル國ニ向ッテ恩惠ヲ感ズルカト言ヘバ、却テ日本ニハ餘リ恩惠ヲ感ジナイ、何カ斯樣ナコトニ至ッタカト言ヘバ、初メカラ還附々々ト云フコトヲ聲明スル必要ノナイ時機ニ於テ、聲明シタト云フコトノ大失策カラ是ハ生ジタノデアル（拍手起ル）ソコデ今日ト雖モ兩國ノ親善ナル關係ヲ增進シ、而シテ領土保全ノ實ヲ盡サウト云フガタメニ、或地點ヲ日本ガ有ッテ居ルト云フコトガ必要ナラバ、ソレモ宜シイ、又還ス方ガ兩國親善ノ關係ヲ更ニ改善スルナラバ、還スノモ宜シイ（「ソレダカラ還ス」ト呼フ者アリ）要スルニ之ヲ還スト云フナラバ其還シタト云フ事柄ガ兩國親善關係ニ於テ一段ノ增進ヲ見ルト云フコトデケレバナラヌノデアル、ソレガナイカラ遺憾デアルト云フノデアル（「アルモノカ嘘ヲ吐ケ」「矛盾ナリ」ト呼フ者アリ）何モ此度ニカ返サナクテモ列國ノ——歐羅巴大戰ノ終局後ニ列國會議ノ際ニ返サヌ、返ス、聲明ヲ先キニヤル必要ハナイノデアル（「同ジコトデハナイカ」ト呼フ者アリ）何モ今日急ニ返ス必要ハナイノデアル、ソレカラ第二ノ南滿竝ニ蒙古ノ關係ノ問題デアリマス、片岡君ハ餘程簡單ニ解セラレテ問題ヲ、一ツノモノデアッタ——團子ニシタモノヲ二ツニ分ケタカラ何デモナイソレナラバ宜イ、同ジ權利デ同ジ利益デ二樣ニ、曾ニ滿洲ト蒙古ガ分タレタナラバソレデ宜イガ、違フノデアリマス、違フカラコソ分レタノデアリマス、是ハ御承知アリタイト願フノデアリマス、南滿ニ就テノヲ得タト云フ御功名ノ御說明ガアリマシタガ、南滿洲ハ日本ガ多大ノ犧牲ヲ拂ッテ得タ場所デアリマス、是ハ既得ノ問題ト云ッテ宜イノデアル、恐ラクハ賢明ナル加藤男爵ノ熟練ノ手腕ヲ俟タズシテ、何時デモ解釋ガ出來得ラル、モノデアリマス、蒙古ノ問題デアル、蒙古ノ問題デアリマスガ、是ハ豫算委員會其他ノ質問ニ對シテ、外務大臣ハ其範圍ヲ御答ガナカッタ、內蒙古東部ノ範圍、ソマリ此範圍ト云フコトハ餘程重大ナル問題デアリマス、範圍ガ廣イカ狹イカト云フコトハ非常ニ重大ナル問題デアル、我カ帝國ハ南滿竝ニ蒙古ニ於ケル立脚點ヨリシテ萬一事ガアッタ秋ニ、支那ノ領土ヲ保全ナシ得ルト云フ力ハ此地域ノ廣狹如何ト云フコトニ餘程ノ關係ヲ持ツノデアリマス、所ガ是ハ外務大臣餘程ノ御苦心デアラウト考ヘマスノハ、內蒙古外蒙古ト云フ區別ハ、支那ノ歷史竝ニ地理ノ上ニ分レテ、チヤント分明ナル界線ガアルノデアリマス、併ナガラ內蒙古ノ中ニ於テ東部ト云フ二字ハ、外務大臣賢明ナル加藤男爵ノ新發明ニ係ル一體名稱デアリマス、ソレ故ニ新發明ヲ外務ノ一室ニナサレタ以上ハ、之ニ副フ所ノ地域實物ヲ御添ヘナサルト云フ御苦心ニ對シテハ、御同情ニ堪ヘナイノデアリマス、ソコデ此地域ニ就テハ愚見モアリマス又疑問モ持ッテ居リマス（「言ヒ給ヘ」ト呼フ者アリ）支那ノ外務部ノ報告ニ依ルト斯ウ云フ事デアル、東部內蒙古ト云フコトニ付テ日本使臣ニ向ッテ質問ヲ發シタ所ガ、是ハドコカラドコマデト云フコトハ言ハナイ、言フコトヲ避ケテ居ッテ、併ナガラ日本公使ヨリ求メテ何レノ所ヲ開放スル、卽チ商埠ヲ開クベシト求メタ箇所々々ヲ聯子テ行クト僅カナモノデアル、其僅カナモノト云フノハ南滿洲ノ內ノ一部、夫カラ內蒙古ノ熱河道附近ノ僅カノ所デアッタ、謂ハバ內蒙古中ノ一小部分ダケヲ要求シテ來テ居ルヤウニ思ハレル、併ナガラマダ其地域ト云フ事ハ談判ニ上ラヌノデアルガ、サウ云フ事ニナッテ居ル、斯ウ云フコトヲ報告致シテ居リマス、是モ支那ノ外務省ノ報告

デアルカラ日本外務省ハ眞赤ナ嘘ダト言ハレバソレ迄デアルガ、兎ニ角支那ノ報告ハ左樣ナモノデアル、ソコデ發明家ノ加藤男爵ハ少々御困リニナラウト思フノハ、地理的ノ名稱デ、蒙古ト申ス方ニ行キマスト雖南モ昌圖モ遼源州モ長春モ農安モ蒙古デアリマス、卽チ行政區畫カラ云フト吉林盛京ノ二省ニ屬シテ居ル、而シテ日本ノ南滿ニ於テ既ニ得タル權利、此度ノ蒙古ニ比ブレバ重大ナル權利ヲ占メタ所ノ滿洲ノ範圍ニ行政區畫デハナイノデアリマス、ソコデ總テ一列ニ行政區畫デスレバ大變都合ガ好イ、茲ニ又困ル問題ガ出テ來タ、熱何附近デアリマス、熱河附近ハ御承知ノ通リ直隸蒙古ト稱スルモノデアル、地ハ蒙古デアル地理的カラ言ヘバ內蒙古デアルガ、行政區畫カラ言ヘバ直隸ノ管轄ニナッテ居ルノデアリマス、其故ニ此度新發明ノ名稱ヲ行政區畫デ定メントスルト、直隸蒙古ニ對シテ日本或ハ不利ノ地位ニ陷リハセヌカ、夫カラ名稱卽チ地理的關係地理的名稱ニ從ッテ內蒙古ト云フモノヲ定メマスト、折角南滿洲デ得タル優越ノ權利アルニモ拘ハラズ、蒙古部類——片岡君ハ同樣ト言ハレマスガ第二ノ權利ホカ書イテ居ラヌ、此權力ノ薄イ所ノ蒙古ニ追遣ッテシマウト云フ困難ガ生ジテ來ル（「ソンナ事ハナイ」ト呼フ者アリ）無イデハアリマセヌ、是ハ確カニアル、是ハ反對ナサルノモ宜シウゴザイマスガ、事實ダケハ御否定ニナラヌヤウニ、是ハ明ラカナ事實デアル、議論ノ場合ハ謹デ承リマス事實ノ抹殺ハ出來マセヌ（「新聞ノ記事ヲ擧ゲテ事實ナリトスルカ」ト呼フ者アリ）新聞デハアリマセヌ、是ハ支那ノ地圖歷史其他ヲ御覽ナサレバ直グ分リマス（「サッキ新聞ヲ讀ダデヤナイカ」ト呼フ者アリ）ソコデサウ云フモノデアル、是ハ新聞デナイ、アナタ方ハ書類ヲ御調ベニナルト直グ分ルガ、斯樣ナモノニナッテ居リマス、ソコデ私ハ此御定メニマダナラヌ前ニ、外務ニ向ッテ幸ニ此機會ヲ以テ求メテ置キタイ事ガアル、斯ウ私ハ求メテ置ク、求メルト申スノハ所謂內蒙古ノ內ニ殊ニ內蒙古東部ト新發明ノ名稱ヲ下サレタ以上ハ、此發明者タル外務大臣ハ此區域ヲ斯ク御定メアリタイト云フコトヲ茲ニ述ベタイ、ソレハ何レ蒙古ノ幾盟カヲ東部ト稱サルデアラウガ、盟ハ分割ス可カラズト云フ主義ヲ定メテ貰ヒタイ、盟ハ分割ス可カラズ、ナゼ斯樣ニ申スカト云フト、何レ是ハ日露ノ關係モアラウト御察シ申スノデアリマス、日露ノ關係ト申シマスト長春カラハズット先キ迄マダ參ッテ居ルノデアリマスカラ、盟ハ割カレヌモノデアルカラ、盟ヲ完全ニスルト云フ主義デ、此方面ハ定メテ貰ヒタイ、ソレカラ直隸附近直隸蒙古ニ至リマシテハ、蒙古ノ名稱ニ從ッテ是モ盟ヲ割カズ、其儘蒙古部類ヲ行政區畫デナク御定メヲ願ヒタイト考ヘル、之ヲ私ガ茲ニ述ベルトスルト動モスレバ是迄ハ列強ノ間ニハ讓步スルト云フコトガ餘程外務ノ慣例ニナッテ居リマスカラ、ソコデ割ク可カラズト云フコトハドウ云フコトデアルト云フト、日本ノ郡村ヲ割クヤウナ譯ニハ參ラヌノデアル、ナゼ參ラヌカト云ヘバ長イ歷史ヲ有ッテ、旗カラ部ヲナシ、部カラ盟ヲナシタト云フ、一ノ有機體ヲ成シテ居リマスカラ、或ハ日露ノ關係カラシテ之ハ盟ヲ割クト云フヤウナ失態ノ勿レカシト云フコトヲ今日カラ私ハ望ンデ置クノデアリマス（拍手起ル）之ヲ割カレタナラバ、外務省ノ大失態デアルゾト云フコトヲ述ベルノデアリマス、未ダ御極リニナリマセヌカラ今日ハ失態ト斷定ハ致シマセヌ、失態サレテハラヌゾト云フコトヲ茲ニ述ベルノデアリマス、夫故ニ此機會ヲ以テ殊ニ外務省ニ注意ヲ致シテ置イタ方ガ宜シウゴザイマスカラ、此機會ニ外務省ニ注意シテ置キマス（「ソレデハ不問ニナッタノカ」ト呼フ者アリ）ソレナラ宜シ、私ハ明カニ露骨ニ申シマス、餘リ地理的事情、歷史的事情ヲ知ラヌ政府ニ向ッテ私ハ敎ヘルノデアリマス（拍手起ル）（彈劾案ヲ撤回シタカト呼フ者アリ）ソレカラ漢冶萍ノ問題——此次ニ漢冶萍ノ問題ヲ申シマス、此漢冶萍ノ問題ハ最モ遺憾デアリマス、同志會ノ代表者ハ曰ク、自分ハ經濟關係——兩國ノ關係ハ經濟關係ヲ重ンズルト言ハレタ、其經濟關係ヲ最モ害スルト云フコトガ書イテアル、漢冶萍問題ニ關シテ卽チ前ノ第二項ノ二ニアリマス、二項ノ二ニハ「日本資本家側ノ債權保護必要上支那政府ハ本公司ニ屬スル諸鑛山附近ノ鑛山ニ付キ公司ノ承諾ヲ得シテシカ採掘ヲ公司以外ノモノニ許可セサルヘシ」斯ウ云フコトガアル、是ガ必要ナノデアリマス、御承知ノ通リ冶漢萍ニ向ッテハ、日本ハ二千万圓ト云フ大資本ヲ此貧乏國カラ注ギ込ンテ居ルノデアリマス、殊ニ此鑛山ノ性質トシテ、日本ノ武器ノ製造、武器ノ獨立ト云フコトニ大變關係ヲ有ッテ居ルノデアリマス、斯樣ナコトデアル、所ガ此大冶附近ニハ大冶ト同樣ノ豐富ナル鐵山竝ニ附屬ノ山ガ澤山アルノデアリマス、所ガ諸君ノ御承知ノ通リ大冶ノ鐵山ナルモノハ、無論豐富ナル鐵山ナルニ拘ラズ、歷史ヲ見ルト唐ノ中世以後稼イダノデ、餘程澤山稼イダノデアリマス、未ダ鑛量ハ十分ニアリマスガ、唯此附近ニ橫ッテ居ルトコロノ未採掘ノ鐵山ニ比スレバ少イト言ハナケレバナラヌノデアリマス、夫故ニ永遠ニ漢冶萍公司ノ安全利益ヲ日本ヨリ利權ヲ保護スルト云フガタメニハ、附近ニ在ルトコロノ同樣ナル鑛山ヲ他ニ稼ガセナイ、何レノ國ガ來テモ之ヲ許サヌト云フコトヲ占メルノハ當然デアリマス、其故ニ最初ノ案ニ之ヲ出サレタト云フコトハ、私ハ何處迄モ御同意致ス、然ルニ如何ナル譯デアルカ——如何ナル譯デアルカ、二十六日案ニハ是ハ無イノデアリマス、拔カレテ居ルノデアル、同志會ノ最モ熱心サレル經濟關係ヲ以テ兩國ノ關係ヲ密接ニスルト云フ、卽チ經濟上最モ有力ナル一大要件ダルトコロノ附近ノ鑛山ヲ他國ニ手ヲ著ケサセヌト云フコトハ何故カ、故ナクシテ二十六日案、卽チ第二案ノ中ニモ最後通牒ニモ無論是ハ無イノデアリマス（拍手起ル）斯ウ云フノデ、ソコデ是ト同時ニドウ云フコトガ起ルカト云フト、是モ新聞デアリス、但西洋ノ新聞ハ支那ノ新聞ヨリ少シ御信用ガアルカ知リマセヌ、アレハドウ云フコトデアルカ（「何ンダ今ノハ新聞デナイカ」ト呼フ者アリ）新聞デアリマスガ支那ノ新聞デハアリマセヌ、西洋ノ新聞デアリマスカラ、多少支那ノ新聞ヨリ御信用ガアルカ知ラヌト云フコトヲ御注意申シタノデス、ソコデ英國外務大臣「グレー」氏ガ議院ニ於ケル、此支那ノ鑛山ノコトニ付テ、ドウ云フコトヲ言明シテ居ルカ、中部支那ニ於ケル鑛山採掘權ニ關シテハ、機會均等ノ權利ヲ保留セリト云フコトノ演說ヲシテ居ル、是ハ演說シテ居ルノデアリマスカラ、新聞ニ載ッテモ書物ニ載ッテモ事實ハ事實デアリマス、斯ウ云フコトニナッテ居ルト、英吉利ハ中部支那ニ於テ鑛山採掘ノ權ニ對シテハ、機會均等ノ權利ヲ何處迄モ保留シテ居ルガ、安心シロト云フ演說デアリマス、ソコデ是ト思ヒ合ハスト、我國ニハ最モ有力ニシテ必要ナルトコロノ漢冶萍公司ノ唯一ノ目的タル、附近ノ鑛山ニ著手サレヌト云フノハ、第二案ニハ除カレタ、此除カレタト云フノハ如何ナル理由デアルカ、外務大臣ノ所謂第二國ト意見ノ交換ノ中ニハ是ハ無イノデアルカドウカ（拍手起ル）斯ウ云フノデ、何故ニ之ヲ捨テラレタカ——何故ニ之ヲ捨テラレタカ（「質問デスカ」ト呼フ者アリ）質問デハナイ、斷定シテ居ル、私ハ確カニ事實ヲ認メテ居ル、日本ノ利益ハ是ニ於テ全然無クサレテ居ルノデアルガ、ソレデモ經濟關係ガ保テルカ、斯ウ云フコトデアリマス、ソレカラ獨リ是ノミデハアリマセヌ、南昌ヲ中心スルトコロノ所謂南潯鐵道、南支那鐵道、此鐵道ハ日本ニ於テ最モ大切ナルモノデアリマス、御承知ノ通リ萍鄉、漢陽竝ニ大冶、此三ツヲ連續スルトコロノ萬一事ガアッタ時ニハ此利益ハ日本帝國ガ保護シナケレバナラヌト云フ、重要ナ所ニ敷ク可キ鐵道ハ此度ハ未定デアリマス、極テナイノデアリマス、大冶ノ漢冶萍公司デ何ヲ得テ居ルカ、其處デ得タモノハ是ダケデアリマス、後來漢冶萍公司ニ於テ、株主ガ決議シテ、サウシテ日本ノ資本ト合辨ニヤルト云フコトヲ望ム場合ニハ、支那政府ハ妨害ハシナイ、之ヲ許可スル、斯ウ云フコトデ、所ガ經歷ハドウナッテ居リマスカ、御承知ノ通リ政府ハナカ〳〵民間ノ會社ニ向ッテ有力ナモノデアリマス、前ニ度々起サレタ際モ何ノ妨デ出來ナイカト云ヘバ、官憲ノ尻カラ突ッカレルノデ是ガ起ッテ來タノデ

アリマス、況ヤ此度ノ排日感情――此度ノ排日感情ハ御承知ノ通リ餘程猛烈ナモノデアリマス、此猛烈ナル排日感情ヲ煽リ立ッタ後トデ、漢冶萍公司ノ株主ガ滿足ニ日本ト合辨デヤリマセウト云フコトヲ申出スカ出サヌカト云フコトノ問ニハ、餘程問題ガ起ルノデアリマス（拍手起ル）之ヨリ外得ラレタモノハ無イノデアリマス、其他ハ捨テ、居ル、最モ重大ナルトコロノ附近ノ鐵山ハ特ニ他國ニ奪ハレルコトニナッテ居ルノデアリマス、是ガ漢冶萍問題デアリマス、ソレカラ第五項デアリマス、是カラ第五項ニ付テノ意見ヲ申シマス（「簡單々々」ト呼フ者アリ）簡單ニハ出來マセヌ、簡單ニナス事柄デアリマセヌ（「成ベク長ク」ト呼フ者アリ）第五項ノ最モ列國ヲ驚カシ支那ヲ驚カシタノハ何デアルカト云フト、軍器、同盟、顧問、警察、此三箇條デアリマス、是ニ至ッテハ外務大臣ノ賢明ナルニ不似合ナコトヲ思ヒ立タレタト思ヒマス、第一軍器ノ問題ハ如何ナル歷史ヲ有ッテ居ルカ、諸君御承知ノ通リ、日本ノ武器ガ前ニハ參ッタノデアリマス、中頃マデ參ッタガ、詰リ商買上ノ關係ト武器ノ性質トニ依ッテ、段々驅逐サレルト云フ傾ヲ有ッタカラ、革命時代ニドウナッタカト云フト北軍即チ袁世凱ノ側ニ於キマシテハ、借款ヲスル必要ガ生ジテ來タ、其借款ハ墺獨兩國カラ此借款ガ出來タ、此借款ガ武器ノ形ヲ以テ這入ッテ來タノデアル、詰リ金ヲ出ス、其金デ自分ノ國ノ武器ヲ買ヘト云フ、斯ウ云フコトデ這入ッタノガ、大袈裟ニナッタ歷史デアルノデアリマス、ソコデ此武器同盟――武器同盟ト云ヘバ前途ノ話デアルガ、同樣ノ武器ヲ用井ルト云フコトハ、物サヘ良ケレバ價ガ獨逸ノ價ニ比較シテ高クナケレバ容易ニ是ハ行ケラレル問題デアッテ、イキナリ條約デ頭ヲハルト云フヨリハ、事實ガ成立ッテ、而シテ條約之ニ副フト云フモノデナケレバナラヌノデアル（拍手起ル）熟練ナ經驗ヲ持タレタルトコロノ賢明ナル外務大臣ハドウ考ヘマシタカ、恐ラクハ餘程此事情ヲ見拔イテ居ラレタデアラウト考ヘルノデアル、顧問デモ左樣デアリマス、有力ナル顧問ヲ傭フ、有力モ無力モナイノデアリマス、顧問ハ隨分日本カラ是迄段々教師モ顧問モ傭ハレテ居リマス、外國カラモ傭ハレテ居リマス、而シテ同ジク傭ハレテ居ル間ニ働キノ出來ルト出來ヌト云フコトハ、其人如何ト云フコト、其國ノ信用如何ト云フコトデアリマス、ソレ故ニ如何ナル有力ナ顧問ガ飛出シテ來タトコロガ、本國ノ間ニ於テ此位ナ意志ノ衝突感情ノ衝突ヲ起シテ居ル場合ニハ、ナカ〳〵有力ナ顧問モ働キハ出來ヌノデアル（拍手起ル）人ノ問題デアリマス、是モ事實ハ或時ニハ行ハレ、或時ニハ行ハレナイ、伸縮ハ事實ノ上ニ現レテ居ルノデアリマス、其最モ顧問ノ形勢ノ下火ニナッタ際ニ、意義アル高壓手段ヲ執ッテ、此條約ノ上ニ言ヘト云フコトデ反抗ヲ招イタト云フコトハ、無理ナラヌ話デアルト考ヘルノデアル（拍手起ル）ソコデ此位ナ問題デアルガ、最後通牒ヲ發スル前ニハドウデアルカト云ヘバ、之ニハ同意シテ來テ居ル、此中ノ大體ノ箇條ハ同意シテ來テ居ル、學校、病院、敷地ノ問題、此中ニ書イテアルカラ御引合ニナレバ分リマス、學校、病院ノ問題、南支鐵道ノ問題、福建ノ問題、是ハ同意スルト云ッテ來タノデアル、最後通牒前ニハ之ヲ同意スルト云ッテ來タノデアル（「事實相違」）ソコデ此顧問ノ事、警察ノ事ハ後デ相談スルト云フコトヲ聲明スルト、斯ウ云フコトニナッテ來タノヲ、到頭如何ナル間違デアッタカ、如何ナル組漏デアッタカ、如何ナル御考デアリシカ、イキナリ此最後通牒ト云フ形ヲ採ラレタト云フコトハ甚ダ遺憾デアル、ソコデ此最後通牒ヲシテ、今日惡感ヲ買ッタノハ何デアルカト云フト、御承知ノ通リ救國貯金ヲ募ルトカ、國恥記念會、國辱記念會、此頃ニナルト書翰箋即チ書翰用ノ紙ニ持ッテ行ッテ種々ナ形デ五月九日ト云フコトヲ刷リ出シ、國恥記念ト云フコトヲ刷リ出シ、種々ナ物品ニ向ッテ國辱ノ日ヲ記念サセルト云フモノニ書立テルト云フコトハ他ノ問題デハナイ、此最後通牒ト云フ形式ヲ採ッタ――私ハ形式ト言フ、事實ハドウデアルカト云ヘバ、最後通牒ニハ之ヲ皆拔イタノデアル、感情ノ衝突及感ヲ買フト云フノガ原因トナッテ、第五項ハ皆引拔イテシマヒ骨拔キニナッテシマッタ、此骨拔キヲ最後通牒デ發シタト云フコトハ如何ナル失策デアルカ（拍手起ル）恐クハ常識デハ殆ド判斷ノ出來ナイト云フ大失策ヲヤラレタノデアリマス（拍手起ル）ソレ故ニ斯ル失策ヲ致サレタ以上ハ、我ガ帝國ハ善後ノ策ニ就テハ餘程考ヘナケレバナラヌ、東洋ノ平和支那ノ領土保全、此大責任ヲ盡スト云フガ爲メニハ、政略ヲ改メ、面目ヲ改メ、總テノ物ヲ一新シテ、一大政策ヲ樹テルト云フ必要ノ上カラ、私ハ私情ニ於テハ甚ダ忍ビマセヌガ、此內閣ヲ辭退サセルヨリ外ニヤリ方ガ無イノデアリマス、是ガ本案ヲ提出シタトコロノ理由デアリマス、是ダケデス

（「薄弱ダモウ少シヤレ」「彈劾ノ意味何レニ在リヤ」ト呼フ者アリ）

○議長（島田三郎君）　加藤外務大臣

（外務大臣男爵加藤高明君登壇）

○外務大臣（男爵加藤高明君）　諸君、私ハ原君ト犬養君ノ御述ニナッタル意見ニ對シテ、私ノ所感ヲ申述ベタイト思ヒマス、諸君ニ希望ヲ表シテ置キタイノハ、成ルタケ靜ニ御聽キ下サッテ（「大臣ラシクヤリタマヘ」「ソレナラバ靜ニスル」「默レ」ト呼フ者アリ）若シ私ノ說ニ不可ナルコトガアルト思ハルヽナラバ、後デ十分御反駁ヲ願ヒタイ（「謹聽謹聽」ト呼フ者アリ）殊ニ我ガ同志ノ諸君ニハ特ニ此希望ヲ表シテ置キマス、最モ靜肅ニ御聽キヲ願ヒタイ、原君ノ御演說ハ大ナル注意ヲ以テ承リマシタガ、洵ニ失禮ナ申分デアリマセウガ、聊カ其內容ニ失望シタト申サザルヲ得ヌノデアリマス（拍手起ル）而シテ其事柄ハ多ク過日ノ本議場及ビ委員會ニ於テ、私ガ質問ニ應ジテ既ニ述ベ盡シタ事柄ガ多イノデアリマス、新シイコトハ餘リ無カッタト存ジマスルガ、順ヲ逐ウテ一應ノ辯駁ヲ加ヘタイト存ジマス、原君ハ其演說ノ冒頭ニ於テ、表面ニ現レタル事ハ諸君凡ソ御承知ノ通リデアリマスルガ、裏面ニイロ〳〵ノ事情モアル、然シ是ハ國ノ名譽ノ爲メ國ノ威信ノ爲メニ暴露スルニ忍ビヌト云フ御言葉ガアッタヤウデアリマス、是ハ私ハ甚ダ答辯ニ苦ムノデ、如何ナル事ヲ指シテ斯ウ云フコトヲ仰シャルカ、分リマセヌ（「良心ニ問フベシ」「默レ」「良心ニ問ヘトハ何ダ」「謹聽々々」ト呼フ者アリ）

○議長（島田三郎君）　靜肅ニ……

○外務大臣（男爵加藤高明君）　ドウゾ同志ノ諸君ハ殊ニ沈默ヲ守ラレタイ（「總裁ノ命令ニ從ヘ」「默レ」ト呼フ者アリ）如何ナル事ヲ原君ガ御心中ニ包藏シテ居ラレテ此言葉ガ出タカ私ハ其意味ヲ解シマセヌ、故ニ反駁スルニ由ガナイノデス、併シ私ハ當局トシテ不肖ナガラ此事ニ從事シテ居リマスルガ（「聲ガ低イ」「聽エナイモウ少シ高聲ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ）少シ長ウゴザイマスカラ段々ヤリマス（「長ク饒舌ラレテハ閉口ダ」ト呼フ者アリ）私ハ別段ニ原君ノ深キ御憂慮ヲ煩ハスコトハ無イト信ジテ居ル、而シテ日支交涉事件ノ內容及ビ談判ノ經過ハ、條約ノ正文ガ未ダ我國ニ於テハ御批准ノ手續ガ濟マザルガ故ニ、之ヲ發表セヌケレドモ、既ニ對手國ノ支那ニ於テハ發表ニナッタ、ソレダカラ內容モ皆サン御分リニナッタヤウナコトデ、總テノ事柄ガ悉ク新聞紙ニ出テシマッテ居ルト云ッテ宣シイノデアリマス、其他ニハ何等裏面ノ事情モ何モアリマセヌ、左樣ニ御承知ヲ願ヒタイ（「ソウ〳〵」ト呼フ者アリ）ソレカラ犬養君ノ御演說中ニ第五項ノ事ニ就テ委シク御述ベニナリマシタカラ、便宜上犬養君ノ御演說ニ對シテ私ノ意見ヲ述ベル時ニ委シク申述ベマスガ、原君ハ極メテ簡單ニ御述ニナッタ、即チ第五項ハ外來ノ力ニ依ッテ讓歩シタト云フコト、犬養君ハ此點ニ就テ委シク御述ニナリマシタカラ、便宜上犬養君ノ部ニ移ッタ時ニ委シク申述ベマス、原君ノ簡單ナル御言葉ニ就テハ、外來ノ力ニ依テ讓歩シタノデナイト云フコトヲ明言スル外ハナイ、膠州灣還附ハ何ノ爲ナリヤト云フ意味ノ事ガ原君ノ御話中ニアリマシタガ、膠州灣ノ還附ノ聲明ヲ此場合ニ於テ爲スガ不得

策ト云フコトデアッタガ、原君ノハ極ク簡單デアリマシタカラ、簡單ニ答ヘテ置キマス——意見ヲ述ベテ置キマス、此ノ還附其事ニ御不同意デアルカ、御同意デアルカ、能ク私ハ原君ノ意ヲ了解シナカッタノデアリマス、此事ニ關シテハ既ニ先日來質問ニ對スル答辯ニ於テ屢〻申述ベタコトデモアリマスルシ、又後ニ至ッテ申述ベル機會モアリマセウカラ、是モ意見ヲ略シマス、ソレカラ支那ヘ要求シタ事柄及希望トシテ申出タ事柄ノ全部ヲ列國ニ通知ヲシナカッタ、ソレガ爲ニ列國ノ疑惑ヲ招イテ甚ダ憂フベキ現象ガ生ジタト云フ御意見デアリマスガ、私ノ見ル所ニ於テハ是ガ爲ニ何等列國ノ猜疑心ヲ起シタコトガナイト信ジマス（「ノウ〳〵」「強辯ナリ」ト呼フ者アリ）各國ノ中ノ或者カラハイロ〳〵質疑モ受ケマシタ——質疑モ受ケマシタガ、我政府ハ相當ナル辯解ヲ致シテ、何等猜疑心ヲ今日ニ於テ懷イテ居ルト云フコトヲナイト云フコトヲ私ハ確信スルノデアリマス、成程世間ノ又、外國ノ或種類ノ新聞紙ニ於キマシテ、此度ノ我國ガ支那ニ對シテ交渉シタシ、之ニ就テ彼此非議ヲ申述ベタモノガアルヤウデアリマス、私ノ期待シテ居ッタ所ハ關係列國ニシテ猜疑心ヲ懷カシメナイ、且ツソレ等ノ國ミノ智識アル階級ノ人ミヲシテ我國ノ心事ニ就テ疑ハシメナイ、斯ウ云フ事ヲ目的トシテソレ〳〵ノ處置ヲ執リマシタ、此目的ニ於テハ確カニ成功シタト信ズルノデアリマス（拍手起ル）ソレカラ日貨排斥ノコトニ就テ、我國ノ要求ガ強キニ過ギタノデハ、或ハ談判ノ仕方ガ惡カッタノデハ、又述ベル機會モアリマセウガ、——此點ハ犬養君モ頻リニ御述ベニナリマシタカラ、又述ベル機會モアリマセウガ、——ソレガタメニ日貨排斥ヲ企テ、兩國ノ間ノ親善ヲ破ルヤウナ結果ヲ來シタト云フコトデアリマシタガ、成程日貨排斥ノ企テモ幾分カアリマシタ、今日モ尚多少殘ッテ居ルカ知リマセヌガ、是ハ支那政府ノ極メテ誠意アル處置ニ依テ既ニ大部分沈靜致シマシタ（「ノウ〳〵」ト呼フ者アリ）私ノ手許ニ達シテ居ル報告ハ其通リデアリマス、漢口ガ稍〻重大ナル現象ガ起ッタノデアリマシタガ、其點ニ就テハ既ニ全ク事柄ガ終ッテ、彼ノ國ノ官憲幹旋ニ依テ、彼我兩國ノ重立ッタル人ミガ懇親會ヲ開イテ、而シテ日貨ノ取引モ既ニ大分始ッテ來タ、遠カラザル中ニ舊ニ復スルデアラウト云フ確報ガ達シテ居リマス（拍手起ル）ソレカラ原君ノ御話ノ中ニ稍〻事實ト違フト思フ事ガアリマス、此點ニ就テハ少シク叮寧ニ私ノ意見ヲ申述ベタイト思フ、滿蒙及ビ山東ニ於ケル我國ノ地位ハ既ニ支那竝ニ列國ノ認ムル所デアル、斯樣ナ事ハ談笑ノ間ニ決シサウナモノデアルト云フコトデアルガ、ナカ〳〵サウ容易ニ行カナイ、是ガ爲ニ二十何回ノ會議ヲ重ネ、百日餘リノ日子ヲ費シテ是ハ極メタノデアリマス、併ナガラ——サウ云フ事ヲ御シャルト、私モ少シ言ヒタクナル、日露戰爭後今日ニ至ルマデ十年間原君ハ其內ノ五六年間ハ內閣ニ御出ニナッタノデアル、若シ容易ニ極メラル、事ナラバナゼ今マデニ御極メニナラナカッタカ（拍手起リ）「ヒヤ〳〵」「顏色ナシ」ト呼フ者アリ）原君ハ談笑ノ間ニ決シ得ル事ヲ故意ニ御決シニナラナカッタノデアルカ（「自分ノ事ヲ言ヘ」ト呼フ者アリ）談笑ノ間ニ決シ得ルコトヲ原君ハ故意ニ御極メニナラナカッタノデアルカ、蓋シ是ハ今日反對ノ地位ニ立ッテ御出ナサル上カラ、便宜ノ上デ御用ヒナサル言葉デアラウ、ナカ〳〵談笑ノ間ニ決セラレルヤウナ容易ナ問題デアリマセヌ、ソレカラ我國ノ支那ニ對スル交涉ノ結果トシテ外國ノ感情ヲ害シテ、將來孤立ノ地位ニ立ッ虞ガアル、斯ウ云フ御言葉モアッタヤウデアリマス、此點ハ私ノ見ル所ハ原君ト大ニ異ニシテ居ル、是ガ爲ニ外國ノ感情ヲ害シタト云フコトハナイト云フコトハ先刻申上ゲタ通リノ事デアリマス、併ナガラ世界ノ新聞紙モ多イノデアリマス、イロ〳〵ノ考ノ人モアル、所デ以テ總テノ人ガ悉ク日本ノ要求ハ正當ナリ、日本ノ談判ノ仕方ハ洵ニ是ヨリ外ニヤリ方ハ無カッタトハ言ハナンダカモ知ラヌ、外國ノ新聞ガ種々ノ批評ノアルコトヲ私モ見聞致シマシタガ、是等ノ批評ヲ恐レテ、總テ何等ノ反對ノ批評モ聞カナイヤウニト言ヘバ何ニモスルコトガ出來ヌノデアル（拍手起ル）若シ關係ノ國ミノ責任アル當局者及責任アル階級ノ者ノ了解ヲ誤ラシメズンバ、其一部分ノ一時ノ人氣ヲ事トスルヤウナ新聞紙ノ批評ハ顧ミテ居ル譯ニ行カヌ（拍手起ル）犬養サンハ委シク御述ベニナリマシタ、之ニ對シテ私ノ意見モ一層委シク申述ベヤウト思フ、其中デ最モ重キヲ置イテ御論ジニナッタ事ハ支那ノ外務次官ノ曹汝霖君ガ我公使ヲ訪問サレテ、最後通牒ニ依テ我要求シタ以上ノモノヲ既ニ彼カラ讓ッテ來タノデアル、然ルニ之ヲ拒絕シテ最後通牒ヲ出シタ、コンナ馬鹿ナ事ガアルカト云フ意味ノ御話デアッタト思ヒマス、此事ニ就テハ先日既ニ此議場ニ於テ答ヘタ通リノコトデアリマス、事實全ク違ッテ居ルノデアル、犬養君ハ或報道ニ依レバト云フ御話デアリマシタガ、私ガ外務大臣トシテ得テ居ル報告ハ全クソレト事實ガ違フ、過日此處デ申述ベタ通リノコトデアル、此上ハ私ノ申上ゲタ事ヲ御信ジニナルカ、又ハ他ノ人ノ事ヲ御信ジニナルカト云フコトハ、是ハ諸君ノ御判斷ニ委スヨリ外ハナイ、犬養君ノ得ラレタ報告ニ依レバ、支那ハ我國人ノ布敎ヲ爲ス權利ヲ彼ニ於テ認メテ來タト云フコト、ソレハ事實全ク無根デアリマス、右等ノ話ハチヨットモ話頭ニ上ラナカッタノデアリマス、曹汝霖君ノ訪問ノトキニハ——ソレカラ南支鐵道ノコトニ付テ我要求ヲ悉ク容レテ來タ、是モ事實無根、軍器ノ事ニ關スル我ガ希望ニ對シテ支那ハ全然同意ヲ表スルト云フ御話デアッタト思ヒマスガ、是モ無根（笑聲起ル）僅ニ事實デアルノハ——犬養君ノ御述ベニナッタ中デ、僅ニ事實デアルノハ此事ヲ同意シテモ宜イト申シタノデアル（「學校病院ダケダ」ト呼フ者アリ）「日本人支那內地ニ於テ學校病院ヲ設立スル爲メ土地ヲ租借購買セントスルトキニハ中央政府ハ之ヲ允許スヘシ」ト云フコトヲ談判交涉中ニ曾テ支那ノ外交總長ノ陸君ガ申サレタコトガアル、將來ニ亙ルケレドモ此事ノ詮議ヲシヤウト云フコトヲ言ハレタ——言ハレタト云フコトヲ會議錄ニ書イテ貰ヒタイト云フコトヲ要求シタコトハ、會議錄ニ書クコトヲ承諾セヨト云フコトデアリマシタ、今一箇條ハ南支鐵道ノコトハ斯ウ云フコトヲ會議錄ニ書キタイト云フコトヲ四月二十六日ニ申出タノデアリマス、「武昌ト九江南昌線トヲ聯絡スル鐵道及ビ南昌杭州間、南昌潮州間鐵道借款權ニ就テハ他ノ外國ニ於テ故障ナキコト明カナルニ至リタル場合ニハ必ズ日本ニ許與スヘシ」ソレカラ——又後ハ別ノコトデスヨ、此處デ一ッ切レ——「又ハ別ニ日本政府ヨリ本件關係他外國トノ間ニ直接話ヲ纏ムベキニ付キ右纏マルマデハ本件鐵道ハ何レノ國ヘモ許與セサルヘキコト」支那ノ方ニ於テモ此線路若ハ是ト競爭スル虞ノアルモノヲ他國ニ許シタ場合ニ於テハ其關係ノコトヲ日本ガ話ヲ好マヌカラ、此話ノ落著スルマデハ日本ガ有シタ同ジ線路ヲ、他ノ著ニハ許スナトイフ意味ヲ會議錄ニ書キタイ、斯ウ云フコトデアッタ「又ハ別ニ日本國政府ヨリ本件關係他外國トノ間ニ直接話ヲ纏ムヘキニ就キ右纏マルマデハ本件鐵道ハ何レノ國ヘモ許與セサルヘキコト」之ヲ會議錄ニ書クコトヲ是ダケハ聽カウト云フ格別ノ事デハナイノデアリマス、此二項ハ同意シテ宜シイト云フコトヲ曹汝霖君ガ言フタ、併ナガラ蒙古ノ事ニ付テハ我國ノ最モ重キヲ措イテ居ッタコロノ日支兩國人ガ、合辦シテ農業ヲ經營スルコトヲ支那ガ承認スルコト此事ハ聽カレナイ、滿洲ノ內地ニ住居スル日本人ガ支那ニ於テ內地ノ住居及ビ內地ニ於テ各種ノ營業ヲ營ムニ付テ、刑法ヲ以テ日本人ヲ支配シヤウトハ言ハヌガ、警察法令ダケハ日本人ニ適用シタイト云フコトデアッタ、所ガ支那ノ警察法令ハ未ダ如何ナルモノデアルト云フコトヲ詳シク審査致シマセヌガ、或ハ隨分重イ刑罰ナドガ附イテ居ルト云フコトデアル、治外法權ノ特權ヲ得タト稱シテモ、一方ニ警察法令ニ服從スルト云フコトヲ言ッテ、其方デ強ク重イ罰デモ科セラレテハ甚ダ日本人民ガ困ル、獨立國ニ對シテ甚ダ申シニクイ言分デアリマシタケレドモ、彼ノ國ノ制度ノ不完全ナルガタメニ已ムヲ得ヌコトデアル、其警察法令ニ從フト云フ事柄ハ已ムヲ得ズ同意ヲ

致サウガ、其警察法令ヲ以テ先ヅ以テ日本ノ官憲ニ示シテ相談ヲシテ貰ヒタイ、是ハ支那ニ於テハナカ〳〵ヤリニクイコトデアリマセウ――ヤリニクイコトデアリマセウガ、コチラデソレヲ審査シテ是位ナラバ先ヅ宜シカラウト云フコトニ、コチラノ認メタモノダケニ從ハスルト云フ斯ウ云フ趣意デアリマス、此點ニ付テハ餘程重キヲ置イテ我政府ハ談判シテ居ッタノデアリマス、此點モ聞カレナイ、今一箇條ハ日本人ノ内地ニ於テ土地ヲ所有スル――所有スルト云フ言葉ハ支那ガ同意シマセヌカラ、別ノ言葉ニナッテ居リマスガ、事實所有ト同ジコトニナリマス、租借デス、其事モ支那政府ニ於テハ我國人ニ許スガ、併シ其土地ニ關スル訴訟、土地ニ關スル民事ノ訴訟ニ就テハドウカ是ハ支那ノ裁判官ニ、日本人ノ關係ノ訴訟ト雖モ裁判サセタイト云フ、固ク執ッテ動カヌノデアリマス、我國ハ事ヲ纏メル上ノ一ノ讓歩トシテ土地ニ關スル民事訴訟ニ（「ソンナ細カナコトハ問題ニナッテ居ナイ」ト呼フ者アリ）是ガ問題デス（「ナッタ〳〵」ト呼フ者アリ）是ガ問題デス（「謹聽々々」「能ク聽ケ」「最モ大切ナ所ダ」「默レ」ト呼フ者アリ）此土地ニ關スル民事訴訟ハ支那ノ裁判官ノ裁判スルコトニ同意モシヤウガ、併シ是ハ立會裁判ニ致サウ、日本ノ官憲即チ領事デス、領事ト支那ノ裁判官ト共同シテ審判スルコトニ致サウ、サウスレバ支那ノ裁判官單獨ニ、今ノ狀態デ委スルコトハ往カヌト云フ處ガアリマスカラ、是ハ甚ダ支那ニ聞エテハ困リマスケレドモ、私ハ事實ヲ明カニスル爲メニ仕方ガナイ、立會裁判ニ致サウ、ソレナラバ支那ノ裁判官ガ此事ニ干渉スルコトヲ同意スルト申シタ、最モ重キヲ置イタ一ツデアリマス、是モ亦不同意ダト云フ、右ノ如ク彼カラ同意シテモ宜シイト言フタ點ハ比較的輕微ナ點デアッテ、而モ其或事柄ヲ會議錄ニ留ムルヤ否ヤト云フコトダケノコトデアル、他方面ニ於テハ我國ノ最モ重キヲ置イテ交渉シテ居ルトコロノ點ヲ彼ガ讓ラナイノデアル、而シテ既ニ我ニ於テハ最後通牒ヲ發スルコトニ極メテ居ッテ、日置公使モ其訓令ヲ受ケタ時デアル、其時ハソレデモ尚最後通牒ヲ發セズシテ事ガ圓滿ニ解決シ得タナラバ、ソレ程結構ナコトハナイノデアリマスガ、曹汝霖君ハ右ノ要點ヲ持ッテ參ッテ最後通牒ヲ出スコトハ止メテ、談判ノ繼續ヲナシタイト云フ、斯ウ云フ話デアッタ（「其通リ」ト呼フ者アリ）此ニ至ッテ帝國政府ハ既ニ已ムヲ得ズ最後通牒ヲ發スルト云フコトニ極メタ上ノコトデアリマス、彼ノ讓歩ガ我ガ最後通牒ヲ出シテ得ルトコロト同ジモノデアレバ、無論最後通牒ヲ何故ニ好ンデ出シマセウカ、斯ウ云フ極ク僅バカリノ讓歩ノ點ヲ持ッテ來テ、既ニ最後通牒ヲ發スルマデニ至ッタモノヲ、又談判ヲ續ケルト云ッタラ何時是ガ纏リマスカ（「ソレデ宜イデハアリマセヌカ」ト呼フ者アリ）故ニ最後通牒ヲ發シテ彼レノ決意ヲ促スト云フコトニ政府ハ定メタトコロノ所信ヲ變ヘナカッタノデアリマス、犬養君ノ言ハレルガ如クニ布教權ヲ認メルトカ、鐵道ノ敷設權ヲ認メルトカ、軍器供給問題ニ付テモ我希望ヲ容レルトカ若クハ顧問傭聘ノ事ニ付テ我ガ意ニ從フト云フコトヲ先方デ申シタコトハゴザイマセヌ（「事實ガ違ッテ居ル」「默ッテ聽ケ」「違ッタコトハ違ッテ居ル」ト呼フ者アリ）ソレカラモウ一ツ、支那政府ガ發表シタ文書ト仰シャル、成程支那政府カラ出タモノニ相違ナイ、五月七日ニ於テ支那ノ新聞紙ニ書イテアッタ、ソレヲ御讀ミニナッテ犬養君ハ種々ノ點ニ付テ御論評ニナッタ、是ハ先日モ申上ゲタ如クニ、大體ニ於テ大ナル間違ハアリマセヌガ、餘程支那ノ政府ニ都合ノ好イヤウニ書イタ所ガ多イノデアル、是ハ近日發表ニナル文書ヲ――コチラノ文書ヲ御覽ニナレバ分リマセウガ、餘程都合ノ好イコトガ而モ長ク書イテアル、其一節即チ犬養君ガ御引證ニナッタ一節、出兵ノコトニ付テ日置公使ハ支那ノ當局者ヨリ何ガ故ニ日本ハ出兵シタノデアルカ、早ク其交代ノ實ヲ行ッテ貰ヒタイト云フ要求ヲ受ケタトキニ、今日持出シテアルトコロノ要求ガ悉ク支那政府ノ聽ク所トナッタ上デナケレバ、ソレハ出來ヌト云フコトヲ答ヘタト申サレタガ、是ハ全然無根ノ事デアル、一切サウ云フ事ヲ言ッタコトハナイ、（「皆ナ無根カ」ト呼フ者アリ）無根デアル、支那新聞ニ書テアルコトハ無根ナラ無根ト言ハナケレバナラナイ、ソレカラ日本ノ新聞紙ヲ御覽ニナッテ、某々ノ三國ノ大使ガ外務省ニ本大臣ヲ訪問シテ云々、餘音嫋々タル御辭デアッタガ、何カ是等ノ大使達ガ聯合シテ私ヲ訪問シテ干渉ニ參ッタカノ如キ意味ガ含マレタ御話デアリマシタ、當時私ハ其新聞紙ヲ見マシタガ、其日ハ二三國ノ大使ノ中ノ一人ニモ逢ッタコトハアリマセヌ、其新聞ノ記事ハ全ク嘘デアル、又他ノ日ニ於テモ一人々々ノ大使ニ別々ノ時ニ種種ノ用デ逢ヒマシタガ、二人若クハ二人ノ大使ガ、共ニ私ヲ訪問シタト云フコトハ私ノ就職以來無イコトデアル（「ソンナ事ハドウデモ宜イ」ト呼フ者アリ）犬養君ガ御述ベニナッタカラ其事ヲ辯駁シテ居ルノデアル、ソレカラ五月十一日ノ東京朝日新聞ヲ御引證ニナッテ、某元老ノ談云々、其内容ニ就テ私共責任ヲ取ッテ意見ヲ述ベル必要ハナイガ、何カ元老某ガ話サレタコトニ依ルト、五月四日ノ夜帝國政府ハ或國ヨリ重大ナル掛合ヲ受ケテ其結果トシテ五項ノ讓歩ヲナスコトニ決シタト云フコトデアリマス、ソレヲ犬養君ハ御信ジニナッテ居ルトモ、御信ジニナッテ居ナイトモ仰シャラヌヤウデスガ、私ハ其新聞ノ記事ハ當時見マセヌ、初メテ承リマシタガ、右ノ如キ事ハドナタガ言ハレタカ、果シテ言ハレタカドウカ、ソレハ私ノ問フトコロデナイガ、萬一サウ云フコトヲ言ッタ人ガアレバ其人ハ事實無イコトヲ言ッタノデアル、右等ノ事實ハ一切無イノデアル（「分カッタカ」「英吉利ノ「グレー」氏ノ明言ハドウダ」ト呼フ者アリ）段々其所ヘ往キマス、ソレカラ日獨開戰ニ際シテ我國ヨリ獨逸ニ發シタル最後通牒ノ中ニアル文句ヲ捕ヘテ、支那ニ還附ノ目的ヲ以テ云々ト云フノハ間違デアル、ト云フコトデアリマスガ之ハ意見ノ相違デアリマセウガ、政府ノ見ルトコロニ於テハ當時平和ノ間ニ獨逸トノ關係ヲ解決スルコトガ出來タナラバ、殆ド何等ノ條件モナク、唯獨逸ヘ再度戻スト云フ條件ダケヲ附ケテ、青島ハ獨逸ニ還シテ宜カッタラウト思フノデアル、少シモ政府ノ取ッタ處置ハ間違ッタトハ思ヒマセヌ（「ソレガ間違ッテ居ルノダ」ト呼フ者アリ）ソレカラ南滿ト蒙古ノ區別、蒙古ノ如キ南滿洲ニ於テ得タトコロノ權利ハ既得ノ權利ト云フ御話デアリマシタガ、是ハ先日來屢々本議場ニ於テモ豫算委員會ニ於テモ申述ベマシタガ、政府ノ見ル所ニ依リマスレバ、決シテ既得ノ權利デナイ（「當然得ベキ權利ダ」ト呼フ者アリ）當然得ベキ權利デハナイ、但日清、日露兩戰役ヲ經テ、日本人ハ當然彼ノ地方ニ於テハ相當ナル地位ヲ占メルト云フ（「運命」ト呼フ者アリ）運命ニナッテ居ルガ權利トハ申サレマセヌ、ソレデアルカラ日本人ガ早晩斯ノ如キ場合ニ立ツト云フコトハ、支那政府ニ於テ認メラレテ然ルベシデアリマスガ、支那政府ノ見地カラ言ヘバ、決シテ日本人ガ當然此所ニ來ベキモノデアルト思ハヌカモ知レヌ、此事ニ關シテノ談判ニ付テハ頗ル困難ナル談判ヲ致シタノデアル、而モ日本人ノ事業ヲ爲スニ付テモ、治外法權ハ別トシテ、彼國ノ裁判權ニ服スルト云フコトヲ承諾シタナラバ、問題ガ易カッタノデアリマスガ、奈何セン、支那ノ今日ノ裁判權ニハ全然服スルコトガ出來ヌ、支那ノ裁判制度ノ改良ヲスルマデハ、已ムヲ得ズ治外法權ノ特權ヲ持ッタマヽデ往カナケレバナラヌ、是ハ右ノ如ク治外法權ヲ持ッテ居ル國ミノ有樣ヲ知ッテ居ル人ガ、政友會ノ中ニモ御一人アルヤウデアリマスガ、遲羅ノ如キ其他ノ國ノ狀況ヲ知ッテ御居デナル方ニハ容易ニ分ル話デアッテ、今日日本ガ南滿洲ニ於テ東部內蒙古ニ得タ如キ權利ガ、外國人ノ持ッテ居ル國ハ世界中殆ド一國モ無イノデアル、遲羅デモ無イト思フ、土耳古ニモ無イ、是ハ支那ノ全權委員モ其當時其事情ヲ訴ヘテ洵ニ難義デアル、各國ニ類例ノナイコトニナルノデアルカラ、日本人ガ當然滿洲ニ於テ地位ヲ占メルト云フコトハ認メッヽモ其點ハ頗ル難義デアルト訴ヘラレタ次第デアル、之ニ對シテ政府ニ於テモ大

ニ同情ヲ表シマシタケレドモ、ソレナラバト申シテ支那ノ裁判權ニ服スル譯ニ參リマセヌ、已ムヲ得ズ道理上カラ言ヘバ、彼國ノ代表者ノ言ハレル如キヤウニナルコトヲ認メツヽモ、變則ノモノガ成立ツコトニ彼ノ同意ヲ求メタト云フコトニナッタノデ、決シテ唯今犬養君ガ言ハレタ如キ既得權利デモナケレバ、原君ノ言ハレタ談笑ノ間ニ決シ得ルヤウナコトデハ決シテ無イノデアル（「ヒヤ〳〵」拍手スル者アリ）犬養君ハ蒙古ノ區域ニ付テ頻リニ御述ベニナッタヤウデアリマスガ、此度日本ノ得タトコロノ東部內蒙古ト云フコトハ、加藤ノ發明デアルト云フ御贊辭ヲ受ケマシタガ、是ハ私ノ發明デハナイノデアル、前年來我ガ政府ニ於テハ此辭ヲ屢〻各國トノ間ニ使ッテ居ル辭デアリマス、決シテ私ノ發明デハナイノデアル、殘念ナガラ私ノ發明デハアリマセヌ、（笑聲起ル）而シテ此區域如何ト云フコトニ付テハ、先日國民黨ノ議員ノ佐々木君ノ御尋ニ依ッテ、豫算委員會ニ於テ祕密會ヲ要求シテ御話シタコトデアリマス、此處デ再ビ繰返スコトノ出來ナイノヲ甚ダ遺憾ト致シマスガ、參分皆サンモ祕密ノ間ニ既ニ御傳聞ニナッタコト、信ジマス、ソコデ支那ノ行政區畫デハアリマセヌ、熱河道ノ管轄內トカ若クハ蒙古ニ於テ權利ヲ得タト思ッテ喜ンデ居ルガ、豈圖ランヤ南滿洲デアッタト云フヤウナコトハナイ、全ク是ハ別デアリマス、隨分區域モ廣イノデアリマスカラ——ソレカラ漢冶萍問題ニ付テ頗ル熱心ニ御述ニナリマシテ、其第二條ノ附近ノ鑛山ノ採掘權ヲ漢冶萍公司ニ申込ムト云フ我國ノ要求ヲ後ニ至ッテ棄テタト云フコト、是ハドウシテモ支那ハ同意致シマセヌ、同意致シマセヌカラ談判交涉ノ問ニ我ニ於テ讓歩シタ一ツデアリマス、之ニ關聯シテ犬養君ハ英國ノ外務大臣ガ其議會ニ於テ述ベラレタル言葉ヲ御引證ナサッテ、中部支那ノ鑛山採掘權ニ付テハ英國ハ機會均等ノ主義ヲ固ク主張スルト申サレタト云フコトデアル、機會均等ト云フ言葉ニ非常ニ力ヲ入レテ御話ニナリマシタガ、是ハ英國ノ外務省ノ必ズ言ハレタコトデアラウト信ズルノミナラズ、全ク同感デアル、私ニ於テモ機會均等ノコトハ固ク主張シマス、是ハ英國ガ主張スルノミナラズ、私モ主張シマス、機會均等ト云フコトハ——機會均等ノコトヲ主張スルト云ッテモ、漢冶萍問題ノ第二條ヲ削除シタコトハ何等關係ハアリマセヌ、隨ッテ此事ニ關シテ英國政府ヨリ何等交涉ヲ我政府ハ受ケタコトハ無イト云フコトヲ明言致シマス、ソレカラ軍器問題、顧問ノ問題、是等ノ事ヲ此度ノ交涉ト同時ニ申出シタハ甚ダ拙デアルト云フ御批評デアッタ、此事ニ付テハ先日來屢〻述ベマシタ如クニ第一項ヨリ第四項ニ至ルモノハ當然我國ガ是ダケノ申出ノ趣旨ニ出テナケレバナラナイ、是非目的ヲ貫キタイ、此趣旨ヲ以テ初メカラ掛リ、第五ノ事ニ付テハ厚キ希望デハアルニ違ヒナイ、熱心ナル希望デアルニ相違ナイケレドモ、第一項ヨリ第四項ニ至ルトハ性質ガ違フ、我國ガ當然主張スベキ事柄トモ申サレヌモノモアルノデアル、是ハ希望トシテ後ニ實行ヲ勸告スルト云フ趣意デ初メカラ出掛ケタ、其區別ノ仕方ガ惡イト云フ御話デアルガ、是ハ人ノ見込ノ違フ所デ、犬養君ハ若シ斯ノ如ク分類ノ仕方ガ惡イト云フ御話デアレバ是ハ意見ノ相違デアリマスガ、政府ニ於テハ性質ガ異ルカラ隨ッテ要求ノイロ〳〵異ナルト云フ趣旨デ、初メカラ違ヘテ出シタノデアル（「質問デハアリマセヌ」ト呼フ者アリ）私ハ私ノ意見ヲ述ベテ居ルノデアル、最後通牒ノ形式ヲ以テシタ爲メニ甚ダ支那人ノ惡感情ヲ起サシタト云フ御說デアリマスガ、犬養君ノ御觀察ニ依レバ、支那人ハ非常ナ惡感情ヲ懷イタサウデアリマス、譬ヘテ言フナラバ顧問傭聘ノ如キコトモ平常談笑ノ間ニ容易ニ出來ル事デアルノニ、此場合ニ於テ申出シタカラ、此場合惡感情ヲ持チ——サウデハナイ、惡感情ヲ懷イテ居ル時ニ申出シテ、ドウシテ出來ルカト云フコトデアッタ、私ノ聽取違ヒカ知レマセヌ、之ヲ申出シタトキニ惡感情ヲ懷イテ居ナイ、犬養君ノ御說ノ如ク假リニ惡感情ヲ懷イタコトガアルニシテモ、斯ウ云フコトヲ申シタ結果ダト云フコトナラアルカモ知レナイケレドモ、犬養君ハ今日ノ如ク惡感情ヲ懷イテ居ル際ニ斯ウ云フコトヲ言ハレルノハ何事ダト云フコトデアッタ、或ハ私ノ聽違ヒカモ知レマセヌ、ソレカラ最後通牒ヲ差出スコトノ已ムヲ得ザルコトハ、既ニ先刻他ノ問題ニ關聯シテ御話申シマシタガ、此場合ニ於テ何故ニ更ニ讓歩ヲ爲シタカト云フコトニ付テハ、先日屢〻私ガ言明シタ通リデアル、此場合ニ復タ讓歩ヲ爲スコトハ甚ダ苦シイケレドモ、之ガ爲メニ平和ノ維持ヲ爲シ得ルナレバ、此讓歩ヲ爲シテ他日ノ商議ニ讓ルト云フ價ハ十分ニアル、斯ウ思ッタ故ニ、飽マデモ平和ノ維持ヲ爲シタイト云フノ精神カラ讓歩ヲ爲シタ、而シテ其讓歩ヲ爲シタ點ハ如何ト云フコトヲ玆ニ御話スル、ドウ云フ點デアルカ、讓歩ヲ爲シタト云フ點ハ斯ノ如キ點デアリマス、五項ニ關シテ第一顧問ノコトニ關シテ此意味ヲ會議錄ニ認メテ記名シテ置キタイト云フ要求ヲ四月二十六日ニシタ、其一ハ「支那政府ハ將來ニ於テ必要ノ場合ニハ日本人ヲ傭聘スヘシ」斯ウ云フコトニナッテ居ル、必ズ傭聘スルト云フコトハ無イガ、支那ノ全權ガ偶〻斯ウ云フコトヲ言ハレタカラ、後日ノ話ノ端緒ヲ得ル爲メニ是丈ノ事ヲ記錄ニ留メテ置カウト云フコトヲ言ッタ、直ニ傭フト云フコトニ先方ガ同意ヲシタノデハナイノデアル、今一箇條ハ既ニ他ノ關係ニ於テモ申述ベタ通リ、「日本人ハ支那內地ニ於テ學校病院ヲ設立スル爲メニ土地ヲ租借購買セントスルトキハ、中央政府ハ之ヲ允許スヘシ」ト云フコトヲ會議錄ニ書クトモ書カヌトモ、是モ直デハ困ルト云フ斷リガ付イテ居ッタ、今一箇條ハ「他日適當ノ機會ニ於テ支那ヨリ陸軍武官ヲ日本ニ派シ、日本軍事當局者ト直接兵器購入若クハ合辨兵器廠設立ノコトヲ協議スヘシ」、他日適當ノ機會ニ於テ斯ウ云フコトヲ協議スベシ、是モ支那ノ外交總長ガ當テ會議中ニ言ハレタカラ、其言葉ヲ會議錄ニ留メルコトハ困ルト云フ議論之ヲ留メテ置キタイ、直グニスルコトデハナイノデ、ソレカラ鐵道ノ事ニ關シテハ「武昌ト九江南昌線トヲ連絡スル鐵道、及ビ南昌杭州間、南昌潮州間、鐵道借款權ニ付テハ他外國ニ於テ故障ナキコト明カナル場合ニハ、必ス日本國ニ許與スル」、是ガ第一項、又別ニ「日本國政府ニ於テ本件關係他國トノ間ニ直接話ヲ纏ムヘキニ付キ、右纏マルマデハ何レノ國ニモ許與セサルヘキコト」ト云フコトヲ文書ニ認メテ置キタイト云フコトデアル、此許與ヲ今スルコトハドウシテモ向フハ承諾シナカッタノデアリマス、故ニ是丈ノ事ヲ記錄ニ留メテ置キタイト云フコトヲ申シタ、ソレカラ福建省ノコトニ付テモ御話ガアリマシタガ、是ハ我政府ノ欲スル通リノ希望ヲ達シマシタ、是ハ讓ッタ方デナイ、左樣御承知ヲ願ヒタイ、ソレカラ今一箇條、布敎ノコトニ付テ「左ノ聲明ヲ會議錄體ニ認メ雙方記名シ置クコト、支那ニ於ケル日本人ノ布敎權ノコトハ追テ更メテ我邦ヨリ交涉ヲ開始スヘシ」、最初支那ハ第五項ニ付テ一切議論ヲシナイト云フコトデアリマシタ、當初ヨリ固ク執ッテ動カナンダノデアル、ソレデ東部內蒙古ノコトニ付テモ一切ノ議論ヲ避ケテ居リマシタガ、熱心ナル日置公使ノ盡力ノ結果——少シオカシイ言葉デアリマスガ、分リ易イ言葉ヲ使フノデアリマスガ、支那ノ外交總長ニ決シテ尊敬ヲ缺ク趣意デナイト御了解ヲ願ヒタイ——、トウ〳〵引張出シタト云ッタラ宜シイデセウ、ソレデ是丈ノ事ヲ言フタカラ、ソレダケノ事ヲ會議錄ニ書カウデハナイカ、是以上ノ事ハドウシテモイカナイドウシテモイカナイト云フ、二十六日申出シタトコロガ、是サヘモ難ンジテナサヌノデアル、ソコデ五月七日ニ彼ノ政府ニ送ッタトコロノ最後通牒ニ於テハ其要求ヲヤメル、何モ事柄ガ一ツモ最初カラ言ヘバ、最初ノ希望條件ヲ捨テタノデアリマスガ、二十六日ノ案カラ言ヘバ實ハ殆ド何モ捨テタノデハナイノデアリマス、修正ニ修正ヲ重ネル、屢〻讓歩ヲ爲スト云フコトノ御非難ガ頻リニアリマスガ、當初斯ウ云フ要求ヲ出シタハ惡イト云フコトハ、一ツノ御議論トシテハ承ハリマスガ、四月二十六日ト五月七日トノ間ニハ實ハ格別ノ相違ハナイノデアル、併ナガラ支那ニ

向ッテ申スコトハ、今此處デ御話スルコト、違ッタ言葉ヲ用井ルカモ知レヌト云フ意味ハ先日此處ヲ朧ゲナガラ御話シマシタノガ、斯ウ云フコトヲ明瞭ニ御話スルコトノ出來ヌノハ甚ダ遺憾デアリマス（「明瞭ニ言ヘヌコトモアルデセウ」ト呼フ者アリ）是デ原君ト犬養君ノ御述ベニナリマシタル各點ニ付テハ略ボ私ノ見ルトコロ政府ノ所信ヲ明カニ致シタト信ジマスルガ、今日ノ決議案ヲ見マスルト、終始機宜ヲ徴リ日支親善ヲ傷ケ（「其通リ」ト呼フ者アリ）列國ノ疑惑ヲ招キ、禍根ヲ將來ニ貽スト云フコトガアリマスガ（「其通リ」ト呼フ者アリ）私ハ是ハ服スルコトハ出來ヌノデアリマス、機宜ヲ徴ッタコトハ一ツモナイト信ズルノデアリマス（拍手起ル）又「ノウ〳〵」ト呼フ者アリ）日支親善ノ關係ヲ傷ケタコトモナイト信ズル、反對者諸君ノ中デ床次君ノ如キ公平ノ御方ハ別ト致シテ、政府攻撃ニ急ナル餘リニ支那人ガ日本ニ對シテ反對行動ヲ取ルコトガ恰モ尤モデアルガ如キ言論ヲ弄サレルノハ、是コソ日支親善ヲ傷クルノ大ナルモノト信ジマス（拍手）列國ノ疑惑ヲ招キ仰ッシヤルケレドモ、是ハ前ニ申述ベダ通リソレ〳〵相當ノ答辯説明ヲ致シテ何等疑惑モナケラネバ何モナリマセヌ、其點ハ御安心アリタイノデアル、將來ニ禍根ヲ貽シタト云フコトダケニ付テハ私ガ否定スルトコロノ御答ヘヲシタナラバ、禍根ハ貽サヌト云フ論理ガ出テ來ル、多數ノ支那人ノ中ニハ我ガ政府ノ眞意ヲ能ク了解セズ、又交渉ノ内容如何ハ知ラズ或種類ノ新聞紙ノ煽動ニ遭ウテ、問違ッタ考ヲ抱キ或ハ問違ッタ擧動ヲナシタルモノモ今日マデモアリ、又此後モ絶對ニナイトハ申サレマセヌガ、彼ノ國ノ政府ニ於テハ此條約ノ締結ニ付テ頗ル滿足ノ意ヲ表セラレテ居ルト云フコトハ事實デアル、併シ支那國民ノ中ニ兩國ノ親善ヲ傷ケル擧動ヲ爲シ言論ヲ爲ス者ニ付テハ、熟心ニ取締ノ法ヲ講ジテ居ラレルト云フコトモ事實デアリマス、我ガ政府モ固ヨリ同ジ精神ヲ以テ從事致シマスル以上ハ、日支兩國間ノ親善ハ是ヨリ益々鞏クナルデアラウト確信致シマス（拍手起ル）ソレ故ニ私ハ、本大臣ノミナラズ政府ヲ代表致シテ、此決議ノ趣旨ニハ服スルコトガ出來ヌト云フコトヲ申上ゲマス（拍手起ル）

○議長（島田三郎君）　犬養君ニ御照會致シマスガ、犬養君ハ誤謬ノ點ヲ訂正ノ爲メ發言ヲ求メラレマシタ、併ナガラ議員ハ同一ノ議題ニ付テ、發言二回ニ及ブコトヲ得ズト云フ規則ガアリマスガ、前ノ趣意ヲ説明セラレタノデアッテ、其補足ノ説明ヲナサル、斯ウ云フ意味デアルナラバ規則ニ觸レナイト思ヒマス、サウ云フ意味デアルナラバ其點ダケヲ（「無用々々」ト呼フ者アリ）唯今申シタ通リノ趣意デアリマスカ、發案者トシテ前ニ説明ノ爲メ發言ヲ許シマス（「無用々々」ト呼フ者アリ）

○犬養毅君　誤謬ガアリマスカラ……

（「無用々々」ト呼フ者アリ議場騒然）

○議長（島田三郎君）　暫ク――サッパリ聽取レマセヌカラ靜肅ニ……

○犬養毅君　重大ノ問題デアリマスカラ、此處デ訂正致シマス

○議長（島田三郎君）　規則ニハ一度ノ發議ノ出來ナイコトニナッテ居リマスガ、發案者ガ其意味ヲ補足スルト云フノデ、説明セラルト云フナラバ差支ナイノデアリマス

○犬養毅君　最後通牒ヲ將ニ發セントセラル、時ニ、彼ノ讓歩シ來ッタト云フ箇條ヲ私ハ申シタノハ、加藤外務大臣ノ耳ニハ餘程間違ッテ這入ッタラウト考ヘマス、ソレヲ此處デ簡單ニ述ベマス、第五條ノ中デ軍器及顧問ノ二件ハ別ニシテデス、――軍器顧問ノ二件ヲ除ク外ハ鐵道問題布教病院學校ノ問題ヲ承認シ――是ダケ、而シテ軍器顧問ノ事コトニ付テハ、追テ協議スルコトヲ聲明スル、之ガ前ニ除イタ箇條――福建問題ハ最後通牒デ承知致シタノデアリマスカラ同樣デアリマスガ、是モ承認ス、斯ウ云フコトヲ申シテ參ッタト云フコトヲ、無論外務大臣今日ノ立場トシテ無根ト仰セラルノハ御尤デアリマスガ、私ハ無根トハ認メマセヌノデス（「無用々々」ト呼フ者アリ議場騒然）

○外務大臣（男爵加藤高明君）　第一ニ私ハ少シ訂正ヲシタイト思フコトガアリマス、先刻私ノ演説中ニ支那ニ還附スルト申スベキトコロヲ獨逸ニ還附スルト申シタサウデアリマス、ソレハ全ク間違デアリマスカラ、左樣ニ御承知ヲ乞ヒマス、而シテ唯今犬養君ノ御話ニ依リマスレバ、犬養君ノ演説ニ付テハ私ノ少々受取リ損ッタトコロガアルサウデアリマス、ソレハ愼シンデ承ハリマシタガ、事實ハ先刻申上ゲタ通リデアッテ、犬養君ノ仰ッシヤッタコト、全ク違ヒマス

○議長（島田三郎君）　菊池武徳君

（菊池武徳君登壇）

○菊池武徳君　唯今本決議案ニ對シマスル外交經過ノ論難辯駁ヲ一々御同樣ニ拜聽シタノデアリマス、此論難辯駁ニ付テ、何レガ正シイカト云フコトハ諸君自ラ判斷ノアルコトト考ヘマス、私ハ此論難辯駁ノ間ニ於テ、ドウシテモ此對支外交ノ案件ノ箇條々々ニ付テ何所ガ惡イト云フコトガ殆ト問題デナイヤウニ思ハレルノデアリマス、私ハ譬ヘテ申スナラバ政友會ノ中デモ元田君ノ説ト床次君ノハ、其所見ヲ異ニシテ居ルト同ジヤウナコトデアリマシテ、箇條々々ニ付テハ多少ノ相違ハアルガ、支那問題ノ外交方針ニ付テ根本的ニ必ズ共通ノ點ガ無ケレバナラヌト思フノデアリマス（拍手起ル）此提案者ハ必ズ此共通ノ外交方針ヲ基礎トシテ、斯カル彈劾決議案ヲ出シタルモノデアルト私ハ信ズルノデアリマス、若シ是ガ無クシタナラバ實ニ散漫ナルモノデアル、内閣ノ引責ヲ促ス程ノ價値アルモノト私ハ信ゼヌノデアリマス（拍手起ル）先刻來謹ンデ提出者タル原君、犬養君ノ説明ヲ承ッテ見マスケレドモ、此外交方針ナルモノニ付テノ根本的ノ精神ハ何所ニアルカト云フコトヲ私ハ甚ダ諒解ニ苦ミマス、苦ミマシタガ是ガ唯之ヲ形容詞ヲ以テ空漠デアル、捕捉スル處ガナイト云フヤウナ言葉ヲ以テ之ヲ論ジ去ルト云フコトハ甚ダ穩當デナイ、是ハ此間ニ於テ此空漠ナル辭令ノ間ニ於テ、吾々ハ何ントカシテ此共通ノ精神、外交方針ニ對スル處ノ非難ノ要點ノ意志ヲ共ニシテ居ル、其共通ノ點ヲドウニカシテ發見シタイト私ハ苦ンダノデアリマス、此苦ンダモノハ如何ナルモノヲ發見シタノデアルカ、此言葉ノ中ニ於テ屢々繰返サレル言葉ハ、日支ノ親善ト云フ言葉デアリマス、又政府ノ外交ヲ攻撃スルトコロノ言葉ト致シマシテハ、支那政府ノ惡感ヲ買フタト云フコトガ屢々繰返サレテ居ルノデアリマス、然ラバ此日支ノ親善ト云フコト、惡感ヲ買フタト云フコトガ、卽チ外交ヲ非難スルトコロノ要點デアルデアラウ、此日支ノ親善ト云フコト、惡感ヲ買ハナイヤウ歡心ヲ買ハウト云フコトニ付テ、ドウ云フ方法ヲ執レバ宜イノデアルカ、又其支那ノ歡心ヲ收メ得タナラバ何程ノ利益ヲ外國ニ及ボスノデアルカト云フコトヲ私ハ考ヘテ見タイノデアリマス（拍手起ル）此方法ニ付テモ、意見ハ政友會ノ方ミト國民黨ノ方ミト其意見ヲ異ニシテ居リマス、私ハ日支ノ親善ト云フコトニ付テハ、犬養君ノ説明ニ依ルト、我國ノ對支問題ト云フコトハ支那ニ向ッテ如何ナル地歩ヲ占メル、如何ナル利權ヲ獲得スルト云フコトハ問題デハナイ、是ハ枝葉ノ問題デアル、支那政府ノ中部ニ向ッテ我勢力ヲ扶植シテ、之ヲ指導シテ以テ東洋ノ平和ヲ維持スルノデアルト云フコトヲ言ハレテ居リマス、卽チ近來用井ラレテ居ルトコロノ支那ニ指導權ヲ行使スルト云フコトハ其目的デアル（「ノウ〳〵」ト呼フ者アリ）「ノウ」デハナイ、何ンデ「ノウ」デナイカト云フト（「ノウ〳〵」ト呼ヒ議席ニ著カナイデ饒舌ッテ宜イノデスカ」ト呼フ者アリ）此對支問題ニ付テ私ハ指導權行使ト云フ言葉ハ、非常ニ亂暴ナ言葉デアリ

マセウケレドモ、外交ノ辭令トシテ此演說マデモ餘リ言葉ヲ巧妙婉曲ニセントスルガ如キ、却テ其精神ヲ明瞭ナラシメザルコトヲ遺憾トスルガ故ニ、私ハ出來得ルダケ露骨ナル言葉ヲ用ユルノデアリマス、ソコデ私ハ注文ヲ云ヘナラバ益〻親善ヲ濃カニシ、サウシテ我國ノ地歩ヲ占メ利權ヲ獲得スルコトニ付テハ成ベク多クヲ滿足サセルヤウニシタイ、サウシテ要求ヲ大キク滿足サセ、日本ト支那トノ避クベカラザル間柄ニナルヤウニシテ、濃ヤカニシテ、サウシテ列國ノ疑惑ヲ招カザランヤウニスル、互ニ二方相容レザル所ノムヅカシイ注文デアルノデアリマス、此注文ヲ解決スルガ爲メニハ如何デアルカ、是ガ對支問題ノ所謂大養君ノ根本的解決ノ方法デアル、此根本的解決ノ方法ガ、今日ノ對支外交ニ付テ論評ヲ加ヘル場合ニ於キマシテモ、自ラ議論ノ出發點トナッテ、其標準ヨリ照ラシテ考ヘルガ故ニ、現在ノ吾政府ノ爲シタル所ヲ惡トシ自分ノ思フトコロヲ善ナリトシテ居ルノデアル、其自分ノ思フ所ノ對支方法ノ最モ必要デアルト考ヘテ居ル所ノ要點ハ何處ニアルカ、此指導權、私ハ此言葉ヲ引例センガ爲メニ二十四議會ニ於キマシテ、日獨開戰ノ際、卽チ九月七日此豫算案ノ場合ニ於テ大養毅君ノ演說ヲセラレタ言葉ハ何ント云ッテ居ルノデアルカ、膠州灣ニ於テ日獨開戰ヲシヤウト云フ時ニ、豫メ此戰爭ノ後ニハ日支談判ト云フ重大ナル問題ヲ控エテ、是ガ帝國ノ最モ安危存亡ニ懸ルトコロデアルカラシテ、豫メ警告ヲ與ヘルト云フコトノ前提ニ於テ、支那トハドウシテモ親密ニシナケレバナラヌ、其親密ニスル原因ニ付テモ唯空文ノ辭令デハイカヌ、支那ノ生存上最モ利害ノ密接ナル實質ニ觸レタ結付キガ出來ナケレバナラヌト云フコトヲ言ッテ居ルノデアリマス、此生存上ノ實質ニ觸レタ結付キト云フ婉曲ナル言葉ハ何デアルカ、私ヲシテ露骨ナル言葉ヲ以テ言ハセタナラバ、支那政府ヲ成ルベク懷柔シテ之ヲ日本ノ言フコトヲ滿足ニ聞カセルヤウニシヤウト云フ意味ト思フ、又小川君ガ——政友會ニ於テ支那問題ニハ多年心血ヲ濺ガレテ居ル處ノ小川君ガ、三十五議會ニ於テ何ヲ言ッテ居ラレルカト云フト、政府ノ當局者ニ質問演說ヲナシテ政府ハ今ノ支那ノ狀態ヲ——支那政府ノ狀態ヲ其儘ニシテ、彼ノ政府ノヤウナ考ヲ有ッテ居ルモノヲ其儘ニ差置イテ、東洋ノ平和ヲ維持スルノ見込アリト信ズルヤ否ヤト云フコトノ質問ヲ發シテ居リマス、其時ニ外務大臣ハ斯ノ如キコトハ國家ノ不利ト思ヒマスカラ、問答ヲ避ケマスト言ッテ居ルノデアリマス、此意見モ皆基ク處ハ私ハ小川君ノ說ハ如何ニ支那政府ヲ改造スル考デアルカハ知リマセヌケレドモ、ソレハ別問題トシテ兎ニ角支那ト云フモノニ向ッテ、日本ガ彼ノ滿足シタル行爲ノ下ニ日本ト支那ト避クベカラザル間柄ニナッテ、彼ヲ操縱シテ以テ東洋ニ於ケル日本ノ地歩ト利權ヲ十分ニ占得シヤウト云フコトノ御趣意デアルト解釋スル外仕方ガナイノデアル、斯ウ云フコトヲシテ支那ヲ全ク日本ノモノニ取込ンデシマッテ——取込ンデシマッタ處デドウナルノデアリマスカ、所謂日支親善ノ目的ガ完全ニ此ニ結付キガ著イタトシタトコロデ、ドウ云フ註文ヲ出スノデアルカ、此處マデ論ジナケレバナラヌ、其場合ニ於テ犬養君ハ同ジク其時ノ演說ニ於テ斯樣ニ言ッテ居ル、簡單ナル言葉ヲ以テ言ヘバ臥榻ノ傍他人ノ鼾聲ヲ許サヌ、此趣意ヲ御實行アリタイト當局ニ註文シテ居ルノデアリマス、此臥榻ノ傍他人ノ鼾聲ヲ許サヌト云フコトハ、私少年ノ頃支那ノ本デ讀ンダコトガアル、讀ンダコトガアルガ此言葉ノ意味ハ如何ナル意味デアリマセウカ、卽チ日本ト支那ト互ニ結托シテ深イ間柄トナッテ、東洋ノ事ハ東洋ニ國ヲ建テルモノガ自ラ經營スル、サウシテ卽チ他人ノ鼾聲列强ノ容喙ヲ許サヌヤウニスルト云フノ御趣意トシカ、私ハ解釋ガ出來ナイノデアリマス、サウスルト所謂今日外國ヨリ來ルトコロノ新聞雜誌等ヲ見マスレバ、是ハ東洋ノ「モンロー」主義ト云フ言葉ガ行ハレテ居ルノデアッテ、東洋ノ問題ハ東洋ニ國スルモノガ自ラ經營スル、歐米諸國ノ干涉ヲ許サズト云フコトノ意味デアル、恰モ亞米利加ニ於ケル西半球ノコトハ、西半球ノ人自ラ經營スルト云フコトノ意味ニ於テ、亞米利加ガ「モンロー」主義ヲ唱ヘタト同ジ意味ノモノト解釋セラレテ、是ガ日々新聞上ニ散見シテ居ルノデアリマス、然ラバ犬養君及ビ其同論者ノ唱ヘル所ハ、此東洋ノ「モンロー」主義——東洋ノ國ト云フモノハ、自ラ東洋ノ問題ヲ解決シテ列强ノ勢力ヲ驅逐スルト云フコトガ、果シテ其本當ノ趣意デアルトシタナラバ、是ハ私ハ實ニ驚クベキ暴論ト信ズルノデアリマス（拍手起ル）此私ノ想像ガ若シモ間違ッテ居ルナラバ後ニ謹デ敬ヲ受ケマスルガ、犬養君ハ此席ニ居ラヌカラ國民黨ノ諸君ヨリ十分ナル說明ヲ與ヘラレムコトヲ希望スルノデアル、サウシテ斯ノ如キ日支ノ締結ノ下ニ、列國ノ干涉ヲ許サヌト云フヤウナ東洋ノ「モンロー」主義ト云フヤウナコトガ今日實際ニ行ハルヽヤ否ヤ、是ハ今日現ニ支那人ハ何ト言ッテ居ル、支那人ノ常ニ慷慨悲憤シテ言フトコロノ其言葉ヲ聞イテ見マスト、我ガ支那ト云フモノハ列强保全ヲ約スレバ則チ保全、列强分割ヲ約スレバ則チ分割、然ラバ則チ今日保全ヲ說ク者、焉ゾ明日分割ヲ說ク者ダラザルヲ得ンヤ、彼等ハ斯樣ニ慷慨悲憤シテ言フノデアル、今日列强ノ勢力ハ御承知ノ通リ各方面ニ彌蔓シ扶殖サレテ居ルノデアル、英吉利、佛蘭西、露西亞、亞米利加、日本、獨逸ト云ヤウニ、ソレ〳〵根據ヲ持ッテ其勢力ヲ扶殖サレテ居ルノデアリマスカラ、既ニ大ナル高鼾デ臥榻ノ側ニ寢テ居ルト同ジコトデアリマス、臥榻ノ側ニ確ニ寢テ居ルトコロノ其安眠ヲ妨ゲルトコロノモノデアル、其利害ヲ無視シタナラバ、彼等ハ如何ナルコトヲ言フデアリマセウカ、決シテ此臥榻ノ側他人ノ鼾睡ヲ許サヌト云フコトノ趣意ヲ實行スルト云フコトハ行ハレヌコトデアリマス、若シ之ヲ行ハシタナラバ、吾ミハ支那——誠ニ將ニ貧弱ナルトコロノ支那ノタメニ、日本ノ國運ヲ賭シテ列强ト人ノ反感ヲ招カナケレバナラヌト云フコトニナル、斯ノ如キコトハ國ヲ危クスルトコロノ道デアル、因テ斯ノ如キ見地ヨリシテ立テタモノナラバ、私ハ全體ノ根本方針ニ於テ誠ニ國ノ爲ニ恐ルベキコトデアルト思ヒマス、之ヲ若シ此見地デアルナラバ、禍ヲ將來ニ貽ス、禍根ヲ將來ニ貽スモノナリ、今日今ノ政府ノ外交方針ヲ批評スルノ言葉ニアラズシテ、提案者諸君ノ外交方針ガ實ニ禍根ヲ將來ニ貽スモノナリト言ハナケレバナラヌノデアリマス（拍手起ル）私ハ此前ノ片岡君、加藤外務大臣ノ述ベラレタコトヲ、再ビ繰返スコトハ成ベク避ケルノデアリマス、斯ノ如キ外交方針、斯ノ如キ出發點ヨリシタ此箇條々々ニ付テハ、意思ノ互ニ相異レルトコロノモノヲ、斯ノ如キ危キ外交方針ノ方ニ結束シテ、而シテ此外交ヲ攻擊スルト云フコトハ——攻擊シタ結果ハ現內閣ニ引責ヲ促ス、斯ウ云フ段取ニナッテ居リマス、今此處デ今日斯ノ如キ不條理ナル意味ニ於テ、現內閣ヲ顚覆シタ——顚覆シタト云フナラバ其結果ハドウナルカ、是ハ外國ニ對シテ日本ノ外政ト云フモノハ、國內ノ政爭ノタメニ常ニ牽制セラレテ誠ニ振ハザルモノデアル、外政ノ頗ル不振デアルト云フ結果ヲ持來スノデアリマスカラ、我帝國ノ外政ヲ伸暢スル上ニ於テ非常ニ不利益デアル、提案者諸君ハ帝國ノ威信ヲ失墜シタト云フコトヲ言ッテ居リマスガ、此意味ヲ以テ見マスルト、提案者自ラ帝國ノ威信ヲ失スルノ擧動ヲ爲シテ居ルモノト言ハナケレバナラヌノデアル（拍手起ル）而シテ前カラ數ヘテ日支ノ親善、列國ノ疑惑、帝國ノ威信、東洋ノ平和、將來ノ禍根、內閣ノ引責、是ダケノ六ツノ箇條ヲ以テ此文章ハ滑カニ語呂ハ整フテ居リマスケレドモ、其趣意ニ於テハ互ニ矛盾杆格シテ殆ド意味ヲ成サヌノデアリマス、私ハ甚ダ遺憾ナガラ斯ノ如キ評語ヲ用ユルノ外ニ仕方ガナイ、私ハ斯ノ如キ內閣ノ引責ヲ促ストハ云フコトハ、誠ニ非常ノコトデナケレバナラヌ、私モ大正以來屢〻政變ニ際會シテ此上ニ又大正ノ御代ヲ騷ガシテハ、誠ニ新帝陛下ニ對シ奉リ畏多キコト、私ハ自ラ恐懼措ク能ハザル者デアリマス（拍手起ル）愈〻天人共ニ怒リ非常ノ場合ニアラザレバ再ビ新帝陛下ノ宸襟ヲ惱マシ奉ルコトハシタクナイ、此意味ニ於テ諸君モ願クハ冷靜ニ再考セラレテ漫リニ政爭ヲ惹起スト云フ輕擧盲動ニ出デザラムコトヲ希望スル

ノアリマス（拍手起ル）

○議長（島田三郎君）　小川平吉君

○小林源藏君　總理大臣始メ各大臣ノ出席ヲ求メマス

○議長（島田三郎君）　小川平吉君

（小川平吉君登壇）

（拍手起ル）

○小川平吉君　諸君、私ハ此日本政府ガ一月十八日ニ支那ニ向ッテ提案ヲ致シマシタルトコロノ二十一箇條ノ要求、是ヨリモ以上ノ考案ヲ持ッテ居リマシテ、豫テ當局者ニ對シテモ屢〻私ノ意見ヲ述ベタコトモアルノデアリマス、故ニ私ノ本來ノ考案ヨリ見レバ、此二十一箇條ハ固ヨリ滿足スベキモノデハナイノデゴザイマスガ、併ナガラ此提案ヲ當局者ガ支那ニ向ッテセラレタコトニ付テハ、實ハ能ク是マデノ決心ヲセラレタコトデアルト感ジマシタ、然ルニ不幸ニシテ其後ノ折衝其宜シキヲ得ズシテ、其中ノ重要ナル問題ハ悉ク之ヲ撤回シ、或ハ又之ヲ後日ニ讓ルト云フガ如キ失態ヲ演ジマシタガ故ニ、即チ今日此ニ立ッテ內閣彈劾ノ演說ヲスル所以デゴザイマス、諸君、此南滿洲蒙古即チ提案ノ第一箇條ニアル分デゴザイマス、是ハ我國ニ於テ、既ニ既得ノ事實デアルト云フコトニ付テハ、既ニ前ノ人ヨリ屢〻論ゼラレタノデゴザイマス、之ニ對シテ原君ヨリシテ先刻斯ノ如キ箇條ハ談笑ノ間ニ於テ決スルコトノ出來ルモノデアルト申サレマシタ付テ、當局者ハ餘程此點ニ付テ御心配ニナルモノト見エテ、頻リニ此點ニ付テ辯論ヲ費サシマシタノデゴザイマス、併ナガラ此滿洲及蒙古ニ於テ事實何程ノ權利ヲ得テ居ルノデアルカ、茲ニ私ガ細カク辯ズルマデモナク、條約ノ文書ヲ細カニ吟味ヲ致シテ、而シテ之ヲ今日マデノ滿洲ニ於ケル、若クハ蒙古ニ於ケル、日本人ノ現在ノ實狀ト照合セテ見マシタナラバ、果シテ今日當局者ノ締結シタル所ノ條約ノ上ニ於テドレ程今日ノ現狀ヨリモ以上ノ權利ヲ得テ居ルノデアルカ、殆ド見ルニ足ルモノガナイト云フコトハ、私ハ明白デアラウト思フ（拍手起ル）「ノウ〳〵」「ヒヤ〳〵」ト呼フ者アリ）之ニ對シテ反對ノ諸君竝ニ外務大臣ハ、今日マデ政友會內閣ニ於テ此問題ヲ解決スルコトガ出來ナカッタデハナイカ、然ルニ我今日ニ於テ之ヲ解決シタリ、斯樣ニ仰セラルル（「其通リ」ト呼フ者アリ）是ハ其時勢ヲ知ラザル所ノ論デアリマス（「ヒヤ〳〵」「ノウ〳〵」ト呼フ者アリ）諸君——諸君ハ昨年ノ暮、增師案ヲ提出セラルルニ當ッテ如何デアルカ、如何ニ御盡力ニナッテモ通ラナカッタノデアルガ、今日ハ易々ト通ッタ、何デアルカ、時勢異ナレバナリ、若シ昨年ニ於テ諸君ガ此增師案ヲ此議會ヲ通過セシメ得タナラバ、私ハ諸君ニ向ッテ實ニ敏腕ナル諸君デアルト云フ讚辭ヲ呈スル、今日此議會ニ於テ增師案ノ如キモノヲ通過スルニ付テ、若シ諸君ガ非常ナル犧牲ヲ拂ハレタト致シマシタナラバ、私ハ遺憾ナガラ諸君ニ向ッテ讚辭ヲ呈スルコトハ出來ヌ（拍手起ル）此歐羅巴大戰亂各國悉ク支那ヨリ手ヲ引イテ、唯日本帝國ガ一人東洋ノ天地ニ於テ平和維持ノ責任ヲ負ウテ居ル、此場合ニ於テ此滿洲ニ於ケル、此蒙古ニ於ケル既定ノ事實、日露戰役ノ結果トシテ得タモノヲ現在ノ事實トシテ、我ノ占メ得テ居ル所ノモノヲ條約ノ文面ニ現ハスニ於テ、何ノ難キコトガアルノデアルカ（拍手起ル）諸君、現ニ事實ガ之ヲ證明致シテ居ル、支那ニ對スル交涉ニ於テ此滿洲ノ問題、竝ニ山東省ノ問題ト云フモノニ付テ、如何ナル議論ガ起ッテ居ルカ、如何ナル故障ガ起ッテ居ルカ、即チ我國ガ今日得タ所ノ權利——山東省南滿洲ニ於ケル所ノ蒙古ニ於ケル所ノ、是ダケノモノニ付テハ、事實ヤハリ殆ド談笑ノ間ニ決シテ居ルデハアリマセヌカ、支那ガ故障ヲ云ヒ、支那ガ反對ヲ致シ、之ニ依ッテ出兵モ致シ、之ニ依ッテ最後ノ通牒ヲ發スルマデニ至ッタ所ノ事柄ト云フモノハ、即チ今日我ガ當局者ガ得タル所ノ權利其物ニ非ズ、却テ當局者ガ放棄シタ所ノ事柄ニアルト云フコトハ事實ガ之ヲ證明致シテ居ル（拍手起ル）（「放棄ニ非ズ留保ナリ」ト呼フ者アリ）外務大臣ハ豫算委員會ニ於テ何ト答ヘラレマシタカ、當分ノ間第五項ニ付テ談判ヲ開クコトハ出來ナイト云フコトヲ、諸君ノ總理ノ當局ノ大臣ガ明言ヲ致シテ居ル、當局者ガ代ッタラ出來ルダラウ、加藤男爵ニハ決シテ出來ヌ、諸君、此滿洲蒙古ノコトニ於テ吾吾ノ最モ希望スル所ノ事柄ハ、世界列國ノ認ムル所ノ我國ノ勢力範圍タル所ノ實ヲ擧ゲ、而シテ平時ニアッテハ經濟上ノ勢力ヲ增張セシメ、變事ニ處シテハ即チ此大陸ニ於テ大局ヲ保ツダケノ準備地歩ヲ占メタイト云フノガ私共ノ希望デアル、然ルニ今回ノ談判ニ於テ、是等ノ點ニ於テハ少シモ吾ミノ希望ヲ達シテ居ラヌノデアリマス、併ナガラ此點ニ付テハ既ニ犬養君ヨリ詳細ニ議論ヲセラレマシタカラ、最早私ハ茲ニ贅辯ヲ費シマセヌ、次ニ彼ノ南昌ヲ中心トスル所ノ鐵道ノ問題、是ハ何ノ爲ニ撤回ヲセラレタノデアルカ、南昌ヨリ武昌ニ達スル所ノ鐵道、又南昌ヨリ杭州ニ達スル所ノ鐵道、是等ノ如キハ餘程久シキ以前ヨリシテノ懸案、即チ我國ノ請求ニ係ル所ノ鐵道デアル、南昌ヨリ潮州ニ至ル所ノ線路ハ今回新タニ政府ヨリ請求ニ係ル所デアリマスガ、他ノ鐵道ハ即チ我國ノ古キ懸案デアリマス、而モ我國ノ勢力ヲ揚子江畔及南支那ニ發展セシムルニ付テハ、最モ必要ナル鐵道トシテ、即チ當局者之ヲ提出ヲシタノデアル、然ルニ何故ニ譯モナク此鐵道ノ要求ヲ放棄セラレタノデアルカ、諸君、此鐵道ニ付テハ我同盟國ノ英國ニ於テ昨年ノ三月三十一日ニ、南京ヨリシテ湖南ニ至ル所ノ鐵道ノ權利ヲ得テ居ル、又昨年八月二十四日、即チ日獨戰ヲ啓イテヨリ後デアリマス、此八月二十四日ニ於テ南昌ヨリ潮州ニ至ル所ノ鐵道ノ權利ヲ英國ノ商人ガ獲得ヲ致シテ居リマス、政府ハ果シテ此南昌ヨリ潮州ニ至ル鐵道ノ權利ヲ、英國商人ノ獲得シタルコトヲ知ッテ居ラレテ、此談判ヲ提出シタノデアルカ、將又知ラズシテ之ヲ提出セラレタノデアルカ、先刻犬養君モ引カレマシタ所ノ支那外務省ノ公表文書ニ依リマスレバ、此鐵道ノ權利ノ英國商人ノ手ニアルコトハ日本政府之ヲ知ッテ居ッテ、而モ強イテ我ニ向ッテ要求ヲスルト斯樣ニ書イテアリマス、併ナガラ此支那ノ外務省ノ文書ガ果シテ眞デアルカ、僞デアルカ、ソレハ私ニハ分リマセヌガ、當局者若シ之ヲ知ラナカッタモノデアルトスルナラバ、是ハ私ハ迂濶千萬ナリト評サナケレバナラヌト思フ（拍手起ル）若シ又支那新聞ニアル外務省ノ文書ノ發表スル如ク、此鐵道ノ權利ガ英國商人ノ中ニアルコトヲ知ッテ、而モ尙且之ヲ要求致シタト致シマシタナラバ、同盟國ニ對スル所ノ信義ヲ缺クモノデアルト私ハ思フノデアリマス、諸君、斯ノ如キ要求ヲ致シテ是ガ貫徹スルコトガ出來ルモノデアルカ、ドウデアルカ、談判ヲ始メル所ノ初メニ既ニ私ハ此事ハ知ラナケレバナラヌト思フ、宜ナル哉、中途ニ於テ支那ノ反對ニ遭ヒ、而シテ遂ニ此條項ハ撤回スルト云フヤウナ不面目ヲ來ス所ノ結果ニナッタノデアリマス、又先刻ノ漢冶萍採鐵公司ノ附近ニアル所ノ鑛山ノ利權、此事モ先刻外務大臣ハ英國ノ主張ニ係ル所ノ機會均等ノ主義ニハ贊成デアルト言ハレタノデアルガ、我國ニ於テ此提案ノ第三項ノ第二ノ漢冶萍附近ノ鑛山ヲ他國ニ讓リ渡スコトノ出來ナイト云フ要求ヲ致シタル場合ニ於テ、英國ノ外務大臣ハ現ニ議會ニ於テ、中部支那ニ於テハ列國皆自由ニ鑛山ヲ掘ル所ノ權利ヲ得ルコトニ努力シテ居ルト云フコトヲ演說シテ居ル、シテ見レバ此英國外務大臣ノ演說中ニアル所ノ列國自由ニ採鑛スルト云フ所ノ意味ハ、我國ノ承諾ナクシテ他國ニ讓ルコトノ出來ナイト云フ所ノ要求トハ、明ニ牴觸矛盾ヲスルモノデハゴザイマセヌカ（「簡單」ト呼フ者アリ）私ハ此第二項ナルモノガ英國ノ故障ニ遭ヒ若クハ抗議ニ遭ッテ是ガタメニ日本政府ガ撤回シタモノデアルト斷言スルモノデハゴザイマセヌ、外務大臣ノ言ハレル通リ、支那ニ於テドウシテモ之ヲ

聞カナカッタカラ已ムヲ得ナイト言ハヽ、支那ニ於テドウシテモ聞カナカッタカ知レヌガ、其聞カナカッタトコロノ原因ハ何レニ在ルヤ、此拒絶シタトコロノ支那ノ後ロニハ如何ナルモノガアリヤト云フコトヲ研究シナケレバナラヌ(拍手起ル)之ヲ研究致シマシタナラバ、少クトモ支那ガ強硬ナル反對ヲスルトコロノ後ロニハ、彼ノ英國ノ勢援ガアルト云フコトハ私ハ明白デアラウト思フノデアリマス(拍手起ル)斯ノ如キコトスラモ豫メ之ヲ見ルコトガ能ハズ、豫メ之ニ處スルトコロノ術ヲ講ズルコトガ能ハズ、而シテ鄰邦ニ對シテ之ニ對スル要求ヲ提出シ、或場合ニハ兵力ヲ動カシ、或ル場合ニハ最後通牒マデモ送ッテ、而シテ之ヲ撤回シタト云フヤウナコトヲ致シテ、是デ此外交ガ失敗デナイナドト云フコトハ一體何處カラ言フコトガ出來ルノデアルカ(拍手起ル)諸君、殊ニ私ノ最モ怪訝ニ堪ヘザルトコロノ事柄ハ、彼膠州灣ノ還附ノ問題デアリマス(「同ジコトヲ何遍モ言フナ」ト呼フ者アリ)何故ニ當局者ガ此二十一箇條ノ要求ノ場合ニ於テ(「簡單」ト呼フ者アリ)斯ノ如キ手續ヲ以テ之ヲ支那ニ還附スルコトヲ申出タノデアルカ(此時發言者多シ「ドウシタ議長ハ」ト呼フ者アリ)諸君、當局者ハ曰ク(「床次君ニ聞キ給ヘ」ト呼フ者アリ)支那ノ領土保全ノタメデアルト言ハレタ、此點ニ付テハ現ニ犬養君ヨリモ能ク述ベラレマシタガ、膠州灣ヲ押ヘテ置クト云フコトガ即チ大局ヲ保ツ所以デアルト云フコトヲ犬養君ハ述ベラレタ、此點ニ付テハ私ハ最早論ジマセヌ、併ナガラ諸君、先日本員ノ質問ニ對シテ外務大臣ノ答辯ヲ聞キマスレバ(「無用々々」其他發言スル者多シ)此膠州灣ナルモノハ之ヲ還スコトガ支那ノ領土保全ノ主義ニ適フノデアル、斯樣ニ言ハレマシタ、領土保全ノ主義ナルモノガ能ク分ラナイカラシテ左樣ナ名論ヲ吐クノデアル(拍手起ル)領土保全ノ主義ナルモノハ如何ナル時ニ起ッタノデアルカ、此事ヲ考ヘラレマシタナラバ、斯ノ如キ謬論ヲ吐クコトハナイ、抑〻領土保全ノ主義ハ即チ斯ク申ス本員等ノ唱道ニ係ルモノデアル(拍手笑聲起ル發言スル者多シ)諸君此領土保全ノ主義ハ吾〻ガ諸先輩ト共ニ之ヲ唱道シ、是ガ各國ノ條約ニ於テ現レタノハ即チ彼英獨協商ニ於テ初メテ領土保全ノ主義ガ現ハレタノデアル、次イデ日英同盟ニ於テ領土保全ヲ以テ目的トスルコトヲ明記サレタノデアル、英獨協商ハ何時締結セラレタ、日英同盟ハ何時締結セラレタノデアリマス、英獨協商ハ明治三十四年ニ締結セラレ、日英同盟ハ明治三十五年ニ初メテ、領土保全ヲ主義トシテ締結セラレマシタ、是ヨリ先彼獨逸ハ明治三十一年ニ於テ膠州灣ニ割據シ、之ヲ租借シテ居ル、此獨逸ノ占領租借ガ原因ニナッテ即チ茲ニ初メテ領土保全ノ主義ガ稱ヘラレ、然ル後世界各國ノ認ムル所トナッテ條約ニ明記セラレタノデアル(「分ッタ〳〵」ト呼フ者アリ)果シテ然ラバ此日英同盟條約ニ於ケル所ノ領土保全ノ主義ト云フモノハ、獨逸ノ膠州灣ヲ除イタル所ノ支那ノ領土保全デアルト云フコトハ言フマデモナイコトデアル(拍手起ル)此點ニ注意ヲシナイカラ名論ガ出ルノデアル、所謂領土保全ノ主義ナルモノハ獨逸ノ租借シタル膠州灣、露西亞ノ租借シタル所ノ旅順口、大連灣、之ヲ除外シテ支那ノ領土ヲ保全スル主義デアルト云フコトヲ諸君ガ御知リニナッタナラバ、此領土保全主義ヲ以テ私ノ膠州灣還附論ニ反對スルコトハ出來ナイノデアル、諸君果シテ然ラバ獨逸ガ膠州灣ヲ租借シテ居ルノハ領土保全ノ主義ニ牴觸スルモノデハナイ、然ルニ日本ガ之ヲ租借シテ居ッタナラバ何故ニ領土保全ノ主義ニ牴觸スルカ、私ハ聞キタイノデアル(「ノウ〳〵」其他發言者多シ)殊ニ論者ノ矛盾スルトコロハ此點ノミニ止マラヌ、若シ支那ノ領土ヲ領土保全條約ノ前後ニ拘ラズ、總テ支那ニ返還スルヲ以テ領土保全ノ主義ニ適フト云フトコロノ御議論デアルナラバ、私ハ論者ニ伺ヒタイ、何故ニ旅順口大連灣ヲ支那ニ返還スルトマデ論ヲシナイカ(「違フヨ」其他發言スル者多シ)論者ト雖モ斯ノ如キ極端ナ論ハ爲サレマイ、何トナレバ旅順大連ハ現ニ此領土保全條約以前ニ於テ露西亞ガ之ヲ租借致シ、此露西亞ノ權利ヲ我國ガ繼承致シタノデアルカラシテ、領土保全ノ主義ニ牴觸ヲ致サナイノデアル、然ルニ膠州灣ニ於テハ之ヲ租借スレバ領土保全ノ主義ニ牴觸スルト稱シ、旅順大連ニ至ッテハ九十九年ニ延長シタコトヲ以テ誇リトスル、是即チ論旨ノ矛盾ニ非ズシテ何ゾヤ(拍手起ル)諸君、反對諸君ハ膠州灣ヲ返還シテモ專管居留地ヲ設ケルカラシテ、餘程都合ノ好イコトデハナイカト斯樣ニ言ハレル、斯ノ如キモノニ喘マサレルモノハ愚民デアル(「ノウ〳〵」ト呼フ者アリ)諸君支那ニ於ケル專管居留地ノ模樣ハ如何デアルカ(「ノウ〳〵」其他發言スル者多シ)彼ノ蘇州ニ於ケル居留地ハ如何ナル有樣デアル(「簡單」ト呼フ者アリ)天津ニ於ケル居留地ノ有樣ハ如何デアル、斯ノ如キコトニ向ッテノウ〳〵ト言ハレル諸君ハ專管居留地ノ樣子ヲ知ラナイ諸君デアル、暫ク頭ヲ冷ラシテ彼居留地ノ有樣ヲ御覽ナサイ、專管居留地ナルモノハ國民經濟上ノ發達、社會的勢力ノ發展ニ付テ如何ナル所ノ援ケヲシテ居ルカ、蘇州ニ於テモ杭州ニ於テモ居留地ハ草ガ生エテ居ル、天津ノ居留地ガ何故盛ンデアルカ、支那人ガ來テ商賣ヲシテ盛ンニナッテ居ル(「ソレデ宜イヂヤナイカ」ト呼フ者アリ)上海ノ居留地ハドウデアル(發言スル者多シ)上海ノ居留地ハ——上海ニハ日本人ノ居留地ハナイ、無イケレドモ此上海ニ於テハ我國民ノ勢力ハ日ニ發展シテ行ッテ居ル、斯ノ如ク苟モ眼ヲ放ッテ專管居留地ノ實際ノ有樣ト云フモノヲ諸君ガ御覽ニナリマシタナラバ、此專管居留地ナルモノガ我國民ニ經濟上ノ發展、其他勢力ノ發展ニ付テハ、何ノ效能ヲモ爲スモノデナイト云フコトハ、最早事實ノ上カラ明白デアルト斷言スルコトガ出來ル(拍手起リ「ノウ〳〵」)「問題ヲ忘レテハイカヌ」其他發言スル者多シ)諸君、膠州灣ノ返還ヲ辯護スル者ハ獨逸ノ施設スルトコロノ建築物其他ノ事ニ付テ、先刻ドナタカ御議論ガゴザイマシタガ、斯ノ如キコトニ付テハ私ハ此席ニ於テ一々辯駁ヲスル必要ガナイト思ヒマス(「其通リ」ト呼フ者アリ)併ナガラ諸君、特ニ注意ヲシナケレバナラヌコトハ、彼獨逸人ノ私有財產ナルモノハ是ハ如何トモスルコトガ出來ナイモノデアル、彼ハ建築物ヲ初メ總テノ事業ノ根據タルトコロノ財產ヲ膠州灣ニ於テ所有シテ居ル今日雖モ、此所有シタルトコロノ財產、事業ノ根據、之ニ依ッテ以テ獨逸ガ又此戰亂ノ後ニ於テ、膠州灣ニ如何ニ昔日ニ倍スルトコロノ勢力ヲ張ルデアラウト云フコトヲ私ハ恐レルノデアリマス、是等ノ點ヨリ見ルモ此膠州灣ナルモノハ、我國ニ於テ之ヲ占領シ、政治上ニ於テハ大局ヲ制スルトコロノ根據ヲ此處ニ樹テ、經濟上ニ於テハ之ヲ本トシテ彼ノ山東鐵道ヲ所有シ、之ニ因テ以テ支那ノ揚子江及黃河ノ中腹ニ向ッテ、此經濟上ノ勢力ヲ發展シ、又大和民族ノ發展ヲスルトコトニ云フコトガ、是ガ即チ東洋大局ノ上ヨリ見テ最モ私ハ必要デアルト信ズル、故ニ此膠州灣返還ニ反對スルノデアル(拍手起ル)今日ハ陸軍大臣ガ見エナイヤウデアリマスガ(「見エテ居ル見エテ居ル」ト呼ヒ笑聲起ル)私ハ陸軍大臣ノ言ニ付テ一言ヲ述ベル必要ガアル(「無用々々」「謹聽々々」ト呼フ者アリ)陸軍大臣ハ豫算委員會ニ於テ——幸ニシテ陸軍大臣ノ出席セラレタノハ、私ノ最モ喜ブ所デアル、陸軍大臣ハ豫算委員會ニ於テ、膠州灣ニ對スル意見トシテ膠州灣ハ必要デナイト云フ意見ヲ述ベタ、其議論ノ論據ヲ伺ヒマシタルトコロ、斯樣ニ答ヘラレ居ル、我レガ支那ニ對シテ非望ヲ有タザルト云フ言葉ヲ前後ノ事情ニ依ッテ解釋ヲ致シマスルト云フト、即チ領土保全ニ野心ガ無キガ故ニ、膠州灣ハ必要ガナイト斯樣ニ解セラレル、諸君、私ハ實ニ驚入ッタノデアル、領土保全ニ野心ガナイナドト云フコトヲ(「二百々々」「四百々々」「默レ」ト呼フ者アリ)我帝國ヲ背負ッテ立ツトコロノ陸

軍ノ大臣ノ口ヨリシテ言フトカ云フコトハ、私ハ驚ク、諸君、陸軍大臣ハ支那ハ何時マデモ、此領土保全ノ主義ガ實行ヲセラレ、支那ノ天地ハ常ニ平和デアルト御感ジニナッテ居ルノデアルカ、列國ハ常ニ支那ノ領土保全ヲ希望スルニモ拘ラズ、支那ノ現時ハ如何デアリマスカ、日ニ日ニ分割ニ傾キツヽアルト云フ實情デハナイカ現ニ此現内閣ニ席ヲ列シテ居ラル、トコロノ尾崎行雄君ガ、支那分割論ヲ唱ヘラレタノハ、僅ニ十數年前デアル、今日ハ支那分割ノ議論ハ世界ニ痕ヲ絕ッタケレドモ、世界各國ノ希望ニ反シテ、支那ニ於ケル現在ノ事實ト云フモノハ日ニ日ニ分割ニ傾キツヽアルト云フ實情デハナイカ（「分割シヤウト云フノカ」ト呼フ者アリ）之ニ反シテ支那ノ領土ガ必シモ保全セラレ得ルモノト考ヘテ、軍事上ヨリシテ判斷ヲ下スト云フガ如キコトガアッタラバ、誠ニ危險千萬デアル、況ヤ支那ノ現狀ハ如何デアルカ、支那ノ現狀ハ如何ナル有樣デアル、國ノ基ハ未ダ固クナラズ、内亂ノ分子ハ四方ニ散在シテ居ル、イツ何時四百餘州ノ大亂ヲ釀スカ、何人ト雖モ測リ知ルコトガ出來ナイト云フ現狀デアル、斯ノ如キ場合ニ於テハ普通ノ政治家ト雖モ、支那ニ對スルニハ平和ノ場合ニ處スル策ト變亂ノ場合ニ處スル策ト、即チ和戰兩樣ノ準備ヲ有ッテ居ラナケレバナラヌコトハ勿論デアル、然ルニ陸軍大臣ハ何ヲヤ、陸軍大臣ハ常ニ支那ノ領土ノ保全セラルヽモノト認定ヲ致シテ、領土獲得ト云フコトガ我國ノ將來ニ於テ無イモノト見テ、而シテ此陸軍ノ見地ヨリシテ、膠州灣ハ不必要デアルト云フガ如キ論斷ヲ下スニ至ッテハ、私ハ其論據ノ淺薄ナルニ驚カザルヲ得ナイノデアリマス（拍手起ル）諸君彼ノ露西亞ノ「ネベルスキー」將軍ノ黑龍江ヲ探險シタ時ハ如何デアリマシタカ、「ネベルスキー」ハ政府ノ命令ニ反シテ黑龍江ヲ探險シ、一旦清朝ノ反對ニ遭ヒ、露西亞政府ニ是レノ撤去ヲ求ムルニ方ッテ、露西亞ノ皇帝ハ何ト言ハレタカ、一旦樹テタ國旗ハ如何ナル事アルトモ斷ジテ拔クベカラズト言ハレタ、之ニ由ッテ遂ニ黑龍江一體ヲ占領シテシマッタデハナイカ、斯ノ如キ思想ヲ持ッテコソ、初メテ大帝國ヲ建設スルコトガ出來ルノデアル、斯ノ如キ思想ガ有ッテコソ、初メテ全亞細亞洲ヲモ徇フルコトガ出來ルノデアル、然ルニ何ヲヤ、陸軍ノ長官タルトコロノ陸軍大臣ガ政治家ノ權域ニ立入ッテ、支那ノ領土必シモ保全セラルベキモノデアルト云フガ如キ前提ヲ以テ、而シテ我忠勇ナル陸軍千五百人ノ血ヲ流シタトコロノ膠州灣ヲ斯ノ如キ一知半解ノ論ヲ本トシテ是ガ返還ニ贊成スルニ至ッテハ、私ハ實ニ歎息ニ堪ヘナイノデアリマス、陸軍大臣ハ全陸軍ヲ代表シテ膠州灣ノ不必要ヲ明言スルト言ハレタ陸軍ハ迷惑デアリマス、私ハ全陸軍ニ代ッテ――名譽アル帝國陸軍ニ代ッテ陸軍大臣ニ對シテ此明言ニ反對ヲ表明致シマス（「ヒヤ〳〵」ト呼ヒ拍手スル者アリ）諸君（簡單ニ）「簡單々々」ト呼フ者アリ）諸君、此膠州灣ノコトヲ述ベルト諸君ガ御嫌ニナル（「簡單々々」「議長々々」「議場ヲ整理スベシ」ト呼フ者アリ議場騷然）諸君、今日ニ至ルマデ、私ハ度々外務大臣ニ向ッテ質問ヲ致シテ何ノ爲ニ膠州灣ヲ還シタカ、之ニ向ッテ外務大臣ハ所謂大局ノ上トカ、支那領土保全ノ爲メト云フ以外ニ於テハ、遂ニ今日ニ至ルマデ何等答辯ヲスルコトハ出來ナイ、此出來ナイ事實ガ即チ此返還ノ不都合デアルト云フコトヲ論證シテ餘リアルト思フ（「ソウ〳〵」又「ヒヤ〳〵」ト呼ヒ拍手スル者アリ）諸君、外務大臣ハ度々言ハル、、交渉ハ命令デナイ、讓歩デアル、斯樣ニ言ハレル、又先刻片岡君ハ讓歩修正ヲワンナニ度々シタコトハ無イト言ハレル、片岡君ハ何ヲ以テ讓歩修正ヲ無イト言ハルヽ、四月二十六日ノ提案ナルモノハ之ヲ一月十八日ノ提案ト比較シテ、ドレ程ノ修正ニナッテ居リマスカ、三尺ノ童子ト雖モ此兩方ノ文書ヲ較ブレバ、如何ニ大讓歩ヲ致シタト云フコトガ分ルノデアル、然ルニ又候五月七日ニ至ッテハ此四月二十六日ノ提案ニ對シテ更ニ非常ナル大讓歩ヲ致シテシマッタ、是デモ讓歩修正ガナイト云フコトガ出來ルカ、讓歩モ事ニ依リケリデアリマス、如何ニモ交讓妥協ノ精神ヲ以テスレバ、多少ノ讓歩ヲスルコトハ必要デアラウ、併ナガラ今日マデ我國明治ノ始ヨリ今日ニ至ルマデ、隨分失敗ノ外交モ少クハナカッタケレドモ、今回ノ如キ最モ重要ナル點ニ對シテ、再三再四讓歩シタ外交ト云フモノハゴザイマセヌ、是ハ歷史ガ證明致シテ居ル 日本ノ外交ノ歷史ヲ繙イテ、此ノ如キ場合ニ於テ、此ノ如キ立場ニ立ッテ此ノ如キ勢力ヲ持テ、此ノ如ク東洋ノ平和ニ必要ナル兩國ノ共通ノ爲メ、利益ノ爲メニ必要ナリトスル所ノ要求ヲ提出致シテ、最モ眼目トスル所ノ條項ヲ悉ク、讓リ兵隊ヲ出シ、最後通牒ヲ出シ、而シテ二度モ二度モ讓歩ヲシタト云フ歷史ガ、我ガ日本ノ明治ノ外交ノ歷史ニアリマスカ（拍手起ル「アル〳〵ト」呼フ者アリ）アルナラバ示シテ戴キタイ、少クトモ我國ノ外交史上ヨリ見テ、今回ノ我ガ現内閣ノ外交ハ、大失敗ト斷言スル、諸君唯今又菊池君ハ東洋永遠ノ平和ト云フコトニ就テ吾ミガ何カ歐米各國ヲ排斥シテ、獨リ支那ニ於テ勢力ヲ恣ニセントスル者デアルカノ如ク考ヘラレル（「其通リ」ト呼フ者アリ）所謂東洋ノ「モンロー」主義ト云フ語ヲ以テ、吾ミノ意見ヲ評シ、之ニ向ッテ反駁ヲ試ミタ、諸君、吾ミハ決シテ歐米各國ヲ排斥シ、獨リ支那ニ向ッテ勢力ヲ占メント欲スル者デハアリマセヌ、併ナガラ歐米各國ノ支那ニ於ケル所ノ機會均等、領土保全ノ必要ト、我國ノ支那ニ對シテ領土保全ヲスル必要ト、是ガ同一ニ論ズルコトガ出來ルト諸君ハ御覽ニナリマスカ、歐米各國ノ領土保全ノ必要ハ、彼等ノ通商貿易ノ利益ノ上カラ打算シタモノデアル、我國ノ支那ニ於ケル領土保全ノ必要ト云フモノハ、我國ノ生存ノ問題デアルト私ハ考ヘル（「山本内閣ノ時代ハドウダ」ト呼フ者アリ）此生存ノ必要ニ伴フダケノ責任、生存ノ必要ニ伴フダケノ權利ト云フモノハ、之ヲ主張スルニ於テ何ノ憚ル所アランヤデアリマス、現ニ今日ハ如何ナル狀態ニアルカ、歐羅巴諸國悉ク東洋ヨリ手ヲ引キ去ッテ、我國ハ獨リ東洋ノ天地ノ平和ヲ保全スル所ノ重責ヲ負ウテ居ルデハナイカ、此重キ責任ニ伴フ所ノ權利ヲ得、而シテ日支兩國共ニ提携シテ東亞百年ノ平和ヲ得タイト云フコトガ、即チ吾ミノ希望デアル、外務大臣モ恐ラク此希望ヲ以テ彼ノ第五項ノ如キハ御提出ニナッタノデアラウト思フ、殊ニ此第五項一號、彼ノ顧問ノ問題、此顧問ノ問題ハ即チ支那ヲシテ自カラ富强ノ域ニ進マシメ、而シテ自カラ領土保全ヲ破壞スルガ如キ事ナカラシメンガタメニ、支那ノ富强ヲ圖ルガタメニ御提出ニナッタモノト思フ、否ラズンバ何ノ利益ガアッテ此箇條ヲ提出セラレタノデアルカ、此主意ガアレバコソ此ニ於テ初メテ第五項第一號此顧問ノ問題ナルモノガ最モ重要ナル意義ヲナスニ至ルノデアル、諸君、外務大臣ハ前會ノ豫算委員會ニ於テモ亦本會議ニ於テモ、時々本員ニ對シテ、小川君ハ支那ヲ保護國ニスル意見デアルト云フヤウナ事ヲ言ハレル、何ヲ以テ此ノ如キ事ヲ言ハレルノデアルカ、成程外務大臣ト會見ヲ致シタ場合ニ、種々樣々ナル意見ノ交換ヲ致シタ、併ナガラ私ハ未ダ曾テ外務大臣ニ對シテ支那ヲ保護國ニスルト云フ如キ言葉ヲ吐イタコトハナイ、兩人相對シテノ話デゴザイマスカラ公開ノ席デ述ブルコトハ敢テ致シマセヌガ、併ナガラ私ノ外務大臣ニ提案ヲ致シタ所ノ大主意ハ、日支兩國相提携シ相結ンデ以テ東亞ノ平和ヲ保ット云フコトガ根本ノ主意デアル、而シテ之ニ基イテ支那ヲ富强ノ域ニ進マシムルト云フガタメニ、彼ノ外務大臣ガ提出セル如キ顧問ノ問題モアッタノデアル、此ノ如キ事ガ何デ保護國ニスル論デアルカ、此ノ如キ事ガ保護國ニスル論デアルト云フナラバ、外務大臣ノ第五項第一號ノ顧問モ亦即チ支那ヲ保護國ニスルモノデアルト論斷シテモ宜イ、此ノ如キ言葉ハ私ハ外務大臣ハ公開ノ席ニ於テ用井ラレザランコトヲ望ムノデアル、此ノ如

キ保護國ニスルト云フガ如キ意見ノ此日本ノ帝國議會ニアルト云フコトガ、如何ニ支那ノ官民上下ノ感情ヲ害シテ居ルカ、現ニ支那ノ新聞ニ於テハ特ニ日本ノ衆議院議員中ニ、支那ヲ保護國ニスル意見モアルト云フコトヲ紹介シテ、之ヲ以テ日本排斥ノ道具ニ供シテ居ルト云フ事實ガアル、此ノ如キ事ハ實ニ日本ノ外務大臣トシテ其局ニ當ル所ノ人ハ、之ヲ公開ノ席ニ於テ今後口ニ御出シニナラヌヤウニスルコトヲ私ハ希望スル、斯樣ナ不謹愼ナルコトヲ吐キ、支那ニ向ッテハ外交ハ悉ク失敗シテ、其結果官民上下ノ反感ヲ買ヒ、而モ亦其反感ヲ買フタル事實ガ無イト言フコトハ、諸君、外務大臣ハ支那ニ於ケル日本排斥ノ事實ヲ知ラナイノデアルカ、知ッテ而シテ之ヲ無シト斷定スルノデアルカ、試ミニ支那ノ新聞ヲ繙イテ支那ノ現狀ヲ見ラレヨ、支那到ルトコロニ於テ日ニ日ニ日本反對ノ事實ノ起ルトコロノ記事ガアルデハナイカ、諸君、若モ之ニ疑ヲ容ルヽナラバ去ッテ支那ノ新聞ヲ讀デ御覽ナサイ、之ヲ知ラナイノハ獨リ日本ノ外務大臣バカリデアルト私ハ思フ、諸君、此一點ニ於テ外務大臣タル者ハ其職ニ耐ヘザルモノデアルト斷定シテ宜イト思フ、此ノ如ク其談判ハ總テ失敗ニ終ッテ其失敗ナルコトヲ自覺セザルノミナラズ、現ニ支那ニ起ッテ居ル所ノ事情スラモ御存知ナイ、貴族院ニ於テハ久保田男爵ガ支那ノ新聞ヲ以テ質問スレバ、此ノ如キ交涉顚末ガ發表セラレタカドウカ拙者ハ未ダ知ラナイ、此ノ如キ事ヲ外務大臣ガ勤マルカ、斯樣ナ心掛デヤレバコソ此ノ如キ失敗ヲ來シタデハゴザリマセヌカ、失敗ヲ致シタ事ヲ自覺シテ今後今日マデノ方針ヲ改メテ、十分ニ支那ノ事ニモ注意ヲ致シ、列國ノ事ニモ注意ヲ致シテ此失敗ヲ回復シヤウト計ルコトコソ、ソレガ即チ局ニ內閣ニ居ル所ノ大臣ノ私ハ心掛デナケレバナラヌト思フ、然ルニ何事デアル、條約ハ失敗ニ歸シテ尙其職ニ留リ、恬然トシテ茲ニ國民ハヅヲ喜デ居ルト云フ如キ言葉ヲ吐イタ、私ハ實ニ怪シカラヌト思フ、諸君、私ハ第三十五議會ノ質問ノ場合ニモ述ベタ、今日迄ニ於テモ我日本ガ支那ニ對スル外交ハ誠ニ困難デアッタ、此ノ如キ失敗ノ後ヲ承ケテ若シ歐羅巴ノ大亂一タビ熄デ、歐米列國ガ支那ニ手ヲ出シ來ルニ及ンダナラバ、彼ノ支那人ハ所謂遠交近攻ノ外交——得意慣用ノ手段ヲ弄シテ、或ハ獨逸ト結ビ、或ハ露西亞ト結ビ、或ハ佛蘭西ト結ビ、以前ニ倍スル所ノ反感ヲ本トシテ之ニ加フルニ列國ノ猜疑心ヲ以テシテ、彼等ハ互ニ相一致シテ日本ヲ排斥スルニ至ルト云フコトハ私ハ今ヨリ此壇上ニ於テ明言ヲ致シテ置ク、是ガ即チ今日劈頭ニ於テ原君ノ述ベラレタ所ノ日本ハ孤立デアル、私ハ今日ノ如キ狀態ヲ來シテ此儘ニシテ局面ヲ一變スルコトナク、唯今マデ若シ私ガ述ベタル如キ所ノ外務大臣ガ此局ニ當ッテ居ラレマシタナラバ、今後我國ノ支那滿洲ニ於ケル外交ハ困難ニ次グニ困難ヲ以テシテ、大陸ヨリシテ我國ノ勢力ヲ驅逐サレテシマフト云フコトヲ斷言スルノデアル（拍手起ル「ノウ〳〵」ト呼フ者アリ）此故ニ國家ノ爲メニ代ヘラレナイカラ、卽チ內閣諸公ニ向ッテ、此失敗外交ノ責ヲ引イテ速ニ處決スベキコトノ決議案ヲ提出シタル所以デアリマス（拍手起ル）

○內閣總理大臣（伯爵大隈重信君）　諸君、本日ハ（議場騷然）——原敬君、犬養毅君、兩君トモ著名ナ政治家デアル、著名ナ政治家デアルニ拘ラズ、今日ノ決議案ヲ提出シテ之ヲ說明スルニ當ッテ、用井タル所ノ言葉ハ頗ル了解ニ苦シムノデアル、多分老練ナル政治家モ時局ノ爲メニ多少昂奮シテ正當ナル判斷ヲ誤ッテ居ルト私ハ信ズル（拍手起ル「ノウ〳〵」「ヒヤ〳〵」議場騷然）既ニ先月二十二日以來一週間餘、日支外交ノコトニ付テ政友會、國民黨ノ諸君ハ反覆外務大臣ニ向ッテ說明ヲ求メタノデアル、遺憾ナク外務大臣ハ說明ヲサレタノデアル、多分諸君ハ滿足デアラウト私ハ考ヘテ居ッタ（「ノウ〳〵」ト呼ヒ議場騷然）殊ニ同黨ノ首領タル經驗アル原君、犬養君ハ一言其問ニ外務大臣ニ向ッテ說明ヲ求メヌ、而シテ突然茲ニ現ハレテ今述ベラレル所ノモノハ、殊ニ原君ハ曾テ外交官デアリ、相當ノ經驗ト知識ヲ有ッテ居ラルヽト信ズルノデアル、犬養君ハ殊ニ支那ニ付テハ古ク研究シテ十分ナル支那ニ於ケル知識ヲ持ッテ居ラルヽニ相違ナイ、支那ノ國民性モ支那ノ外交ニ付テモ十分御存知ノコト、吾輩ハ深ク信ジテ居ル、然ルニ今日ノ言葉ハ、初メ原君ハ外交ノ問題ハ是ハ國ノ大切デアル、國ノ大事デアル、黨派的ノ感情ヲ許サズト云フ如キ言葉デアッタガ、私ハ疑ヒナク黨派的感情（「ノウ〳〵」ト呼ヒ議場騷然）然ラザレバ獨斷的斷言（「ノウ〳〵」ト呼フ者アリ）大部分ハ揑造、是ハ外務大臣ノ答辯デ十分諸君ハ理解シナケレバナラヌデアル、然ルニ何事ゾ、此語氣ハ如何ナル語氣デアル……（「良心ニ問ヘ」ト呼フ者アリ議場騷然）

○議長（島田三郎君）　靜肅ニ……

○內閣總理大臣（伯爵大隈重信君）　國家ノ外交ニ危害ヲ與ヘルト思フ、利益ヲ與ヘルコトハ無イ如キ言葉ヲ出サレタ、ドウシテモ前後矛盾シテ居ル、其言葉ノ中ニハ多少侵略的ノ意味ヲ有ッテ居ルノデアル（議場騷然）利己的ノ意味モ有ッテ居ルノデアル、而シテ失敗成功ハ何ヲ標準トシテ居ルカ、全體此度ノ日支外交ハ何ニ由ッテ起ッタカ、御承知ノ通リ日獨戰ヲ本トシテ居ルノデアル、日獨戰ハ何ニ由ッテ起ッタカ、東洋ノ平和ノ爲メニ起ッタノデアル、平和其モノガ根本デアル、平和ノ本ニハ正義ノ含ンデ居ルコトハ諸君知ッテ居ルノデアル、（「脫線スルコト勿レ」ト呼フ者アリ議場騷然）然ルニ何事ゾ、膠州灣還附ニ諸君ガ異議ヲ言フトハ何事ゾ、是ハ諸君ガ感情ノ昂奮シタタメニ理性ヲ失ッタト斷言スル（「亂暴狼藉」ト呼フ者アリ）多數ノ諸君ハ若イ人デアルカラ感情ノ昂奮ニ依ッテ過ツコトモアル、老練ナル政治家、經驗ノアル政治家ガ斯ノ如キ感情ニ依ッテ外交ノ大事ヲ判斷スルト云フコトハ甚ダ遺憾千萬デアル（議場騷然）ドウゾ諸君ハ冷靜ナル思想ヲ以テ此外交ノ失敗デアルヤ、成功デアルヤ、第一條カラ第四條マデガ國家ノ根本ノ目的デアル、是ハ全然大ナル成功ト私ハ信ズル（拍手起ル）（議場騷然）若シ信ゼザル諸君ハ昂奮セル諸君デアル、其他ノ國民ハ大イナル滿足ヲ以テ迎フルノデアラウト私ハ信ズル（拍手起ル「ノウ〳〵」）誠意ナキ政治家」「橫著政治家」ト呼フ者アリ議場騷然）ソレ故ニ諸君ニ勸告スルノデアル、私ハ斯ノ如キ昂奮セル（「ノウ〳〵」ト呼フ者アリ議場騷然）時勢ヲ誤ラレル所ノ獨斷的斷言ト揑造トニ依リ、而シテ國務大臣ノ責任ヲ問フトハ何事ゾ（拍手起リ議場騷然）諸君ハ必ズ後悔スルノデアル、諸君ハ茲ニ之ヲ撤回サレムコトヲ私ハ希望スル（拍手起ル）

○議長（島田三郎君）　荒川五郎君ヨリ討論終結ノ動議ガ出マシタ

（拍手起リ「ノウ〳〵」ト呼ヒ議場騷然）

○議長（島田三郎君）　定規ノ贊成ヲ得テ動議ハ成立シテ居リマス、御異論ガアリマスナラバ採決ヲ致シマス、討論終結ノ動議ニ贊成ノ諸君ハ起立ヲ乞ヒマス

起立者　多數

（拍手起ル）

○議長（島田三郎君）　多數デ討論終結ニナリマシタ

（「異議アリ異議アリ」ト呼ヒ議場騷然）

○議長（島田三郎君）　異議ノ申出ガアリマスカ、異議ノ申出ニ定規ノ賛成ガアリマスレバ記名投票ニ依ッテ決シマスル――閉鎖、討論終結ノ動議ニ賛成ノ諸君ハ御手許ニ配付シテ置キマシタ白票、反對ノ諸君ハ青票ヲ御持參ニナル　ヤウニ請ヒマスル、氏名點呼ヲ致シマス

（書記氏名ヲ點呼ス）

○議長（島田三郎君）　投票漏ハアリマセヌカ――投票漏ハナイト認メマス――開鎖――開匣ヲ命ジマスル――投票ノ結果ヲ書記官長ヨリ御報告致シマス

（林田書記官長朗讀）

出席總員　三百六十八

可トスル者　二百三十五

否トスル者　百三十三

（拍手起ル）

○議長（島田三郎君）　討論ハ終結致シマシタ

討論終結ノ動議ヲ可トスル議員ノ氏名左ノ如シ

今井喜八君　江間俊一君　鈴木萬次郎君　黒須龍太郎君
守屋此助君　加藤小太郎君　片岡直溫君　山口俊一君
谷口武兵衞君　井原百介君　中谷德恭君　川井爲巳君
西田爲之君　戸井嘉作君　小泉又次郎君　山宮藤吉君
川井考策君　小寺謙吉君　肥塚龍君　齋藤隆夫君
横田孝史君　鹿島秀麿君　岡部政太郎君　本田恆之君
倉光藤太君　飯塚彌一郎君　鳥居錦次郎君　坂口仁一郎君
川合直次君　目黒孝平君　久須美東馬君　高木利平君
加藤政之助君　綾部惣兵衞君　福田又一君　矢島八郎君
本間三郎君　須藤嘉吉君　榎本次郎右衞門君　鈴木久次郎君
小林勝民君　中村尚武君　平山午介君　大津淳一郎君
河野正義君　石濱茂君　原脩次郎君　初見八郎君
高田耘平君　横尾輝吉君　米田實君　森正君
福井三郎君　加賀卯之吉君　辻寛君　磯貝浩君
大岩勇夫君　小林仲次君　織田了君　早川龍介君
鈴置倉次郎君　杉山東太郎君　岩崎彥雄君　望月小太郎君
市川文藏君　根津嘉一郎君　西川太治郎君　長尾元太郎君
坂口拙三君　岡崎久次郎君　大場竹次郎君　大澤辰次郎君
降旗元太郎君　樋口秀雄君　矢島浦太郎君　村松山壽君
藤澤幾之輔君　村松龜一郎君　瓦理胤正君　首藤陸三君
柴四朗君　長澤倉吉君　河野廣中君　市原又次郎君
半谷清壽君　鈴木寅彥君　阿部勇治君　柵瀬軍之佐君
菊池艮一君　江口勝之助君　竹村欽次郎君　中野悌治君
井上廣居君　町田忠治君　齋藤宇一郎君　伊藤恭之助君
添田飛雄太郎君　山口嘉七君　大橋松二郎君　室木彌次郎君
田中喜太郎君　關野善次郎君　山田正年君　野村嘉六君
森丘覺平君　臼田久內君　奥田柳藏君　岡崎運兵衞君
三浦倫吉君　保科陽治君　石田孝吉君　高橋久次郎君
安東敏之君　荒川五郎君　山根正次君　福田民平君
硲俊聰君　小河源一君　三隅哲雄君　雜賀信三郎君
武內作平君　清水隆德君　濱口雄幸君　仙石貢君
石本鑽太郎君　富田幸次郎君　淺野陽吉君　大原義剛君
木下謙次郎君　箕浦勝人君　森環君　津末貞介君
豐增龍次郎君　西英太郎君　武富時敏君　井原喜代太郎君
山田珠一君　井手三郎君　三津家傳之君　岡辰喜君
尾越辰雄君　安達謙藏君　議得久朝惟君　五十嵐佐市君
佐藤榮右衞門君　小池仁郎君　森田茂君　川崎安之助君
津原武君　石橋爲之助君　大西五一郎君　田川大吉郎君
大竹貫一君　板倉中君　加瀨禧逸君　阿由葉鈴三郎君
松本恆之助君　尾崎行雄君　小林嘉平治君　川崎克君
田中善立君　森田小六郎君　尾崎元次郎君　加藤定吉君
島田保之助君　安田伊左衞門君　岡部次郎君　菊池武德君
八田裕二郎君　早速整爾君　橋本太吉君　花井卓藏君
橫山金太郎君　宮原幸三郎君　龍口了信君　有田溫三君
小山谷藏君　小西和君　高野金重君　平出喜三郎君
賴母木桂吉君　高木正年君　加藤彰廉君　紫安新九郎君
金澤仁作君　金澤種次郎君　平沼亮三君　田村新吉君
丸山芳介君　下岡忠治君　多木久米次郎君　大池忠助君
齋藤喜十郎君　大隈信常君　小林丑三郎君　根岸嵯太郎君
關和知君　戸叶薰雄君　九鬼紋七君　重盛信近君
小山松壽君　增田次郎君　大村和吉郎君　西田庄助君
河崎助太郎君　古屋慶隆君　小山東助君　大坂金助君
大場茂馬君　今村七平君　橫山章君　櫻井兵五郎君
本田親清君　原本大三郎君　渡邊新太郎君　金尾稜嚴君
木村平右衞門君　青木磐雄君　三木與吉郎君　須見千次郎君
白川友一君　增田穰三君　今西林三郎君　奥村七郎君
飯森辰次郎君　吉田磯吉君　的野半介君　高山眞平君
三浦得一郎君　田中省三君　岸本賀昌君　金子元三郎君
伊藤義平君　川眞田德三郎君　大久保弁太郎君

討論終結ノ動議ヲ否トスル議員ノ氏名左ノ如シ

長島隆二君　鳩山一郎君　秋本喜七君　森久保作藏君
村野常右衞門君　野尻岩次郎君　植場平君　佐藤政五郎君
杉山四五郎君　堀豐彥君　廣岡宇一郎君　中倉万次郎君

横山寅一郎君　丸山豐治郎君　川上榮太郎君　高橋光威君
高鳥順作君　田邊熊一君　山本悌二郎君　指田義雄君
齋藤安雄君　齋藤珪次君　秦豐助君　武藤金吉君
葉住利藏君　吉植庄一郎君　長島鷲太郎君　根本正君
小久保喜七君　村山金平君　横田千之助君　友常轂三郎君
岩本平藏君　大島久滿次君　三輪市太郎君　清水市太郎君
松浦五兵衞君　小泉策太郎君　池田猪三次君　牛田唯一君
井上敬之助君　匹田銳吉君　小坂順造君　小川平吉君
玉井權右衞門君　鹽川幸太君　菅原傳君　白井遠平君
堀切善兵衞君　大芝惣吉君　原敬君　平井六右衞門君
工藤吉次君　阿部德三郎君　高杉金作君　加藤宇兵衞君
小林源藏君　犬塚勝太郎君　細梅三郎君　榊田清兵衞君
名村忠治君　西村正則君　木津太郎平君　谷欽太郎君
上埜安太郎君　西谷金藏君　井上角五郎君　望月圭介君
兒玉亮太郎君　岡崎邦輔君　板東勘五郎君　田中定吉君
三土忠造君　古谷久綱君　渡邊修君　政尾藤吉君
竹內明太郎君　白石直治君　吉原正隆君　山內範造君
堀三太郎君　富安保太郎君　藏內治郎作君　永江純一君
安部熊之輔君　元田肇君　成清博愛君　川原茂輔君
南里琢一君　原田十衞君　宗像政君　江藤哲藏君
小森雄介君　河野庄太郎君　床次竹二郎君　武滿義雄君
柚木慶二君　兒玉好熊君　奥田榮之進君　志々目藤彥君
平田禎君　中西六三郎君　古島一雄君　高木益太郎君
關直彥君　鈴木梅四郎君　渡邊昭君　野添宗三君
川口木七郎君　中川幸太郎君　柏原文太郎君　相島勘次郎君
中山梅治郎君　濱田國松君　高柳覺太郎君　藤井善助君
望月長夫君　伊東知也君　中村千代松君　犬飼源太郎君
犬養毅君　池田寅治郎君　西村丹治郎君　藤原元太郎君
小橋藻三衞君　萬代嘉平治君　佐々木安五郎君　大堀孝君
前川虎造君　脇毅陸君　湯淺凡平君　秋山定輔君
坂本金彌君

（「時間延長」ト呼フ者アリ）

○議長（島田三郎君）　時間ガ迫ッテ居リマスカラ時間ヲ延長致シマスルガ――本案ハ重大ナル議案デアリマスルカラ、規則ニ據リマシテ記名投票ヲ以テ採決致シマスル、本案ニ贊成者ハ御手許ニ配付シテアリマスル白票、反對ノ諸君ハ青票ヲ御持參ヲ願ヒマス――閉鎖――氏名點呼ヲ命ジマス

（書記氏名ヲ點呼ス）

○議長（島田三郎君）　投票漏ハアリマセヌカ――投票漏ハナイト認メマス　開鎖――開匣ヲ命ジマス――投票ノ結果ヲ書記官長ヨリ御報告致シマス

（林田書記官長朗讀）

出席總員　三百六十五
可トスル者　百三十三
否トスル者　二百三十二

（拍手起ル）

○議長（島田三郎君）　本案ハ否決サレマシタ

決議案ヲ可トスル議員ノ氏名左ノ如シ

長島隆二君　鳩山一郎君　秋本喜七君　森久保作藏君
村野常右衞門君　野尻岩次郎君　植場平君　佐藤政五郎君
杉山四五郎君　堀豐彥君　廣岡宇一郎君　中倉万次郎君
横山寅一郎君　丸山豐治郎君　川上榮太郎君　高橋光威君
高鳥順作君　田邊熊一君　山本悌二郎君　指田義雄君
齋藤安雄君　齋藤珪次君　秦豐助君　武藤金吉君
葉住利藏君　吉植庄一郎君　長島鷲太郎君　根本正君
小久保喜七君　村山金平君　横田千之助君　友常轂三郎君
岩本平藏君　大島久滿次君　三輪市太郎君　清水市太郎君
松浦五兵衞君　小泉策太郎君　池田猪三次君　牛田唯一君
井上敬之助君　匹田銳吉君　小坂順造君　小川平吉君
翠川鐵三君　玉井權右衞門君　鹽川幸太君　菅原傳君
白井遠平君　堀切善兵衞君　大芝惣吉君　原敬君
平井六右衞門君　工藤吉次君　阿部德三郎君　高杉金作君
加藤宇兵衞君　小林源藏君　犬塚勝太郎君　細梅三郎君
榊田清兵衞君　名村忠治君　西村正則君　木津太郎平君
谷欽太郎君　上埜安太郎君　西谷金藏君　井上角五郎君
望月圭介君　兒玉亮太郎君　岡崎邦輔君　板東勘五郎君
田中定吉君　三土忠造君　古谷久綱君　渡邊修君
政尾藤吉君　竹內明太郎君　白石直治君　吉原正隆君
山內範造君　堀三太郎君　富安保太郎君　藏內治郎作君
永江純一君　安部熊之輔君　元田肇君　成清博愛君
川原茂輔君　南里琢一君　原田十衞君　宗像政君
江藤哲藏君　小森雄介君　河野庄太郎君　床次竹二郎君
武滿義雄君　柚木慶二君　兒玉好熊君　奥田榮之進君
志々目藤彥君　平田禎君　中西六三郎君　古島一雄君
高木益太郎君　關直彥君　鈴木梅四郎君　渡邊昭君
野添宗三君　川口木七郎君　中川幸太郎君　柏原文太郎君
相島勘次郎君　中山梅治郎君　濱田國松君　高柳覺太郎君
望月長夫君　伊東知也君　中村千代松君　犬飼源太郎君
犬養毅君　池田寅治郎君　西村丹治郎君　藤原元太郎君
小橋藻三衞君　萬代嘉平治君　佐々木安五郎君　大堀孝君

前川虎造君　林毅陸君　湯淺凡平君　秋山定輔君
坂本金彌君

決議案ヲ否トスル議員ノ氏名左ノ如シ

今井喜八君　江間俊一君　鈴木萬次郎君　黒須龍太郎君
守屋此助君　加藤小太郎君　片岡直温君　山口俊一君
谷口武兵衛君　井原百介君　中谷德恭君　川井爲巳君
西田爲之君　戸井嘉作君　小泉又次郎君　山宮藤吉君
川井考策君　小寺謙吉君　肥塚龍君　齋藤隆夫君
横田孝史君　鹿島秀麿君　岡部政太郎君　本田恆之君
倉光藤太君　飯塚彌一郎君　鳥居錦次郎君　坂口仁一郎君
川合直次君　目黒孝平君　久須美東馬君　高木利平君
加藤政之助君　綾部惣兵衛君　福田又一君　矢島八郎君
本間三郎君　須藤嘉吉君　榎本次郎右衛門君　鈴木久次郎君
小林勝民君　中村尚武君　平山午介君　大津淳一郎君
河野正義君　石橋茂君　原脩次郎君　初見八郎君
高田耘平君　横尾輝吉君　米田實君　森正君
福井三郎君　加賀卯之吉君　辻寛君　磯貝浩君
大岩勇夫君　小林仲次君　織田了君　早川龍介君
鈴置倉次郎君　杉山東太郎君　岩崎彦雄君　望月小太郎君
市川文藏君　根津嘉一郎君　西川太治郎君　長尾元太郎君
坂口描三君　岡崎久次郎君　大場竹次郎君　大澤辰次郎君
降旗元太郎君　樋口秀雄君　矢島浦太郎君　村松山壽君
藤澤幾之輔君　村松龜一郎君　瓦理胤正君　首藤陸三君
柴四朗君　長澤倉吉君　河野廣中君　市原又次郎君
牛谷清壽君　鈴木寅彦君　阿部勇治君　柵瀬軍之佐君
菊池長一君　江口勝之助君　竹村欽次郎君　中野悌治君
井上廣居君　町田忠治君　齋藤宇一郎君　伊藤恭之助君
添田飛雄太郎君　山口嘉七君　大橋松二郎君　室水彌次郎君
田中喜太郎君　關野善次郎君　山田正年君　野村嘉六君
森丘覺平君　臼田久內君　奥田柳藏君　岡崎運兵衛君
三浦倫吉君　保科陽治君　石田孝吉君　高橋久次郎君
安東敏之君　荒川五郎君　山根正次君　福田民平君
俗俊聰君　小河源一君　三隅哲雄君　雜賀信三郎君
武內作平君　清水隆德君　濱口雄幸君　仙石貢君
石本鑽太郎君　富田幸次郎君　淺野陽吉君　大原義剛君
木下謙次郎君　箕浦勝人君　森環君　津末瓦介君
豐增龍次郎君　西英太郎君　武富時敏君　井原喜代太郎君
山田珠一君　井手三郎君　三津家傳之君　岡辰喜君
尾越辰雄君　安達謙藏君　議得久朝惟君　五十嵐佐市君
佐藤榮右衛門君　小池仁郎君　森田茂君　川崎安之助君
津原武君　石橋爲之助君　大西五一郎君　田川大吉郎君
大竹貫一君　板倉中君　加瀬禧逸君　松本恆之助君
尾崎行雄君　川崎克君　田中善立君　森田小六郎君
尾崎元次郎君　加藤定吉君　島田保之助君　安田伊左衛門君
岡部次郎君　菊池武德君　八田嘉二郎君　早速整爾君
橋本太吉君　花井卓藏君　横山金太郎君　宮原幸三郎君
龍口了信君　有田溫三君　小山谷藏君　小西和君
高野金重君　平出喜三郎君　額田木桂吉君　高木正年君
加藤彰廉君　紫安新九郎君　金澤仁作君　金澤穗次郎君
平沼亮三君　田村新吉君　丸山勞介君　下岡忠治君
多木久米次郎君　大池忠助君　齋藤喜十郎君　大隈信常君
小林丑三郎君　根岸嶂太郎君　關和知君　戸叶薰雄君
九鬼紋七君　重盛信近君　小山松壽君　增田次郎君
大村和吉郎君　西田庄助君　河崎助太郎君　古屋慶隆君
小山東助君　大坂金助君　大場茂馬君　今村七平君
横山章君　櫻井兵五郎君　本田親清君　原本大三郎君
渡邊新太郎君　金尾稜嚴君　木村平右衛門君　青木磐雄君
三木與吉郎君　須見千次郎君　白川友一君　增田穰三君
今西林三郎君　奥村七郎君　飯森辰次郎君　吉田磯吉君
的野半介君　高山眞平君　三浦得一郎君　田中省三君
岸本賀昌君　金子元三郎君　川眞田德三郎君　大久保弁太郎君

○議長（島田三郎君）　明日ハ例刻ヨリ開會致シマス、議事日程ハ公報ヲ以テ御報告致シマス、今日ハ是デ散會致シマス

午後六時十五分散會

衆議院議事速記錄第九號正誤

頁	段	行	誤	正
一六四	上	二	院	員